

は じ め に

2012（平成 24）年に、第 7 回の「人権問題に関する市民意識調査」を実施してから、5 年が経過しました。その間、松山市は、2017（平成 29）年に「松山市人権啓発に関する基本方針」の第 2 次改訂を行い、『『誇れる』人権尊重で笑顔に～人にやさしい、人がやさしいまち 松山～』をスローガンに、人権教育及び人権啓発施策を展開しています。

本調査は、人権教育・啓発施策が、どの程度市民に浸透しているのかを検証するために、1982（昭和 57）年から 5 年ごとに実施し、第 1 回から第 4 回までが「同和問題に関する市民意識調査」、2002（平成 14）年の第 5 回からは、幅広く人権課題に対応するために「人権問題に関する市民意識調査」に名称を変更して実施しています。

近年、国では、人権に関する法的整備が進められています。2016（平成 28）年には、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（障害者差別解消法）、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）、「部落差別の解消の推進に関する法律」（部落差別解消推進法）等が施行されました。部落差別解消推進法は、「現在も部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って、部落差別に関する状況の変化が生じている」としており、部落差別の存在を法律で初めて明記して、情報の進展に伴う状況の変化にも言及しています。特にインターネットの普及によるネット上の書き込みなどは、部落問題のみならず他の人権課題に関しても状況の変化を作り出しています。

さて、第 8 回目となる今回は、前回の調査を継承していますが、重要課題の中からインターネット、子どもの虐待、刑を終えて出所した人、性的マイノリティに関する設問等を 7 項目追加し、新たな人権課題に対する市民の意識を確認するとともに、人権教育・啓発のあり方について検証しました。

また、調査及び分析に当たっては、第 5 回調査から引き続き、松山大学社会調査室に専門的な立場から全面的な御協力をいただきました。

本資料が、学校教育・社会教育や企業などでの人権教育・啓発に活用していただけることを願っています。

結びに、今回の調査に御協力いただいた市民の皆様をはじめ、松山大学社会調査室の市川正彦教授、調査・分析に携わっていただいた調査委員会の委員の皆様には、厚くお礼申し上げます。

2018（平成 30）年 9 月

松山市人権教育推進協議会
会長 田 所 和 人

目 次

はじめに

I 調査の概要	・・・1
II 調査結果のまとめ	・・・3
III 調査結果	・・・7
1 人権及び人権問題に関する意識	・・・7
問1 人権尊重に関する意識	・・・7
問2 人権問題への関心	・・・9
問3 人権課題への関心	・・・11
女性の人権 子どもの人権	・・・11
高齢者の人権 障がい者の人権	・・・12
同和問題 外国人の人権	・・・13
HIV感染者・エイズ患者の人権	・・・14
ハンセン病患者・元患者の人権	・・・14
刑を終えて出所した人の人権 犯罪被害者の人権	・・・15
インターネットによる人権侵害	・・・16
性的マイノリティ（性的少数者）の人権	・・・16
北朝鮮による拉致問題 アイヌ民族の人権	・・・17
ホームレスの人権 人身取引	・・・18
被災者の人権	・・・19
問4 子どもへの体罰	・・・20
問5 子どもへの虐待	・・・22
問6 子どもへの虐待防止	・・・24
問7 高齢者へ家を貸すことについて	・・・26
問8 外国人へ家を貸すことについて	・・・28
問9 外国人の人権	・・・30
問10-① 性的マイノリティ（同性愛）への対応	・・・32
問10-② 性的マイノリティ（性同一性障がい）への対応	・・・34
問11 障がい者施設の設置	・・・40
問12 刑を終えて出所した人	・・・42
問13 インターネットによる人権侵害	・・・43
2 同和問題に関する意識	・・・44
問14 知ったきっかけ	・・・44
問15 差別があるか	・・・46
問15-2 どんなときか	・・・48
問16 家族と話題にした頻度	・・・50
問17 差別的発言への対応	・・・52
3 人権教育・啓発活動に関する意識	・・・54
問18 学習会への参加頻度	・・・54
問18-2 参加したきっかけ	・・・56
問18-3 学習会への評価	・・・58
問18-4 不参加の理由	・・・59
4 部落差別解消推進法に関する意識	・・・61
問19 法律の認知度	・・・61
5 自由記述からうかがえる意識	・・・62
概要	・・・62
自由記述の抜粋	・・・63
IV 付属資料	
1 「人権問題に関する市民意識調査」実施要項	・・・71
2 「人権問題に関する市民意識調査」調査用紙	・・・72
3 「人権問題に関する市民意識調査」数値表	・・・81
あとがき	・・・128

I 調査の概要

松山市民の人権意識を把握するために、市内に在住する 15 歳以上 79 歳以下の市民を対象に質問紙による調査を行った。

調査対象者は、住民基本台帳から単純無作為抽出で 3,000 人を選んだ。調査期間は、2017 年 10 月 24 日から 11 月 8 日までとし、調査方法は郵送によって行った。10 月 31 日に、調査対象者全員に対し再度、調査協力の依頼状を発送した。

3,000 票のうち、宛先不明・転居等で、返送されてきた調査不能票は、7 票。返送されてきた調査票のうち白紙のもの等（2 票）を除いた有効票は 1,600 票（男性 679 人・女性 901 人、その他 3 人、性別無回答 17 人）で、回収率は 53.3%であった。

本調査は、その前身にあたる「同和問題に関する市民意識調査」として 1982 年に第 1 回調査を行った後、5 年毎に 3 回行われた。第 5 回目の 2002 年調査から「人権問題に関する市民意識調査」と改め、今回に至っている。

それぞれの調査における回収率は、1982 年—33.3%、1987 年—27.3%、1992 年—42.5%、1997 年—51.9%、2002 年—52.2%、2007 年—53.5%、2012 年—57.5%、2017 年—53.3%となっている。

また、回答者の年代別内訳は、10 代—84 人、20 代—146 人、30 代—201 人、40 代—280 人、50 代—315 人、60 代—317 人、70 代以上—226 人となっている。（年代無回答は 31 人）

2015 年国勢調査

5 歳 階梯	総数 (人)	男性 (人)	構成比	女性 (人)	構成比
総数	392,685	185,380	47.2%	207,305	52.8%
15～19	25,706	13,276	3.4%	12,430	3.2%
20～24	25,073	12,433	3.2%	12,640	3.2%
25～29	24,415	11,458	2.9%	12,957	3.3%
30～34	28,205	13,531	3.4%	14,674	3.7%
35～39	32,721	15,703	4.0%	17,018	4.3%
40～44	37,858	18,251	4.6%	19,607	5.0%
45～49	32,535	15,299	3.9%	17,236	4.4%
50～54	31,315	14,449	3.7%	16,866	4.3%
55～59	31,014	14,503	3.7%	16,511	4.2%
60～64	34,182	16,109	4.1%	18,073	4.6%
65～69	38,153	17,810	4.5%	20,343	5.2%
70～74	28,724	12,912	3.3%	15,812	4.0%
75～79	22,784	9,646	2.5%	13,138	3.3%

2017 年市民意識調査 回答者

男性 (人)	構成比	女性 (人)	構成比	5 歳 階梯
677	43.2	889	56.8	総数
47	3.0%	36	2.3%	15～19
35	2.2%	45	2.9%	20～24
33	2.1%	32	2.0%	25～29
40	2.6%	60	3.8%	30～34
53	3.4%	47	3.0%	35～39
73	4.7%	83	5.3%	40～44
55	3.5%	69	4.4%	45～49
58	3.7%	112	7.2%	50～54
58	3.7%	87	5.6%	55～59
53	3.4%	91	5.8%	60～64
59	3.8%	114	7.3%	65～69
69	4.4%	67	4.3%	70～74
44	2.8%	46	2.9%	75～79

注) 性別・年代無回答その他の 34 名を除く

今回の市民意識調査の回答者の属性について、2015 年国勢調査の松山市の人口構成と比べると、女性の構成比が 4.0 ポイント高くなっている。

さらに市民意識調査の回答者を性別年齢 5 歳階梯でみると、50 代前半女性が実際の構成比よりも 2.9 ポイント、60 代後半女性で 2.1 ポイント高くなっている。他の性別年齢 5 歳階梯では、国勢調査と極端な乖離はなく、回収率が極度に低いという性別年齢 5 歳階梯もなかった。ゆえに今回、十分に統計的分析に耐えられる有効票を回収できたといえる。

- ① クロス表の「1 %水準で有意」「5 %水準で有意」「有意ではない」はカイ 2 乗検定の結果を表す。クロス表のセルに 5 未満の数値が入ることが多い場合は、適宜カテゴリーの統合を行った。
- ② クロス集計は無回答を除いて行った。そのため、単純集計の合計の値と各クロス表の合計の値は異なる場合がある。
- ③ 単純集計表の「N」は比例算数の基数を意味している。特に示していない場合は 1600 である。
- ④ 百分比 (%) は、少数点第 2 位を四捨五入しているため、総和が必ずしも 100 %にならない場合がある。

II 調査結果のまとめ

総 括

第1回調査を1982（昭和57）年実施して以来、5年ごとに「同和問題に関する市民意識調査」を行い、第5回の2002（平成14）年の調査からは、同和問題をはじめとする幅広い人権問題に対応した人権教育及び啓発施策を総合的かつ効果的に推進していくために、表題を「人権問題に関する市民意識調査」にあらためて実施し今回が第8回目となる。今回の設問は、これまでの調査を基本的に継承しながら実施したが、前回（2012年調査）から、一部内容を変更して実施した。そのため、2012年調査及び2007年調査と同じ設問については回答率を比較して検討考察し、新しい内容については回答率から考察した。

今回の調査の目的は、「人権教育のための国連10年」の取組を通して、同和教育から人権教育に軸足を移してきた状況のもと、これまで積み上げてきた同和教育の成果と課題を人権教育の中心に据え、松山市における人権教育・啓発のさらなる発展のために調査結果を活用することにある。また、人権問題に関する学習会・研修会に市民がどのように参加し、その学習会・研修会を通して市民の人権に対する意識の高揚に、どれだけ効果を上げているのかを把握すること。社会や地域、人とのつながりが市民の人権意識とどう関わりがあるものか確認することであった。

今回の調査で新たに、「さまざまな人権課題への関心度」、「子どもへの虐待の防止策」、「性的マイノリティの人権」、「刑を終えて出所した人の人権」、「インターネットによる人権侵害」、「部落差別を初めて知ったきっかけ」、「部落差別解消推進法に関する意識」についての設問を増やした。

1 人権及び人権問題に関する意識

（1）「人権が尊重されているか」の質問では、2012年調査と比べて「尊重されている」が増え、「尊重されていない」が減っている。

（2）人権問題への関心度では、2012年調査と比べて「関心がある」が増え、「関心がない」が減っている。

（3）人権問題に関する関心度を課題別にみると、「おおいに関心がある」「少しは関心がある」を合わせて60%を超えた項目は、「子どもの人権」は78.7%「障がい者の人権」は76.7%「女性の人権」は75.9%「被災者の人権」は75.5%「北朝鮮による拉致問題」は70.5%「高齢者の人権」は70.4%「インターネットによる人権侵害」は68.3%「犯罪被害者の人権」は60.5%であった。

（4）「子どもに対する体罰に関して、どのように考えるか」の問いに対して、「体罰は認められない」は28.2%「親による体罰は必要な時があるが、親以外の者は認められない」は15.8%「時と場合によっては、体罰は必要である」は51.7%となっている。

質問事項に若干の違いはあるものの、2012年調査に比べ「体罰は認められない」傾向へ変化しつつある。

(5)「子どもへの虐待を防止するために必要なことは何か」との問いに対して、「虐待した人を厳しく処罰する」は 16.3%「虐待が疑われる家庭へ行政が介入する」は 36.4%「行政による子育て家庭に対する支援サービスを充実する」は 20.1%「地域で子育て家庭を見守る」は 12.3%と、行政による実効性ある施策を求める人が多い。現在も児童虐待は後を絶たず、虐待への相談体制の充実を図ったうえで、児童相談所や警察、保健所、保育所、学校など社会全体で虐待防止に取り組む必要がある。

(6)「一人暮らしの高齢者に家や部屋を貸すのを断る家主がいますが、それについてどのようにお考えですか」との問いに対して、「断るべきではない」は 28.4%である。「近くに家族が住んでいれば、入居させてもよい」という条件付きで入居を認める回答は 42.3%である。「断ってもよい」は 11.5%と 2012 年調査に比べ高くなっている。

(7)外国人の人権については、「日本人と同じように人権は守られるべきだ」は 2012 年調査に比べ低くなり、「日本人と同じような権利をもっていなくても仕方がない」も、2012 年調査に比べ低くなっている。

(8)性的マイノリティに関して、「もし、次の A～C の人が同性愛者だとしたら、あなたはどのように思いますか。A『自分の子ども』、B『兄弟姉妹』、C『友人』について「本人の思いを受け入れる」「仕方がない」「本人の思いを受け入れられない」「わからない」から選んでください」との問いに対し、『自分の子ども』、『兄弟姉妹』、『友人』の順で「本人の思いを受け入れられない」割合が高い。この傾向は、性同一性障害についても同様である。

(9)「障がい者が暮らす施設が地域に設置されようとしたときに、地域住民が反対することがありますが、どう思いますか」との問いに対して、「反対する人の気持ちがわからない」は 41.0%、「反対する人の気持ちもわかる」は 40.6%で拮抗している。

(10)「もし職場の同僚が刑を終えて出所した人とわかったときに、どのようにしますか」との問いに対して、「今までどおり付き合う」は 39.8%、「付き合いを減らす」19.6%、「付き合いをやめる」5.1%の合計 24.7%と、現状での付き合いを優先すると答えた人が多数である一方で、「わからない」は 34.3%とその対応を決められないとの回答も多い。

(11)「インターネットに関することからで、人権が尊重されていないと思うときはどんなときですか」との問いに対して、「他人が誹謗中傷する表現が掲載されているとき」は 77.3%、「個人情報流出しているとき」は 73.1%、「差別を助長する表現や内容が掲載されているとき」は 60.5%と多くの人が、インターネット上では、人権が尊重されていない状況にあると認識している回答が多い。

2 同和問題に関する意識

(1)「同和問題にかかわる差別（部落差別）をはじめて知ったきっかけはどれですか」との問いに対して、「学校の授業で」初めて知ったという回答が 48.1%、「家族から」が 25.1%である。

年代別では、概ね年代が下がるに従い「学校の授業で」初めて知ったという回答が増加し、10 代では 84.3%にもなっている。このことは、人権・同和教育を推進してきた成果である。

一方で、4 人に 1 人が「家族（祖父母・父母・兄弟姉妹など）から」知ったと回答している。年代別では、概ね年齢が下がるに従い「家族（祖父母・父母・兄弟姉妹など）から」知ったという回答は減少し、10 代では 6.0%である。

(2)「今なお同和問題にかかわる差別（部落差別）があると思いますか」の問いに対して、同和問題にかかわる差別が「なくなったと思う」が 15.0%で、2007 年

調査 11.1%と比較して、10 年で 3.9 ポイント上がっている。一方で、「まだまだあると思う」が 17.8%で、2007 年調査 24.1%と比較して、6.2 ポイント下がっている。このことは、同和問題にかかわる差別が、少しずつ解消に向かっていると考える人が増えているといえる。

年代別でみると、40 代より上の年代では、「まだまだあると思う」「少しは残っていると思う」が合わせて 7 割前後と大きな割合を占める傾向がみられ、10 代から 30 代では、5 割前後という結果となっている。

(3)「この 1 年間に家族との間で、同和問題をどの程度話題にしましたか」の問いに対して、同和問題について「話題にした」割合が一番大きいのは、70 代 14.5% だった。これは、過去に同和問題が話題になる社会的な背景があったことの表れと考えられる。「話題にした」年代層は、40 代から 70 代では 7.8%～14.5% いるが、10 代から 30 代では 3.6%～7.3% と、40 代以上の世代に比べて少ない。中でも 10 代は 7.3% で、実際に学校で同和問題について学んでいる年代にしては家族と話している割合があまり高くない結果となっている。

(4)「もし家族から同和問題について差別的な話が出たとき、どのようにしますか」の問いに対して、「説明する自信がないので、そのままにしておく」と答えている人に対して研修の機会が望まれる。

年代別では「説明する自信がないので、そのままにしておく」「自分には関係がないことだから、そのままにしておく」と答えた人の割合は、高い順に 20 代 49.7%、70 代 46.0%、30 代 43.5% となっている。

ここで特に注目したいのは、20 代 30 代で「自分で説明する」と答えた割合が、他の年代に比べて低いことである。この年代に対しては、正しいことを学ぶことによって自信を持ったり、自分との関わりを考えたりするような人権教育・人権啓発の内容の工夫や改善が必要と思われる。

3 人権教育・啓発活動に関する意識

(1)「過去 3 年間で人権問題の学習会や研修会に何回参加しましたか」の問いに対して、「まったくない」が全体の 76.5%で「1～2 回」が 12.8%、「3～5 回」が 6.1%、「6 回以上」は 2.3%であった。研修会への参加頻度では、「3～5 回」が 10 代に多く、学校での授業によるものと思われる。

(2)「1 回～2 回」「3 回～4 回」「6 回以上」と答えた 339 人のうち、「参加したきっかけ」について、10 代、20 代は、男女とも「学校の授業で受けたから」が最も多い。30 代から 60 代の男性では、「勤務先から参加するようにすすめられたから」が最も多く、企業等でも人権問題に取り組んでいることがうかがえる。また、同年代の女性では、「授業参観日や P T A 行事に、人権教育が組み込まれていたから」が最も多く、男女の参加のきっかけの違いが分かる。

このことは、男女の研修・学習会の場が違うことが考えられるため、学校教育と社会教育の継続的な学習機会の提供や内容の検証等の連携強化が必要であると考えられる。

70 代では、男女とも「関係団体の役員になっていたから」が最も多い。

(3)「学習会に参加してみて、その内容について総合評価すると、どれにあてはまりますか」との問いに対して「人権問題の理解におおいに役立った」「人権問題

の理解に少しは役立った」を合わせた回答が 65.7%、2012 年調査 57.1%に比べ、8.6 ポイント上がった。これは、過去 3 回の調査で最も高く、研修・学習会の内容が充実してきたものと思われる。しかし、19.1%の方は「いつも同じような話の内容であった」と回答しており、今後も学習内容や方法を工夫していかなければならない。

(4) 過去 3 年間「人権問題の学習会や研修会にまったく参加していない」1,228 人に、参加しない理由を問うと、「研修・学習会が行われていることを知らなかった」は 51.4%で最も高い。

年代別にみると、60 代以上では「人権問題のことはすでによく知っていたので参加するまでもない」が 10%を超え多い。このことから、60 代以上への啓発については、高齢者向けの身近な内容を取り上げ、高齢者クラブ等への呼びかけを工夫していく必要がある。

一方「研修・学習会が行われていることを知らなかった」と回答したのは、20 代の 70.2%を最高に、50 代までの年代で 50%を超えている。学齢期の子どもがいる保護者は、授業参観や P T A 行事等で研修会への参加が多い半面、その他の機会では情報が入りにくい状況にあると考えられる。そのため、すべての人に研修・学習会の情報が提供できる方法を工夫する必要がある。

4 部落差別解消推進法に関する意識

平成 28 年 12 月施行の部落差別解消推進法に関しての問いでは「法律の内容を知っている」「施行されたことは知っている」が計 13.2%、「知らない」は 85.6%であった。引き続き周知のための教育・啓発の必要がある。

5 自由記述からうかがえる意識

自由記述欄を記入した人は 288 名あり、その中では、人権教育・啓発活動に肯定的・建設的な意見・感想があったが、否定的なものもあった。

調査対象者からは「調査に回答して人権を学ぶ良い機会になった」「人権教育・啓発の取組が、身近な問題であると理解できた」等の普段の日常生活との関わりに気付く機会となったなど好意的意見が多数あった。

また、「調査に答えるうちに、誰のどういう人権か、人権を他人事と捉えるのではなく、地域のつながりを構築し、人権問題を地域で考えていける社会づくりをめざすべきだ」といった個々人のつながりを提起する意見もあった。

人権教育及び啓発活動に関して、様々な考えがあることを大切にしながら、松山市の人権教育及び啓発活動を充実していくための貴重な意見として今後の取組に活かしていきたい。

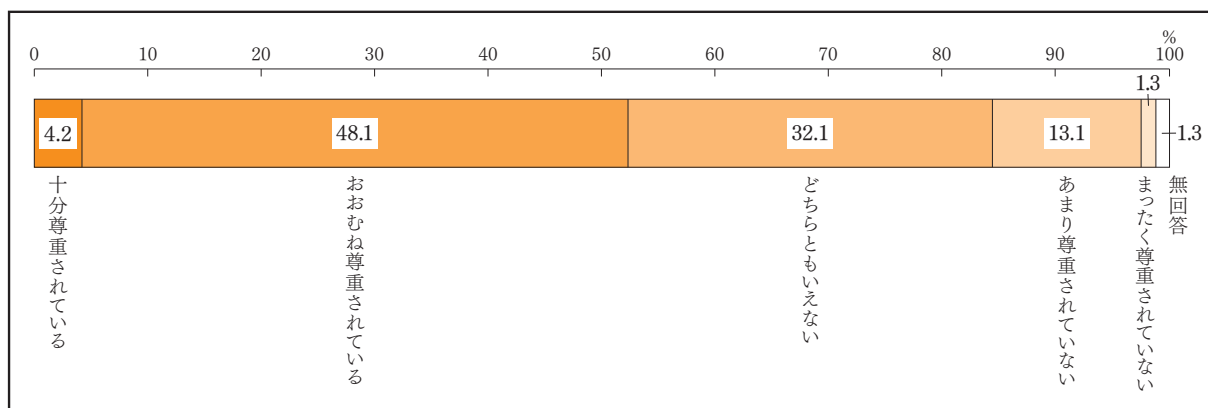
Ⅲ 調査結果

1 人権及び人権問題に関する意識

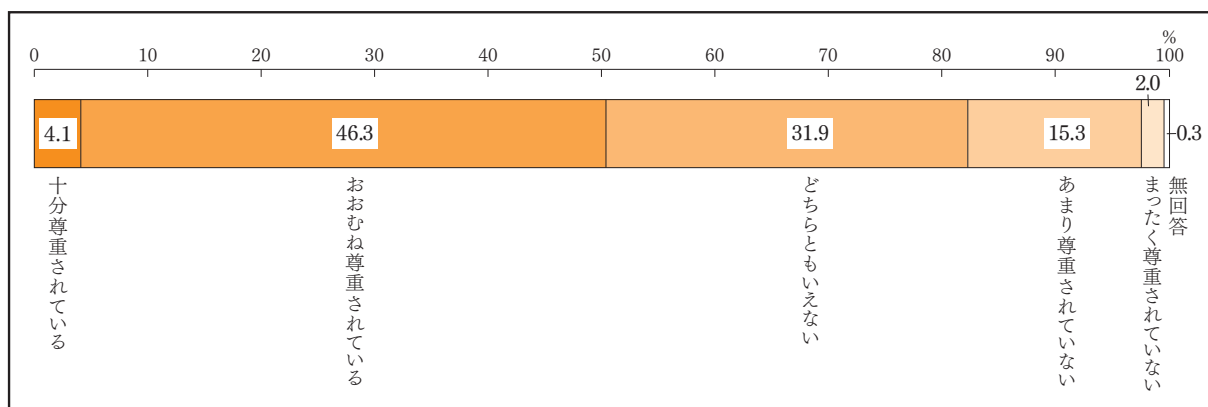
問1 あなたは、今の日本の社会では人権が尊重されていると思いますか、思いま
せんか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 十分尊重されている	67	(4.2)
2 おおむね尊重されている	769	(48.1)
3 どちらともいえない	513	(32.1)
4 あまり尊重されていない	210	(13.1)
5 まったく尊重されていない	21	(1.3)
無回答	20	(1.3)

2017 年調査



2012 年調査



「十分尊重されている」と回答した人は 4.2%と少ないが、「おおむね尊重されている」と回答した人を合わせると 52.3%になる。

「あまり尊重されていない」「まったく尊重されていない」を合わせた値は 14.4%で、2012 年調査 17.3%に比べ 2.9 ポイント下がっている。

2017 [表1] 性別 × 問1 (人権が尊重されているか)

	十分 尊重されている	おおむね尊重 されている	どちらとも いえない	あまり尊重 されていない	まったく尊重 されていない	％の 基数
男性	6.3%	51.4%	26.6%	14.3%	1.3%	669
女性	2.8%	46.7%	37.0%	12.5%	1.0%	891
合計	4.3%	48.7%	32.6%	13.3%	1.2%	1560

(1%水準で有意)

2012 [表2] 性別 × 問1 (人権が尊重されているか)

	十分 尊重されている	おおむね尊重 されている	どちらとも いえない	あまり尊重 されていない	まったく尊重 されていない	％の 基数
男性	5.7%	48.8%	28.5%	14.1%	2.9%	944
女性	2.8%	44.9%	34.6%	16.3%	1.4%	1322
合計	4.0%	46.6%	32.0%	15.4%	2.0%	2266

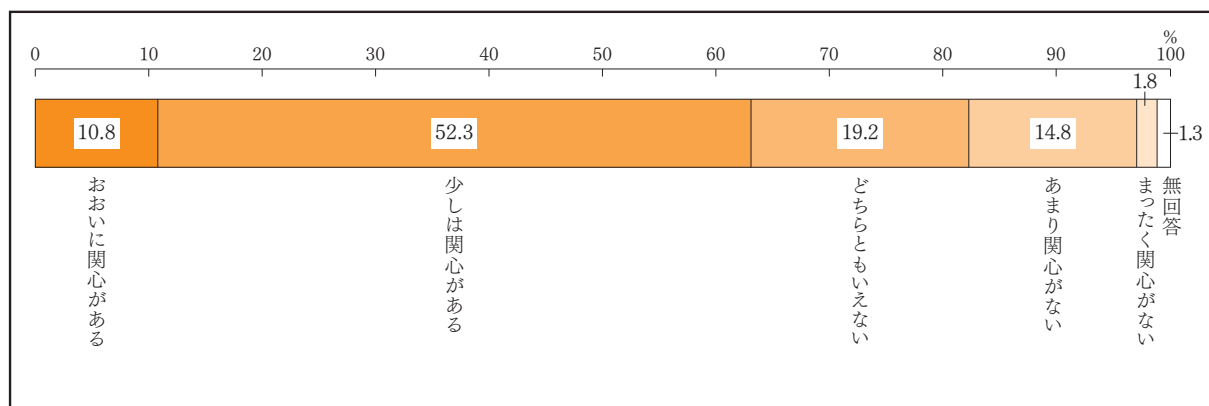
(1%水準で有意)

性別でみると、「人権が尊重されている」とする割合は男性が高く、「どちらともいえない」は女性が高い。この傾向は2012年調査と同様である。

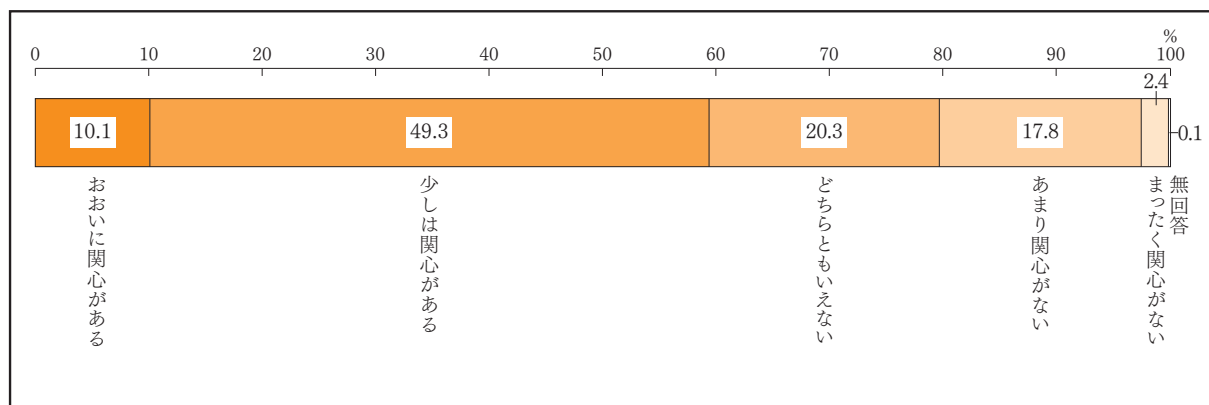
問2 あなたは、人権問題に、日ごろからどの程度関心がありますか。次の中から
1つお選びください。

	人	(%)
1 おおいに関心がある	172	(10.8)
2 少しは関心がある	836	(52.3)
3 どちらともいえない	307	(19.2)
4 あまり関心がない	236	(14.8)
5 まったく関心がない	28	(1.8)
無回答	21	(1.3)

2017 年調査



2012 年調査



「おおいに関心がある」「少しは関心がある」を合わせると 63.1% となっており、2012 年調査 59.4%と比べると 3.7 ポイント上がっており、関心度は高いと考えられる。

また、「あまり関心がない」「まったく関心がない」は、合わせて 16.6% となっており、2012 年調査 20.2%と比べると 3.6 ポイント下がっている。

[表3] 年代 × 問2 (人権問題への関心)

	おおいに関心がある	少しは関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	まったく関心がない	%の 基数
10代	7.1%	61.9%	13.1%	11.9%	6.0%	84
20代	6.2%	45.5%	24.1%	19.3%	4.8%	145
30代	5.5%	49.5%	24.0%	17.0%	4.0%	200
40代	8.2%	54.3%	18.6%	17.9%	1.1%	280
50代	13.8%	49.0%	23.1%	14.1%	0.0%	312
60代	12.9%	55.0%	15.9%	14.9%	1.3%	309
70代	17.4%	58.7%	14.2%	9.6%	0.0%	218
合計	11.0%	53.0%	19.3%	15.1%	1.7%	1548

(1%水準で有意)

人権問題への関心度については、「おおいに関心がある」の回答率が年齢を重ねるごとに高くなり、「まったく関心がない」「あまり関心がない」が低くなる傾向にある。

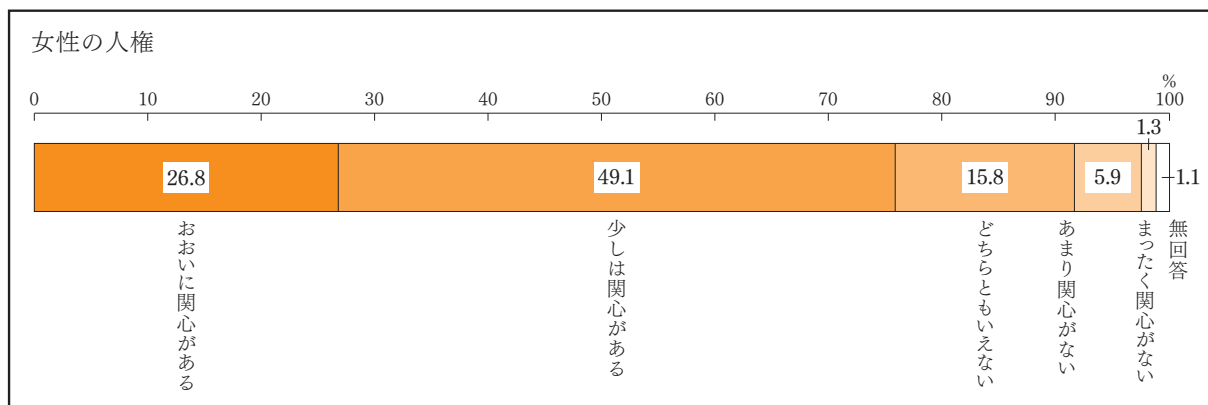
【新規】

問3 あなたは、次のA～Qの人権課題にどの程度関心がありますか。AからQまで、それぞれお答えください。

A 女性の人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	429	(26.8)
2 少しは関心がある	785	(49.1)
3 どちらともいえない	253	(15.8)
4 あまり関心がない	95	(5.9)
5 まったく関心がない	20	(1.3)
無回答	18	(1.1)

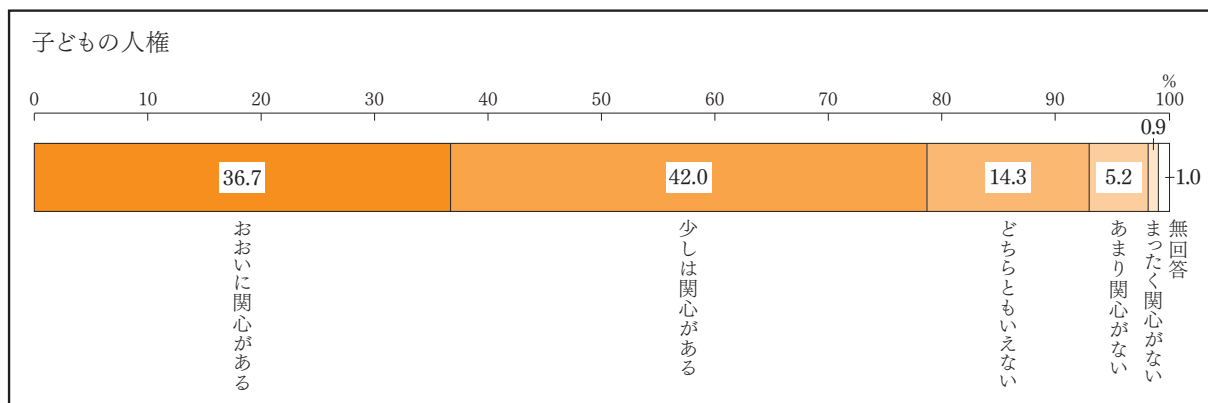
2017 年調査



B 子どもの人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	587	(36.7)
2 少しは関心がある	672	(42.0)
3 どちらともいえない	228	(14.3)
4 あまり関心がない	83	(5.2)
5 まったく関心がない	14	(0.9)
無回答	16	(1.0)

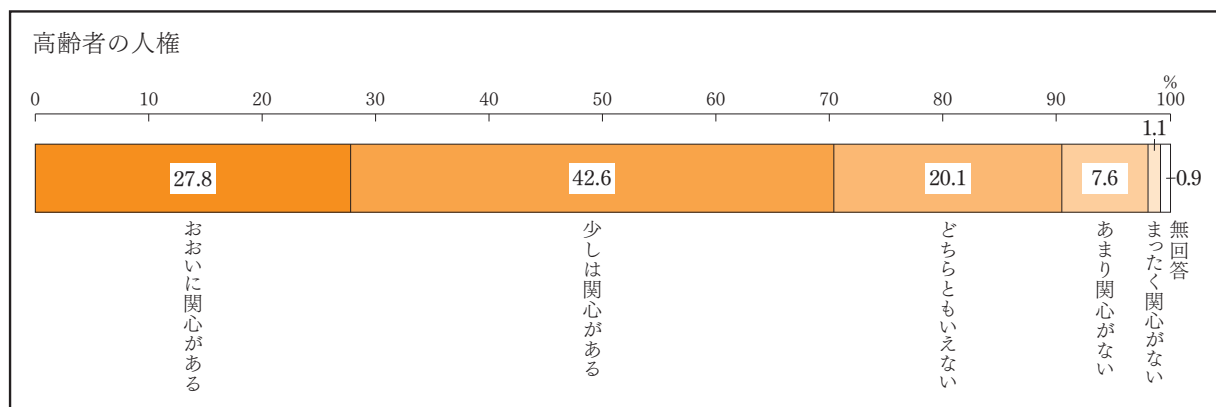
2017 年調査



C 高齢者の人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	444	(27.8)
2 少しは関心がある	682	(42.6)
3 どちらともいえない	322	(20.1)
4 あまり関心がない	121	(7.6)
5 まったく関心がない	17	(1.1)
無回答	14	(0.9)

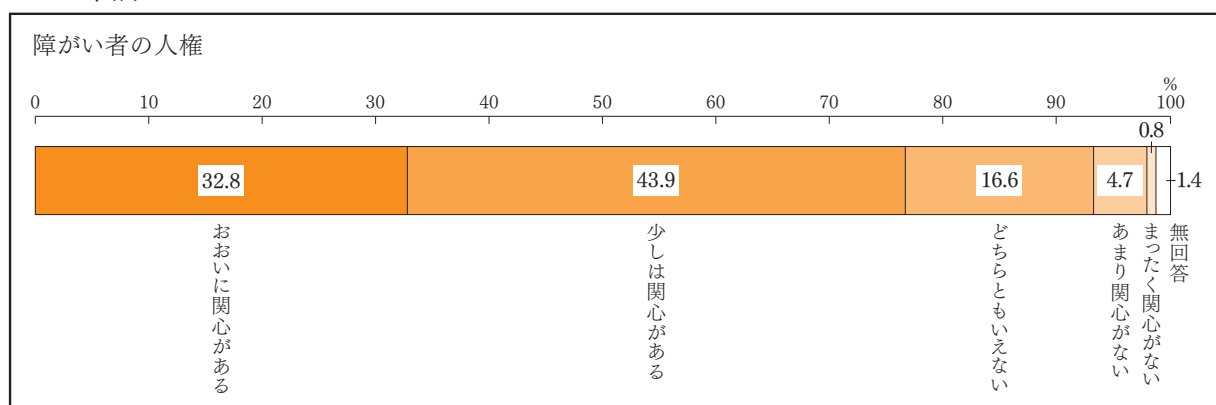
2017 年調査



D 障がい者の人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	524	(32.8)
2 少しは関心がある	702	(43.9)
3 どちらともいえない	265	(16.6)
4 あまり関心がない	75	(4.7)
5 まったく関心がない	12	(0.8)
無回答	22	(1.4)

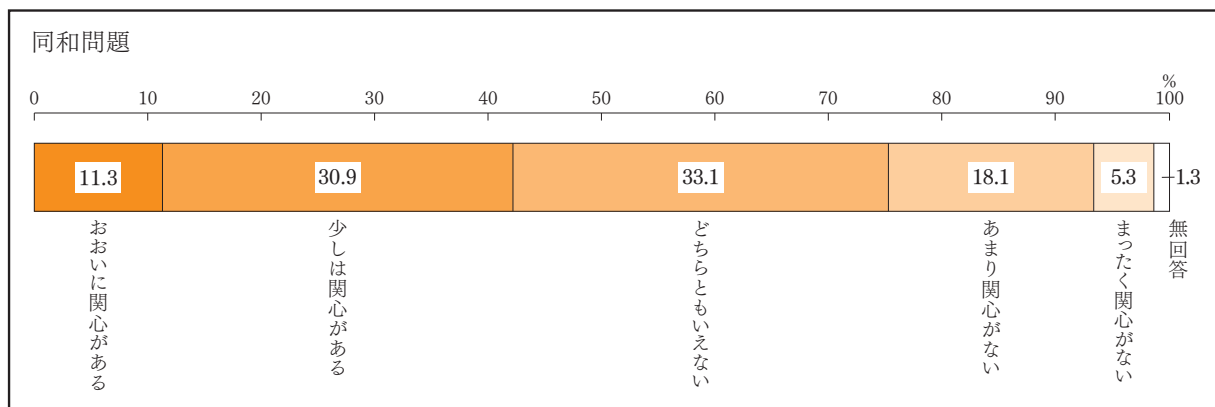
2017 年調査



E 同和問題

	人	(%)
1 おおいに関心がある	180	(11.3)
2 少しは関心がある	495	(30.9)
3 どちらともいえない	530	(33.1)
4 あまり関心がない	290	(18.1)
5 まったく関心がない	84	(5.3)
無回答	21	(1.3)

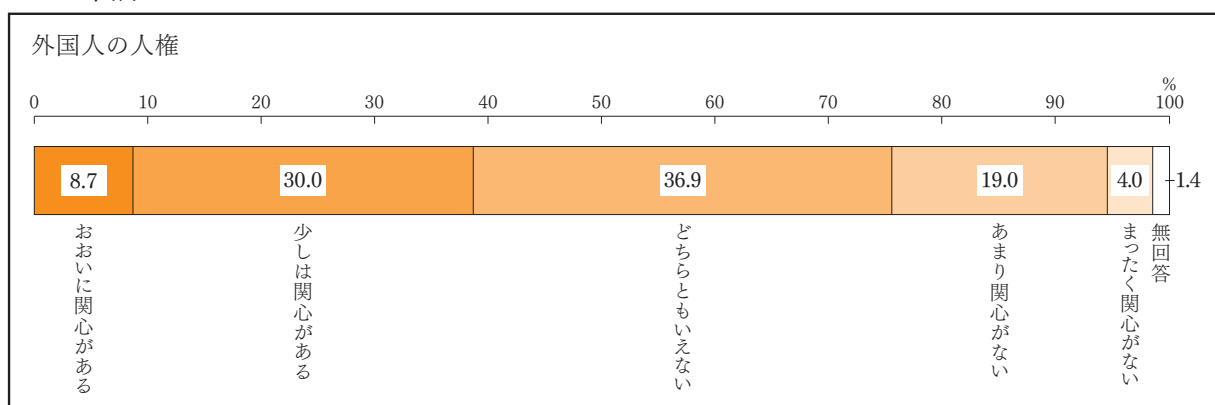
2017 年調査



F 外国人の人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	139	(8.7)
2 少しは関心がある	480	(30.0)
3 どちらともいえない	590	(36.9)
4 あまり関心がない	304	(19.0)
5 まったく関心がない	64	(4.0)
無回答	23	(1.4)

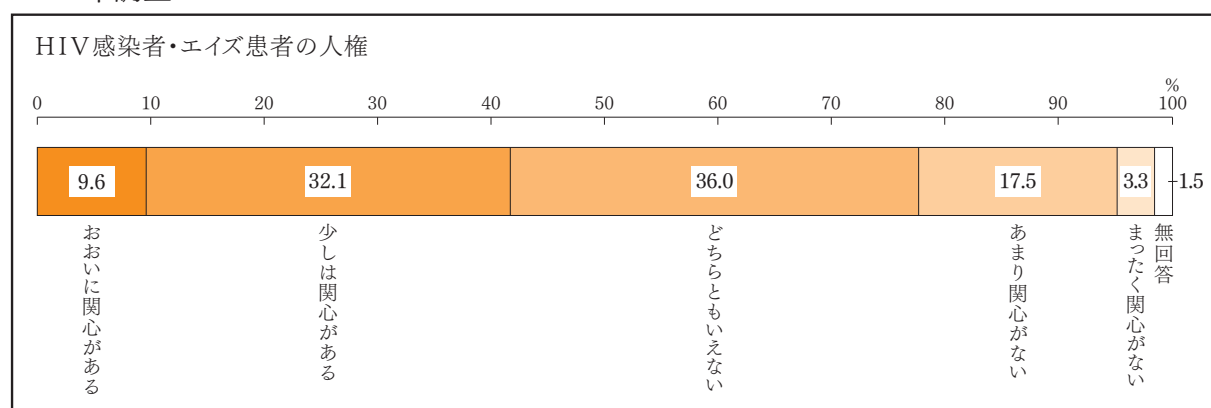
2017 年調査



G HIV感染者・エイズ患者の人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	154	(9.6)
2 少しは関心がある	513	(32.1)
3 どちらともいえない	576	(36.0)
4 あまり関心がない	280	(17.5)
5 まったく関心がない	53	(3.3)
無回答	24	(1.5)

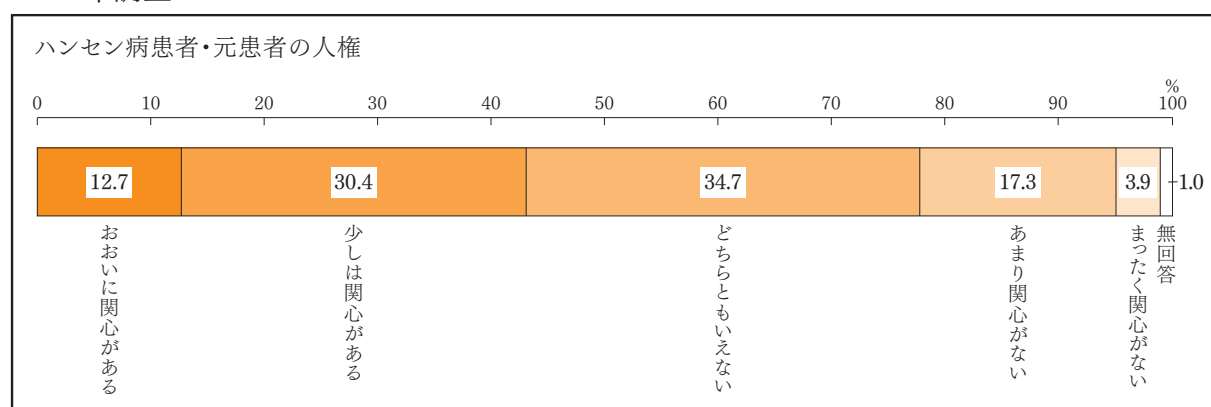
2017 年調査



H ハンセン病患者・元患者の人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	203	(12.7)
2 少しは関心がある	486	(30.4)
3 どちらともいえない	555	(34.7)
4 あまり関心がない	277	(17.3)
5 まったく関心がない	63	(3.9)
無回答	16	(1.0)

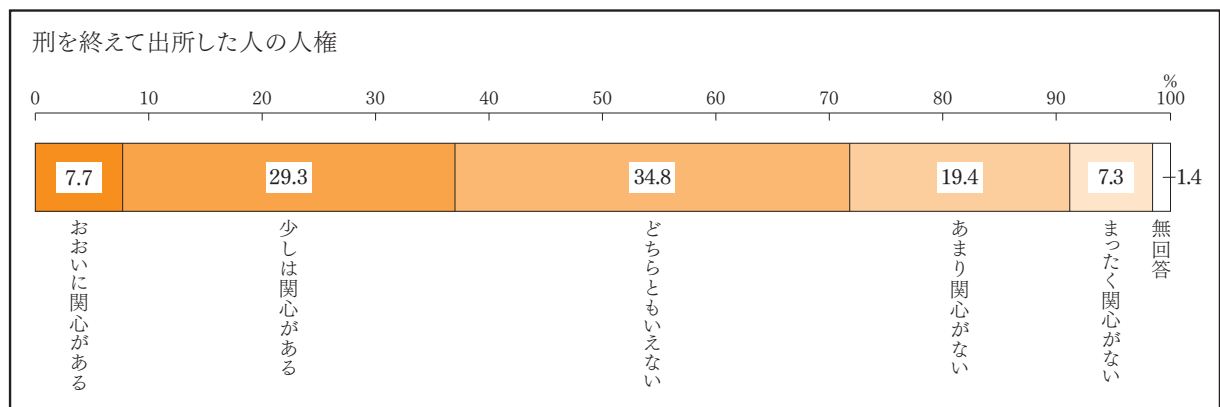
2017 年調査



I 刑を終えて出所した人の人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	123	(7.7)
2 少しは関心がある	469	(29.3)
3 どちらともいえない	557	(34.8)
4 あまり関心がない	311	(19.4)
5 まったく関心がない	117	(7.3)
無回答	23	(1.4)

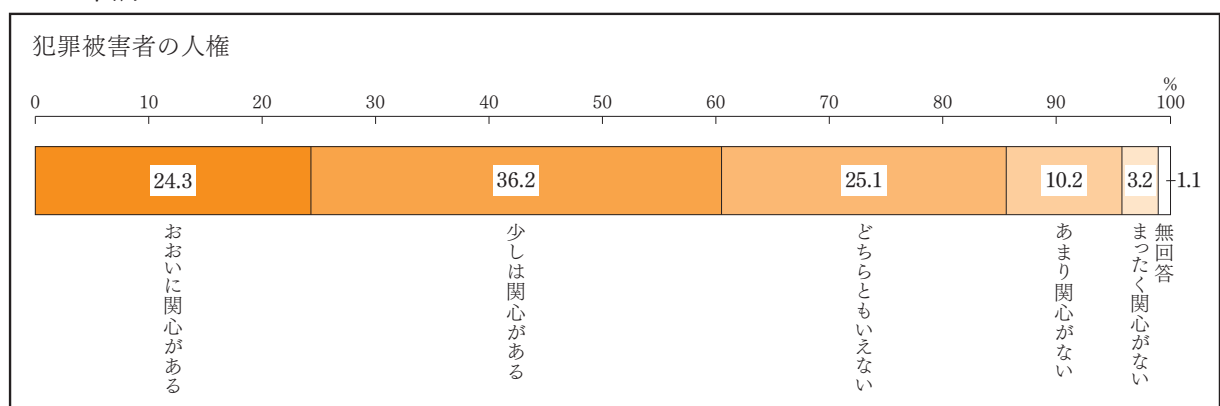
2017 年調査



J 犯罪被害者の人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	389	(24.3)
2 少しは関心がある	579	(36.2)
3 どちらともいえない	401	(25.1)
4 あまり関心がない	163	(10.2)
5 まったく関心がない	51	(3.2)
無回答	17	(1.1)

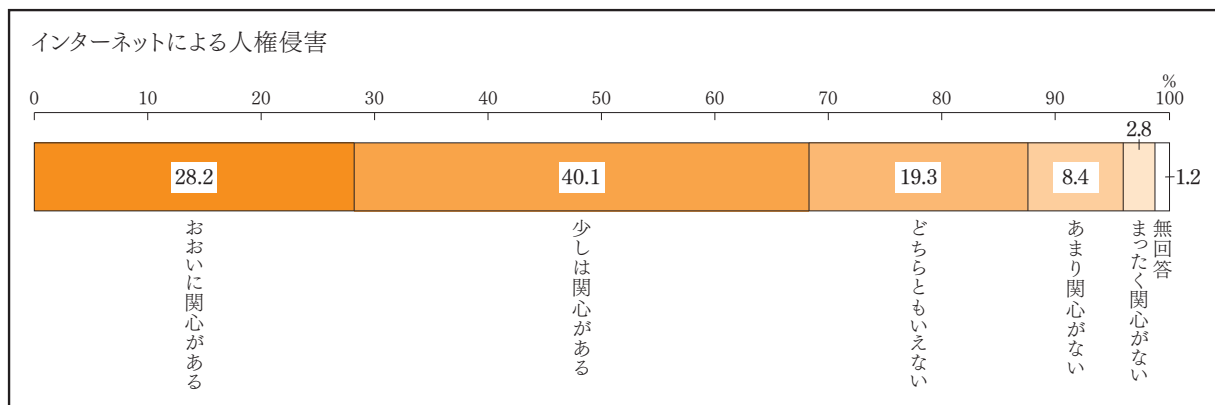
2017 年調査



K インターネットによる人権侵害

	人	(%)
1 おおいに関心がある	451	(28.2)
2 少しは関心がある	642	(40.1)
3 どちらともいえない	309	(19.3)
4 あまり関心がない	135	(8.4)
5 まったく関心がない	44	(2.8)
無回答	19	(1.2)

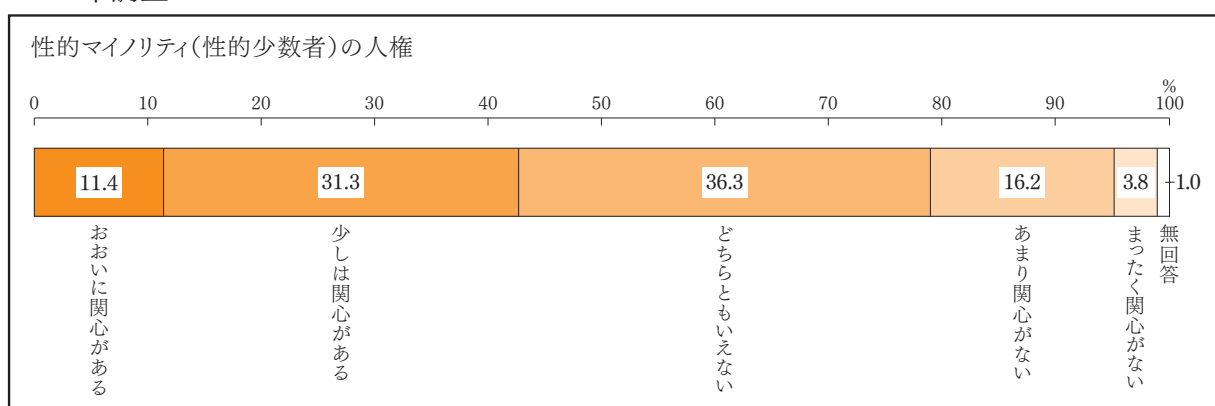
2017 年調査



L 性的マイノリティ（性的少数者）の人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	183	(11.4)
2 少しは関心がある	501	(31.3)
3 どちらともいえない	580	(36.3)
4 あまり関心がない	259	(16.2)
5 まったく関心がない	61	(3.8)
無回答	16	(1.0)

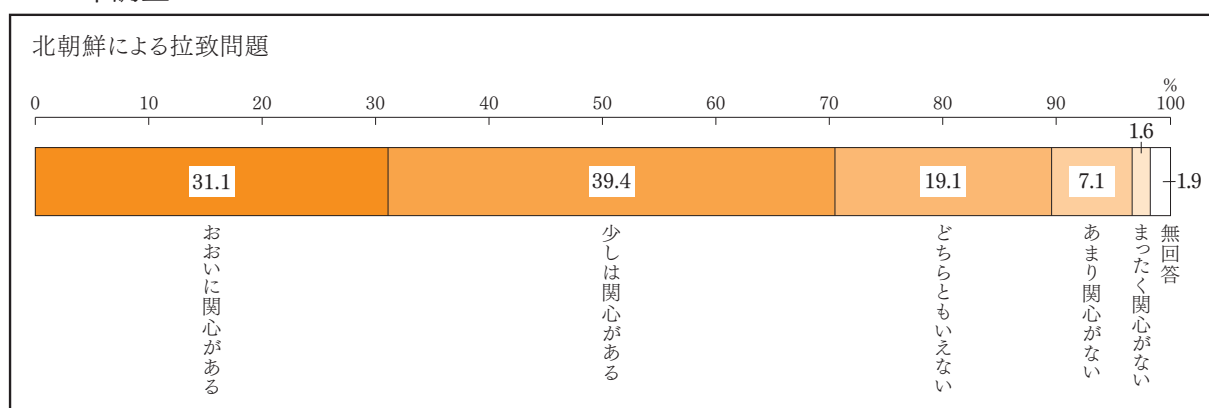
2017 年調査



M 北朝鮮による拉致問題

	人	(%)
1 おおいに関心がある	497	(31.1)
2 少しは関心がある	630	(39.4)
3 どちらともいえない	305	(19.1)
4 あまり関心がない	113	(7.1)
5 まったく関心がない	25	(1.6)
無回答	30	(1.9)

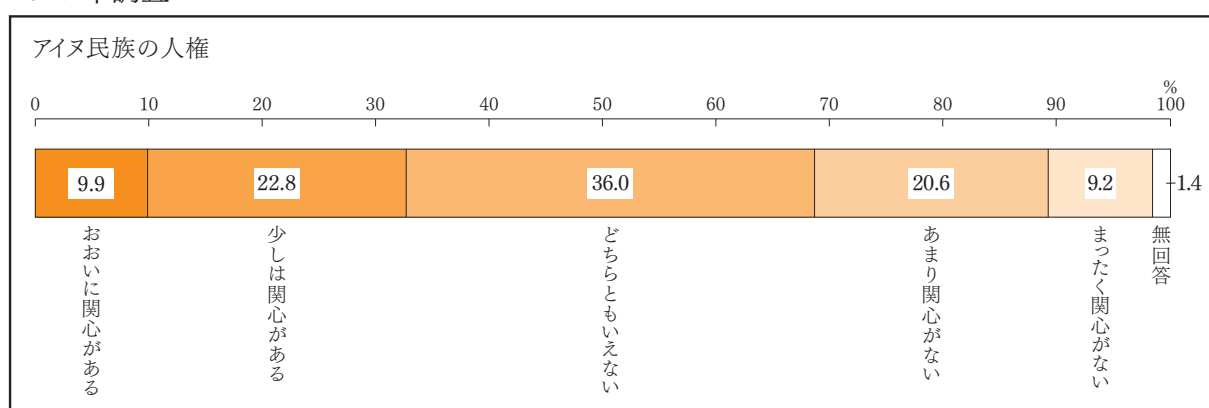
2017 年調査



N アイヌ民族の人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	159	(9.9)
2 少しは関心がある	365	(22.8)
3 どちらともいえない	576	(36.0)
4 あまり関心がない	330	(20.6)
5 まったく関心がない	147	(9.2)
無回答	23	(1.4)

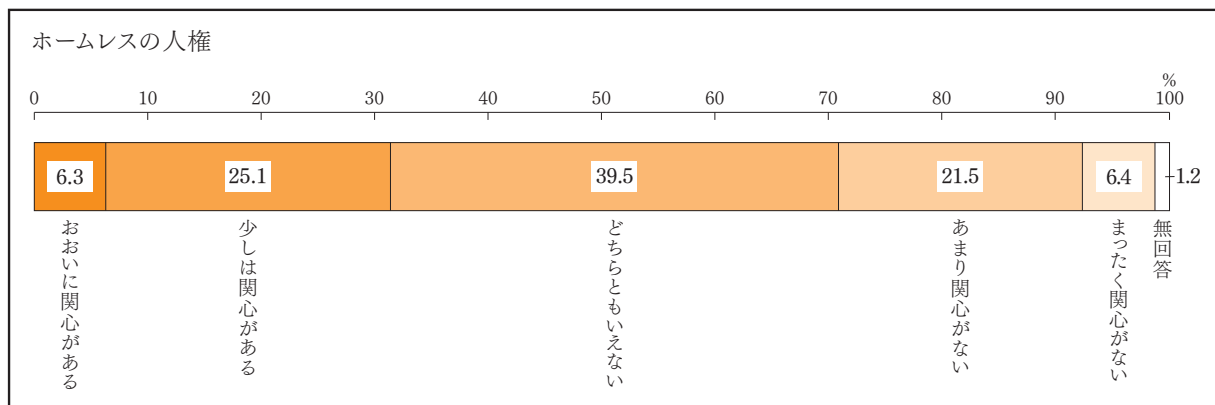
2017 年調査



○ ホームレスの人権

	人	(%)
1 おおいに関心がある	101	(6.3)
2 少しは関心がある	401	(25.1)
3 どちらともいえない	632	(39.5)
4 あまり関心がない	344	(21.5)
5 まったく関心がない	103	(6.4)
無回答	19	(1.2)

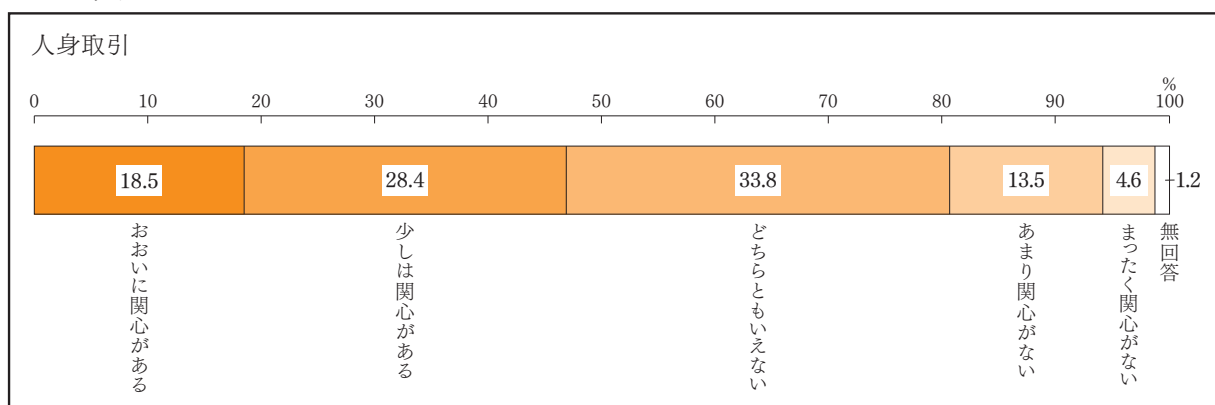
2017 年調査



P 人身取引

	人	(%)
1 おおいに関心がある	296	(18.5)
2 少しは関心がある	455	(28.4)
3 どちらともいえない	541	(33.8)
4 あまり関心がない	216	(13.5)
5 まったく関心がない	73	(4.6)
無回答	19	(1.2)

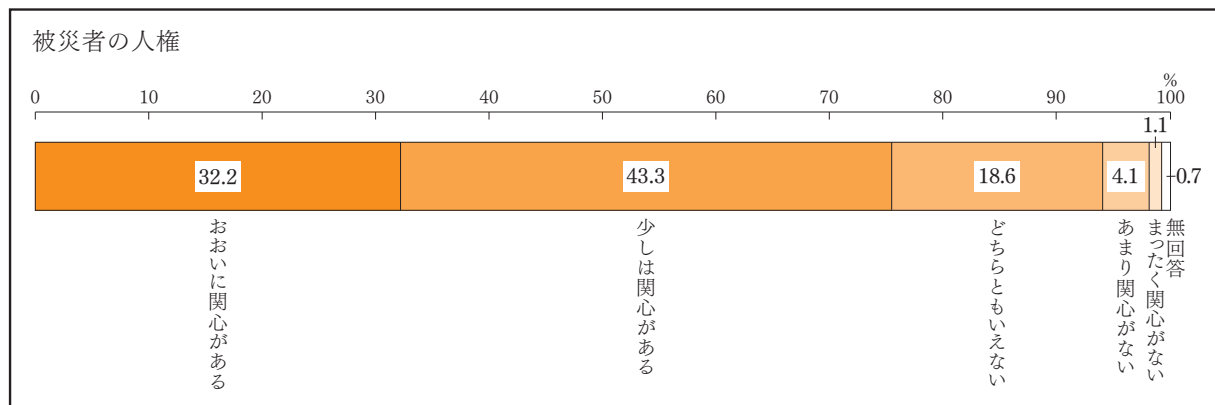
2017 年調査



Q 被災者の人権

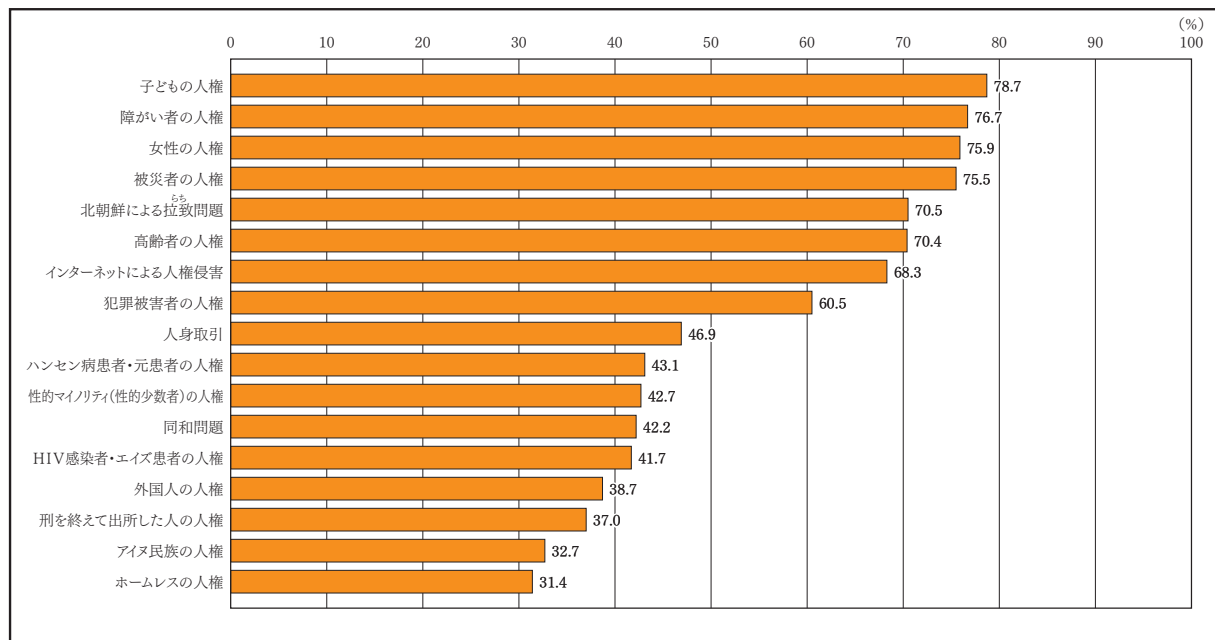
	人	(%)
1 おおいに関心がある	515	(32.2)
2 少しは関心がある	693	(43.3)
3 どちらともいえない	297	(18.6)
4 あまり関心がない	66	(4.1)
5 まったく関心がない	18	(1.1)
無回答	11	(0.7)

2017 年調査



課題別の人権問題に関する関心度

2017 年調査



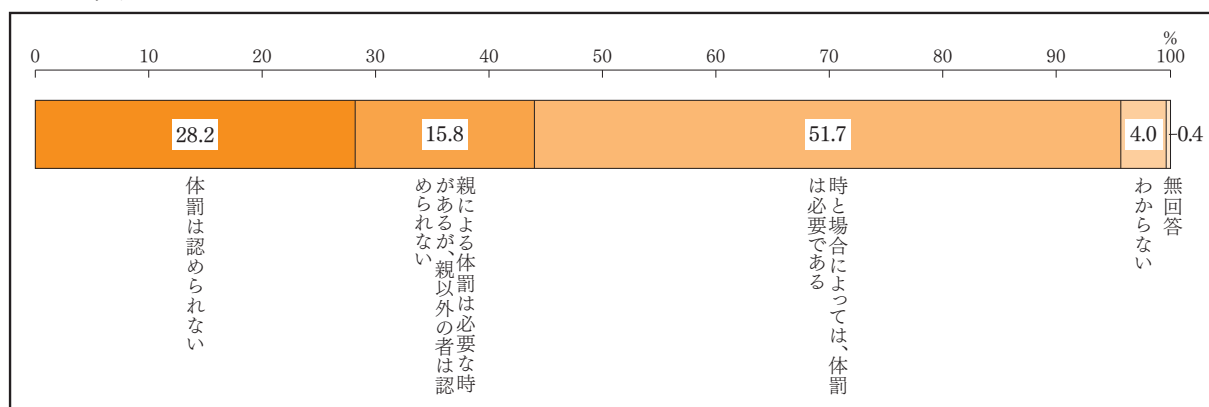
人権問題に関する関心度を課題別に確認すると、「おおいに関心がある」「少しは関心がある」を合わせて 60% を超えた項目は、「子どもの人権」78.7%「障がい者の人権」76.7%「女性の人権」75.9%「被災者の人権」75.5%「北朝鮮による拉致問題」70.5%「高齢者の人権」70.4%「インターネットによる人権侵害」68.3%「犯罪被害者の人権」60.5% である。

他の項目が 3 割～ 4 割しかないのに対して関心が非常に高い。

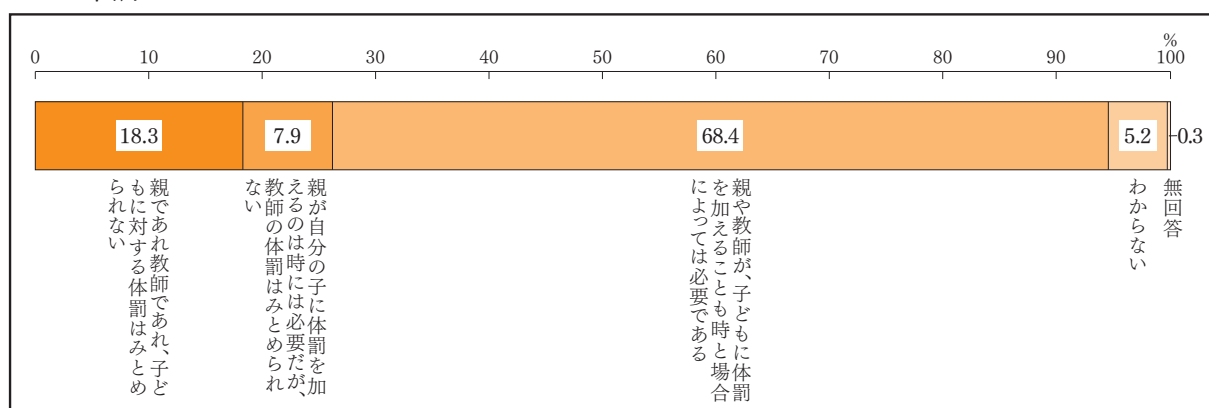
問4 あなたは、子どもに対する体罰に関して、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 体罰は認められない	451	(28.2)
2 親による体罰は必要な時があるが、親以外の者は認められない	252	(15.8)
3 時と場合によっては、体罰は必要である	827	(51.7)
4 わからない	64	(4.0)
無回答	6	(0.4)

2017 年調査



2012 年調査



子どもの体罰については、「時と場合によっては、体罰は必要である」は 51.7% で非常に高い。これは 2012 年調査に比べて 16.7 ポイント下がった。「体罰は認められない」は、28.2% である。質問事項に若干の違いはあるものの、2012 年調査に比べて 9.9 ポイント上がった。

[表4] 性別 × 問4（体罰の認否）

	体罰は認められない	親の体罰は認めるが、親以外は認められない	時と場合によっては体罰は必要である	わからない	%の基数
男性	22.2%	15.4%	60.3%	2.2%	677
女性	32.8%	16.1%	45.8%	5.4%	897
合計	28.2%	15.8%	52.0%	4.0%	1574

（1%水準で有意）

性別でみると、「体罰は認められない」で女性が10.6ポイント高い。一方、「親の体罰は認められるが、親以外は認めない」はほぼ同様に、「時と場合によっては、体罰は必要である」は、男性が14.5ポイント高い。

[表5] 年代 × 問4（体罰の認否）

	体罰は認められない	親の体罰は認めるが、親以外は認められない	時と場合によっては体罰は必要である	わからない	%の基数
10代	59.5%	13.1%	23.8%	3.6%	84
20代	36.3%	15.1%	45.2%	3.4%	146
30代	30.3%	17.9%	46.8%	5.0%	201
40代	22.1%	13.9%	58.9%	5.0%	280
50代	25.8%	13.4%	56.4%	4.5%	314
60代	26.4%	15.0%	55.1%	3.5%	314
70代	21.9%	21.9%	54.9%	1.3%	224
合計	28.1%	15.8%	52.3%	3.8%	1563

（1%水準で有意）

「体罰は認められない」は10代が59.5%と高い値を示している。それに対して、40代は22.1%、70代は21.9%と低い値である。

また、「時と場合によっては、体罰は必要である」では、40代では58.9%、50代でも56.4%が必要と答えている。40代～70代は全て50%以上と割合が高い。10代は、23.8%で割合は低い。

年代別の傾向をみると、10代が「体罰は認められない」の値が高く、40代が低い値を示している。

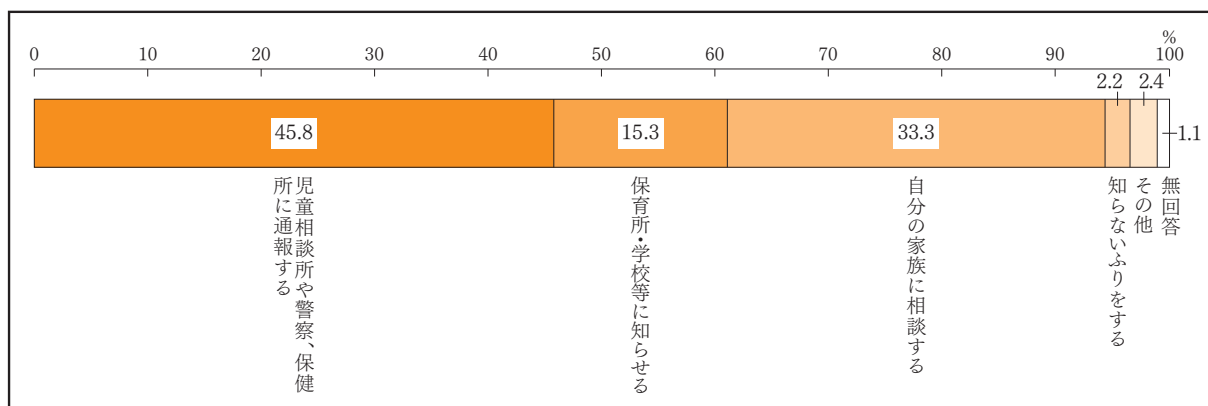
しかし、その反面、「時と場合によっては、体罰は必要である」と答えた20代が4割以上いる。

20代になると子どもから大人の視点へと変わり、親や指導する大人の側の立場で考える人が多いのではないと思われる。

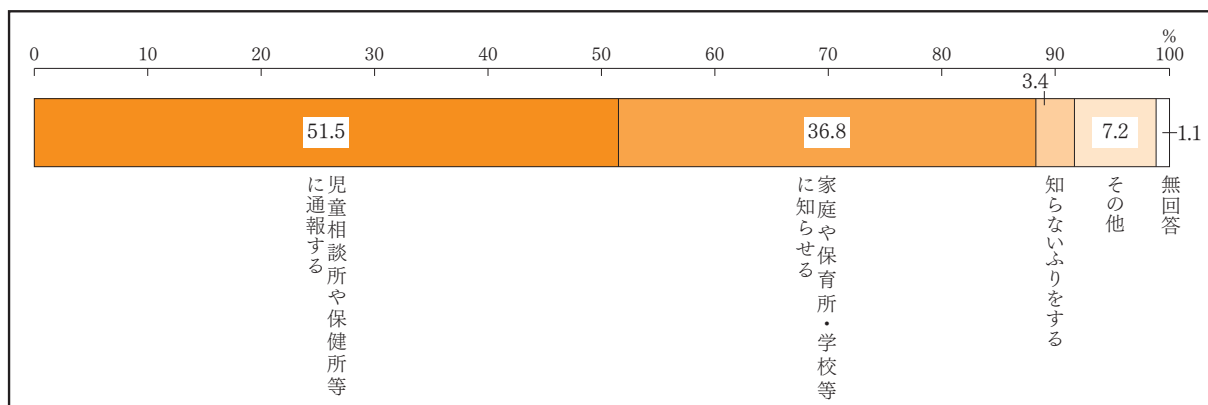
問5 虐待を受けたと思われる子どもに気づいた時に、あなたはどのようにしますか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 児童相談所や警察、保健所に通報する	732	(45.8)
2 保育所・学校等に知らせる	245	(15.3)
3 自分の家族に相談する	533	(33.3)
4 知らないふりをする	35	(2.2)
5 その他（具体的に：)	38	(2.4)
無回答	17	(1.1)

2017 年調査



2012 年調査



「児童相談所や警察、保健所に通報する」は、全体の 45.8% と高い値を示している。次に、今回の調査で新規の回答項目として追加された「自分の家族に相談する」が 33.3% と比較的高い値を示している。

[表 6] 性別 × 問 5（被虐待児への対応）

	児童相談所等に通報する	保育所・学校等に知らせる	自分の家族に相談する	知らないふりをする	その他	%の 基数
男性	48.8%	19.4%	26.1%	3.1%	2.5%	674
女性	44.3%	12.4%	39.3%	1.6%	2.4%	892
合計	46.2%	15.5%	33.7%	2.2%	2.4%	1566

（1%水準で有意）

性別でみると、男性の方が「児童相談所や警察、保健所に通報する」の回答率が 4.5 ポイント高かった。また、「保育所・学校等に知らせる」も 7.0 ポイント高かった。一方、女性の方が「自分の家族に相談する」の回答率が 13.2 ポイント高かった。

[表 7] 年代 × 問 5（被虐待児への対応）

	児童相談所等に通報する	保育所・学校等に知らせる	自分の家族に相談する	知らないふりをする	その他	%の 基数
10代	30.1%	15.7%	45.8%	3.6%	4.9%	83
20代	37.9%	11.7%	44.1%	2.8%	3.4%	145
30代	40.8%	12.4%	41.8%	2.5%	2.5%	201
40代	43.9%	18.2%	33.2%	2.5%	2.1%	280
50代	46.3%	14.4%	34.5%	1.9%	2.9%	313
60代	52.3%	15.5%	28.7%	1.6%	1.9%	310
70代	56.3%	19.4%	20.7%	2.3%	1.4%	222
合計	46.1%	15.6%	33.6%	2.3%	2.4%	1554

（1%水準で有意）

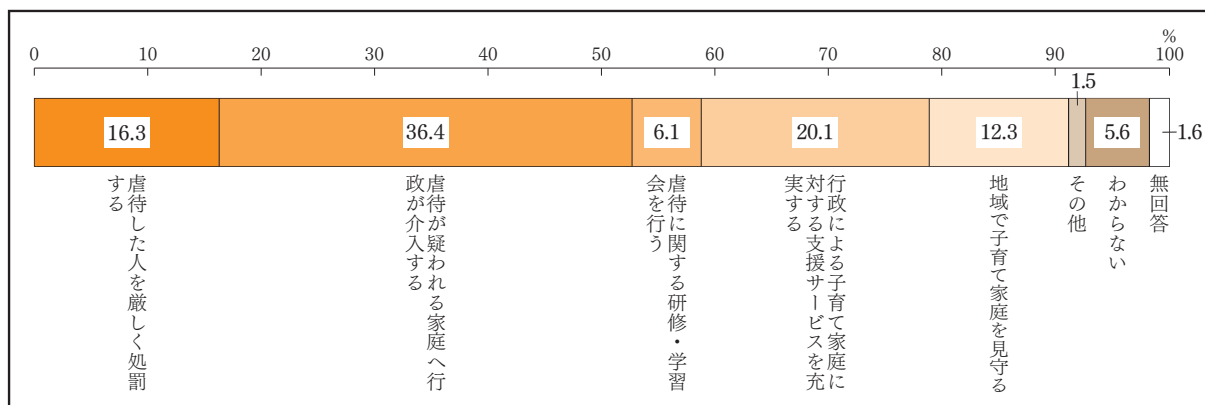
年代別でみると、「児童相談所や警察、保健所に通報する」は 60 代では 52.3% 70 代では 56.3%と高い値を示している。それに対して、「自分の家族に相談する」は、10 代では 45.8%、20 代では 44.1%と高く、60 代では 28.7%、70 代では 20.7%と低い値を示している。また、「児童相談所や警察、保健所に通報する」と「保育所・学校等に知らせる」を合計すると、40 代以上では 6 割以上が通報という行動をとるとしている。

【新規】

問6 子どもへの虐待を防止するために、あなたはどのようなことが必要だとお考えですか。次の中からあなたが最も必要だと思うことを1つお選びください。

	人	(%)
1 虐待した人を厳しく処罰する	261	(16.3)
2 虐待が疑われる家庭へ行政が介入する	582	(36.4)
3 虐待に関する研修・学習会を行う	98	(6.1)
4 行政による子育て家庭に対する支援サービスを充実する	322	(20.1)
5 地域で子育て家庭を見守る	197	(12.3)
6 その他（具体的に： ）	24	(1.5)
7 わからない	90	(5.6)
無回答	26	(1.6)

2017 年調査



子どもへの虐待防止策として、「虐待が疑われる家庭へ行政が介入する」が36.4%と高く、次に「行政による子育て家庭に対する支援サービスを充実する」が20.1%と高い。

これらの結果は、児童虐待への対応については、個人からいち早く虐待事案を知らせた後、行政が介入し早期解決をしていくこと、行政による支援サービスを充実するなど、行政による実効性のある施策を求める人が多いと思われる。

従来より制度改正や関係機関の体制強化などにより、その充実が図られてきたものの、依然として深刻な児童虐待事案が後を絶たず、全国の児童相談所における子どもへの虐待に関する相談対応件数も増加を続けており、社会全体で取り組むべき重要な課題と言える。

[表 8] 性別 × 問 6 (虐待防止策)

	虐待者を 厳しく処罰する	行政が 介入する	研修・学習会 を行う	行政の支援 サービスを 充実する	地域で 見守る	その他	わからない	%の 基数
男性	22.7%	38.2%	5.7%	14.3%	12.8%	1.8%	4.5%	670
女性	11.5%	36.4%	6.7%	25.0%	12.3%	1.4%	6.8%	885
合計	16.3%	37.2%	6.2%	20.4%	12.5%	1.5%	5.8%	1555

(1%水準で有意)

性別でみると、「虐待した人を厳しく処罰する」で男性が 11.2 ポイント高かった。一方、「行政による子育て家庭に対する支援サービスを充実する」は女性が 10.7 ポイント高かった。

[表 9] 年代 × 問 6 (虐待防止策)

	虐待者を 厳しく処罰する	行政が 介入する	研修・学習会 を行う	行政の支援 サービスを 充実する	地域で 見守る	その他	わからない	%の 基数
10代	17.9%	34.5%	11.9%	16.7%	8.3%	1.2%	9.5%	84
20代	21.4%	33.8%	3.4%	22.1%	12.4%	2.1%	4.8%	145
30代	20.9%	33.8%	4.5%	21.4%	10.9%	3.0%	5.5%	201
40代	15.6%	40.6%	4.7%	19.9%	12.7%	1.4%	5.1%	276
50代	13.1%	41.5%	6.1%	19.2%	13.1%	1.9%	5.1%	313
60代	17.4%	31.6%	8.1%	23.9%	11.9%	1.0%	6.1%	310
70代	13.4%	40.1%	7.4%	17.5%	14.7%	0.5%	6.5%	217
合計	16.5%	37.1%	6.3%	20.4%	12.4%	1.6%	5.8%	1546

(1%水準で有意)

年代別でみると、「虐待に関する研修・学習会を行う」という割合が、10代で高い。また、「虐待した人を厳しく処罰する」という割合が、10代、20代、30代で高く、「虐待が疑われる家庭へ行政が介入する」という割合は、40代、50代で高い。

これらの結果を踏まえ、今後は学校教育や地域の福祉や教育力の向上はもちろんのこと、子育て支援への施策の充実・強化に努めることが重要である。子どもの人権尊重に向けて、公民館・ふれあいセンターなどの公的施設で取り組まれている研修会や学習会などを通じた教育・啓発を、より一層強力に推し進めていくことが大切である。

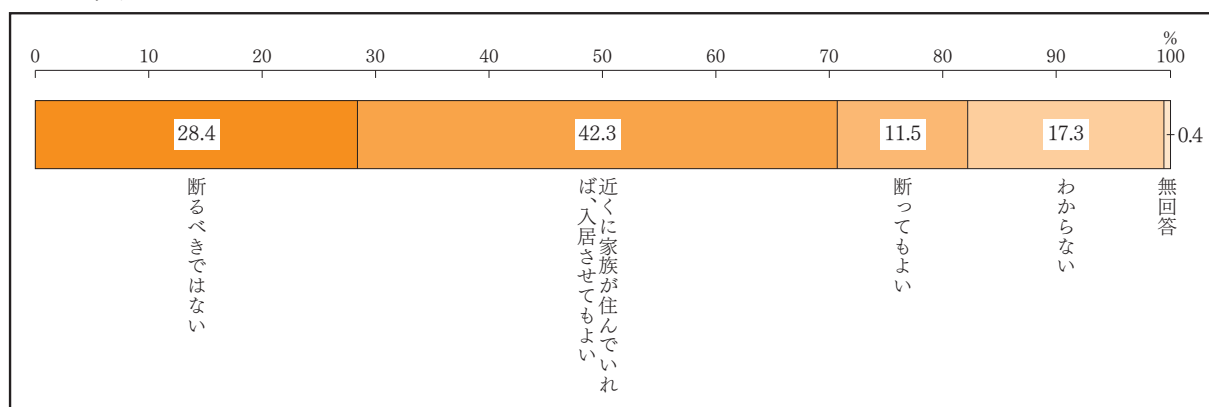
また、虐待通報後の措置として、学校を含めた地域の社会資源による見守り・支援が必要であり、虐待の問題は、様々な人が力を合わせることで、初めて解決可能である。

そのため、今後も虐待の早期発見、早期対応に向け、児童相談所、地域のスタッフ、警察、医療、保健、教育等の関係機関が連携を図り、地域ぐるみで家庭支援を行う体制を整備し、虐待防止のためのネットワークづくりを推進していくことが重要であると考えられる。

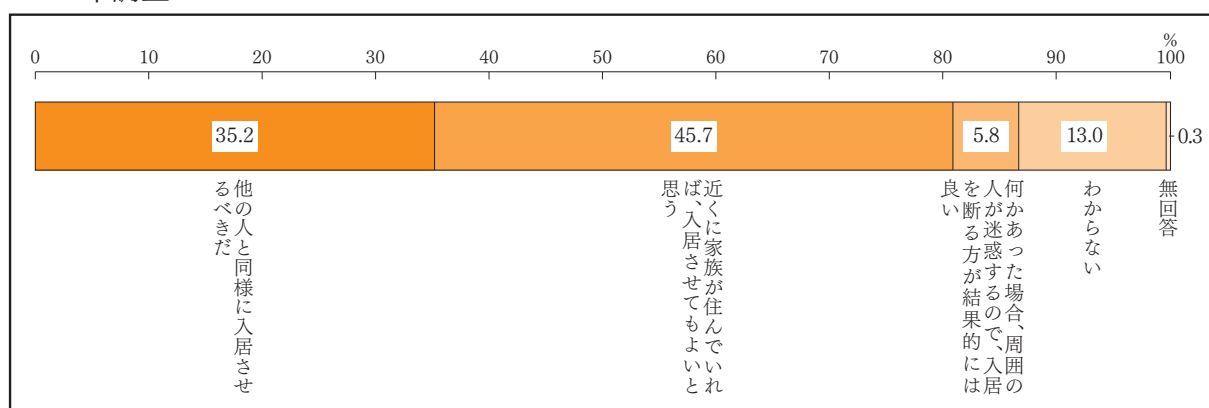
問7 一人暮らしの高齢者に家や部屋を貸すのを断る家主がいますが、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 断るべきではない	455	(28.4)
2 近くに家族が住んでいれば、入居させてもよい	677	(42.3)
3 断ってもよい	184	(11.5)
4 わからない	277	(17.3)
無回答	7	(0.4)

2017 年調査



2012 年調査



質問事項に若干の違いがあるものの、「断るべきではない」が28.4%で、2012年調査に比べ6.8ポイント下がっている。「近くに家族が住んでいれば入居させてもよい」という条件付きで入居を認める回答は42.3%で3.4ポイント下がっている。逆に、「断ってもよい」は2012年調査に比べ5.7ポイント上がっている。

[表 10] 性別 × 問 7（高齢者の賃貸住宅入居）

	断るべきではない	近くに家族が 住んでいればよい	断ってもよい	わからない	％の 基数
男性	27.8%	41.4%	15.7%	15.1%	676
女性	29.1%	43.4%	8.4%	19.2%	897
合計	28.5%	42.5%	11.5%	17.4%	1573

（１％水準で有意）

性別でみると、男性が「断るべきではない」の比率が 27.8%、女性の比率が 29.1%と、女性の比率が男性より 1.3 ポイント高く、2012 年調査から逆転現象が起きている。更に、「断ってもよい」では男性が 15.7%と 2012 年調査の 7.2%から倍増している。

また、女性は「近くに家族が住んでいれば」という条件付きで入居を認める人の比率が高い傾向があり、2012 年調査とほぼ同じである。

[表 11] 年代 × 問 7（高齢者の賃貸住宅入居）

	断るべきではない	近くに家族が 住んでいればよい	断ってもよい	わからない	％の 基数
10代	29.8%	42.9%	13.1%	14.3%	84
20代	26.7%	38.4%	16.4%	18.5%	146
30代	26.4%	36.3%	17.9%	19.4%	201
40代	23.2%	43.2%	13.9%	19.6%	280
50代	32.6%	43.1%	8.9%	15.3%	313
60代	31.6%	44.7%	7.3%	16.3%	313
70代	28.0%	47.1%	8.4%	16.4%	225
合計	28.6%	42.7%	11.5%	17.2%	1562

（１％水準で有意）

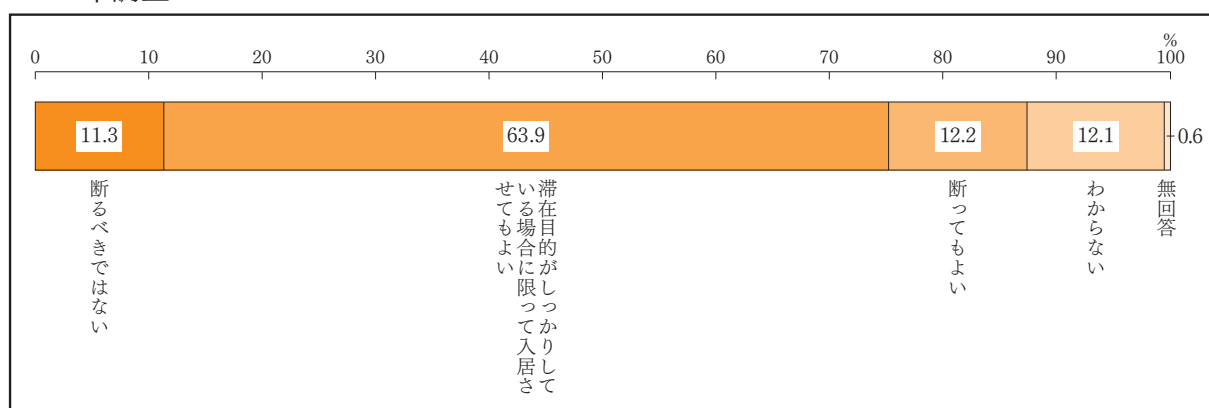
「断るべきではない」という入居を認める派は、2012 年調査に引き続き 50 代が 32.6%でトップ、続いて 60 代 31.6%が続く。「近くに家族が住んでいれば」との条件付きで入居を認めるのは、70 代が 47.1%、続いて 60 代が 44.7%である。

これは、高齢が身近に迫っているという自覚がある 50、60、70 代にとって、ひっ迫した（他人事とは思えない）問題だからであろう。

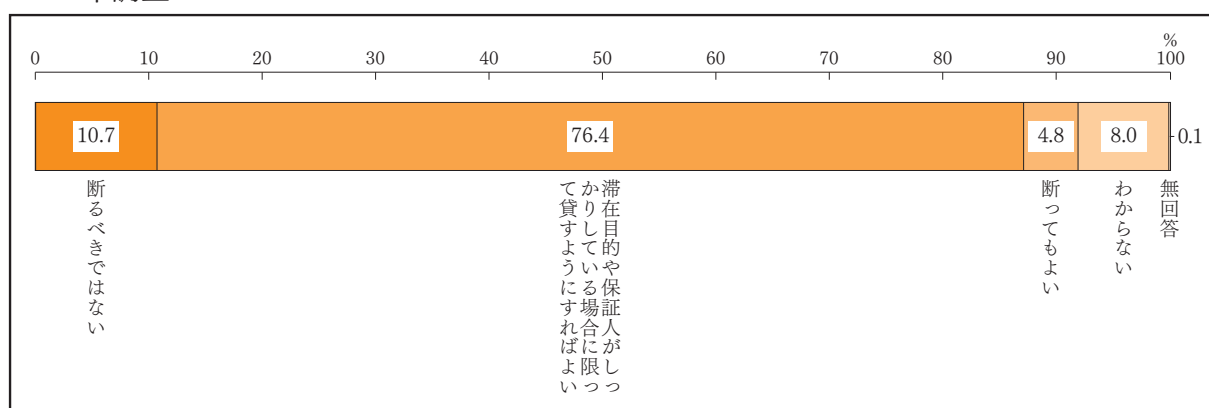
問8 外国人に家や部屋を貸すのを断る家主がいますが、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 断るべきではない	181	(11.3)
2 滞在目的がしっかりしている場合に限って入居させてもよい	1022	(63.9)
3 断ってもよい	195	(12.2)
4 わからない	193	(12.1)
無回答	9	(0.6)

2017 年調査



2012 年調査



質問事項に若干の違いがあるものの「断るべきではない」と「滞在目的がしっかりしている場合に限って入居させてもよい」との回答を合わせると、75.2%と2012年調査に比べ11.9ポイント下がっている。逆に、「断ってもよい」と「わからない」の回答を合わせると 24.3%と 2012 年調査に比べ 10.9 ポイント上がっている。

[表 1 2] 性別 × 問 8（外国人の賃貸住宅入居）

	断るべきではない	滞在目的がしっかり していればよい	断ってもよい	わからない	%の 基数
男性	11.2%	61.5%	16.9%	10.4%	676
女性	11.2%	66.5%	8.7%	13.6%	896
合計	11.2%	64.6%	12.2%	12.2%	1572

（1 %水準で有意）

性別でみると、「断るべきではない」が男女ともに 11.2%であるのに対し、「滞在目的がしっかりしていればよい」では男性より女性の方が 5.0 ポイント高い。

また「断ってもよい」は、女性より男性の方が外国人の居住に厳しい捉え方をしている人が多い傾向を表している。

[表 1 3] 年代 × 問 8（外国人の賃貸住宅入居）

	断るべきではない	滞在目的がしっかり していればよい	断ってもよい	わからない	%の 基数
10代	34.5%	42.9%	10.7%	11.9%	84
20代	15.8%	54.1%	16.4%	13.7%	146
30代	8.5%	62.2%	15.4%	13.9%	201
40代	9.3%	62.9%	16.1%	11.8%	280
50代	10.2%	72.0%	8.3%	9.6%	314
60代	11.8%	69.3%	8.6%	10.2%	313
70代	5.8%	65.5%	13.0%	15.7%	223
合計	11.3%	64.4%	12.2%	12.0%	1561

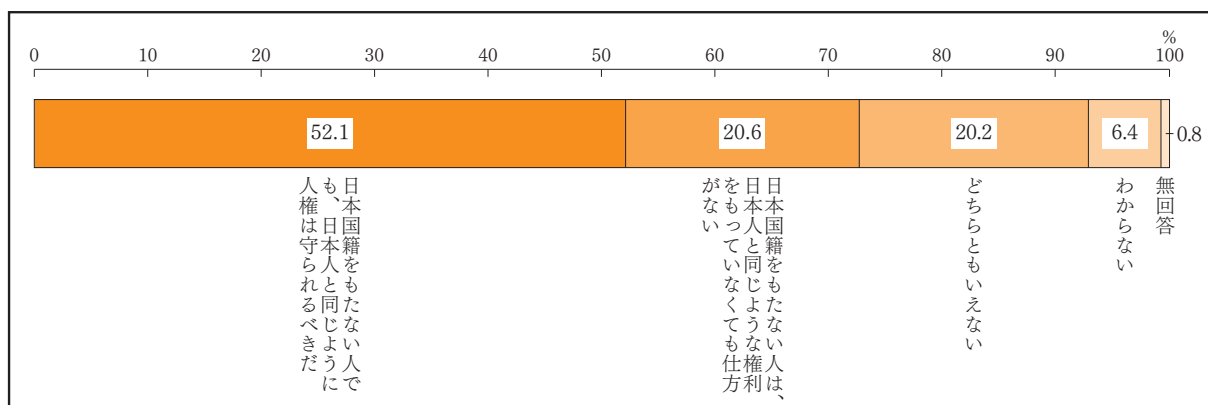
（1 %水準で有意）

年代別でみると、「断るべきではない」は、年代が上がるにつれて割合が下がる傾向がみられる。

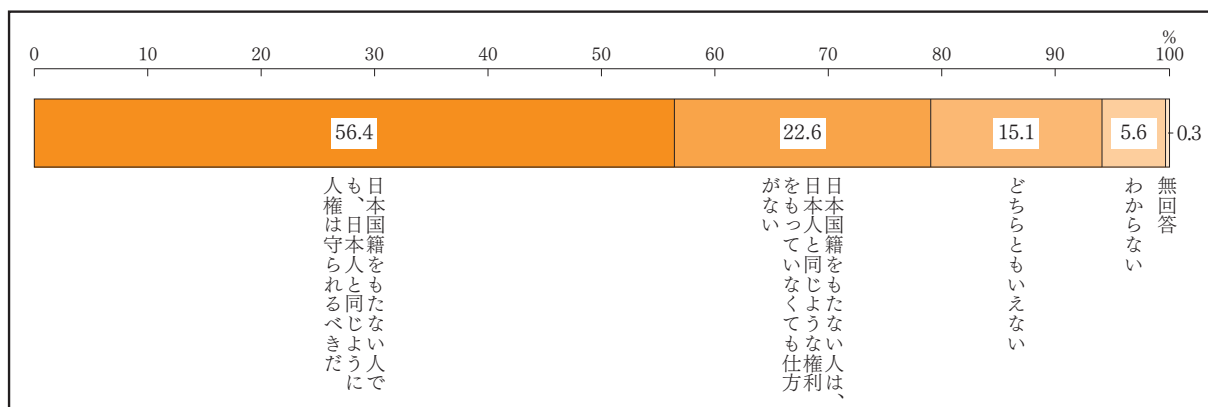
問9 日本に居住している外国人の人権について、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 日本国籍をもたない人でも、日本人と同じように人権は守られるべきだ	833	(52.1)
2 日本国籍をもたない人は、日本人と同じような権利をもっていなくても仕方がない	329	(20.6)
3 どちらともいえない	323	(20.2)
4 わからない	103	(6.4)
無回答	12	(0.8)

2017 年調査



2012 年調査



「日本人と同じように人権は守られるべきだ」は 2012 年調査より 4.3 ポイント、「権利をもっていなくても仕方がない」も、2012 年調査の 22.6%から今回の 20.6%と 2.0 ポイント下がっている。

[表 1 4] 性別 × 問 9 (外国人の人権)

	人権は 守られるべき	権利をもっていなくても 仕方がない	どちらとも いえない	わからない	%の 基数
男性	51.9%	27.1%	16.3%	4.7%	676
女性	52.9%	15.8%	23.5%	7.7%	892
合計	52.5%	20.7%	20.4%	6.4%	1568

(1%水準で有意)

性別でみると、「人権は守られるべき」は男女差が 1.0 ポイントと僅かなのに対し、「権利をもっていなくても仕方がない」は男性が女性を 11.3 ポイント上回っている。

これは、女性より男性の方が外国人の人権に対し、より厳しい見方をしていることを表しているかもしれない。

[表 1 5] 年代 × 問 9 (外国人の人権)

	人権は 守られるべき	権利をもっていなくても 仕方がない	どちらとも いえない	わからない	%の 基数
10代	75.0%	10.7%	9.5%	4.8%	84
20代	57.5%	11.6%	24.7%	6.2%	146
30代	52.2%	23.4%	19.9%	4.5%	201
40代	49.6%	23.6%	19.3%	7.5%	280
50代	52.7%	22.4%	20.1%	4.8%	313
60代	52.4%	18.3%	22.2%	7.1%	311
70代	45.0%	25.7%	19.8%	9.5%	222
合計	52.6%	20.7%	20.2%	6.5%	1557

(1%水準で有意)

年代別でみると、「人権は守られるべき」は 10 代が 75.0% で高い。これは、学校をはじめとするさまざまな場所における人権教育・啓発の成果とも考えられる。

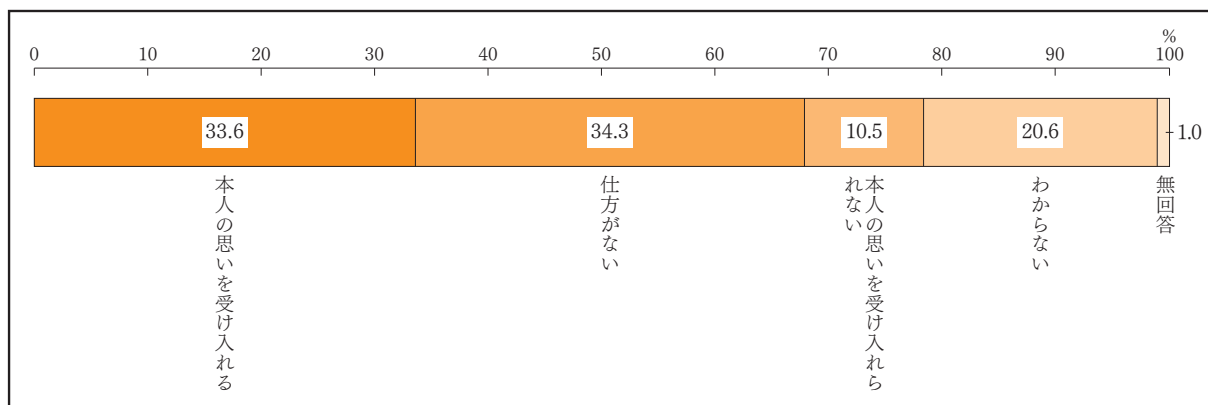
【新規】

問 10 性的マイノリティ（同性愛、両性愛、性同一性障がいなどの性的少数者）の人権について、次の問いにお答えください。

①もし、次のA～Cの人が同性愛者だとしたら、あなたはどのように思いますか。次の中からそれぞれ1つお選びください。

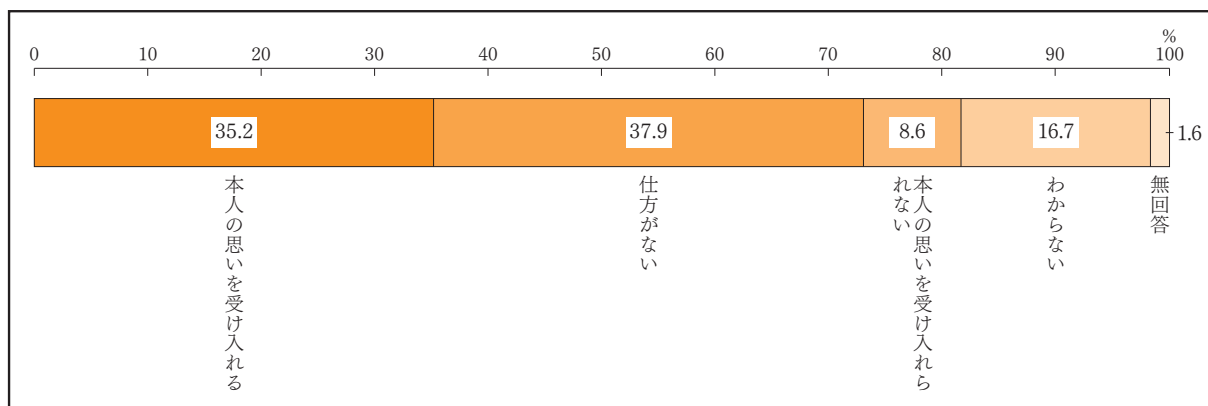
A	自分の子ども	人	(%)
1	本人の思いを受け入れる	538	(33.6)
2	仕方がない	548	(34.3)
3	本人の思いを受け入れられない	168	(10.5)
4	わからない	330	(20.6)
	無回答	16	(1.0)

2017 年調査



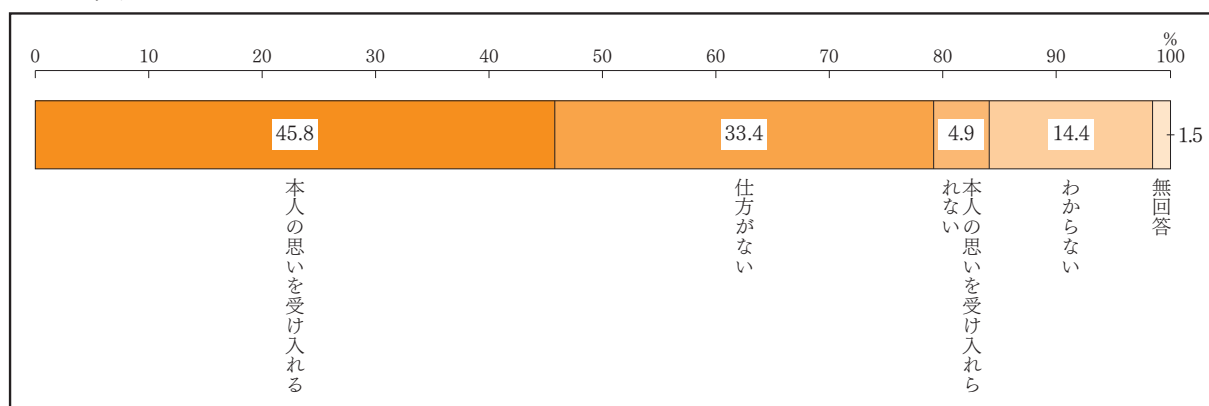
B	兄弟姉妹	人	(%)
1	本人の思いを受け入れる	563	(35.2)
2	仕方がない	607	(37.9)
3	本人の思いを受け入れられない	137	(8.6)
4	わからない	267	(16.7)
	無回答	26	(1.6)

2017 年調査



C	友人	人	(%)
1	本人の思いを受け入れる	732	(45.8)
2	仕方がない	535	(33.4)
3	本人の思いを受け入れられない	79	(4.9)
4	わからない	230	(14.4)
	無回答	24	(1.5)

2017 年調査



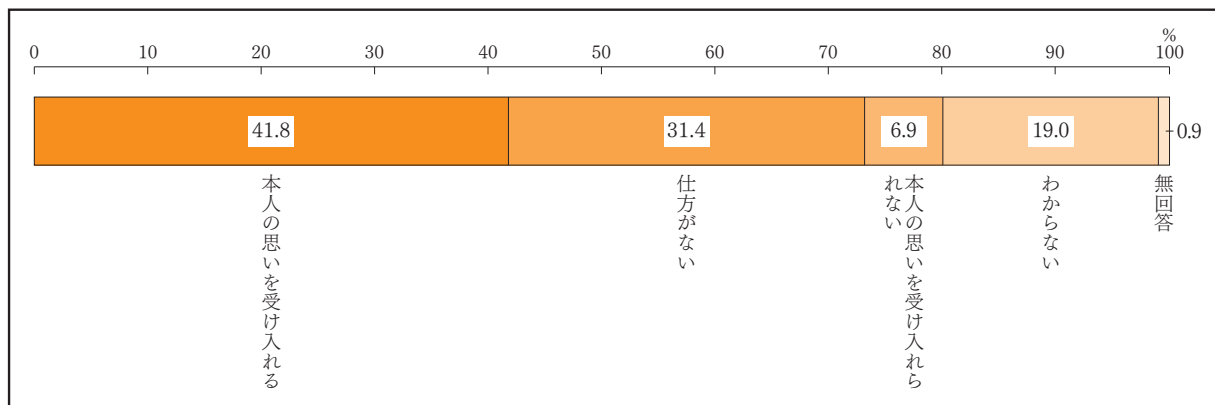
同性愛について「本人の思いを受け入れる」の割合は、近親者であるほど低くなっており、自分の子ども 33.6%、兄弟姉妹 35.2%、友人 45.8% である。友人の場合は子どもより 12.2 ポイント、兄弟姉妹より 10.6 ポイント高くなっている。

また、「わからない」の割合は、子ども 20.6%、兄弟姉妹 16.7%、友人 14.4% の順に高い。

②もし、次のA～Cの人が性同一性障がいでしたら、あなたはどのように
 思いますか。次の中からそれぞれ1つお選びください。

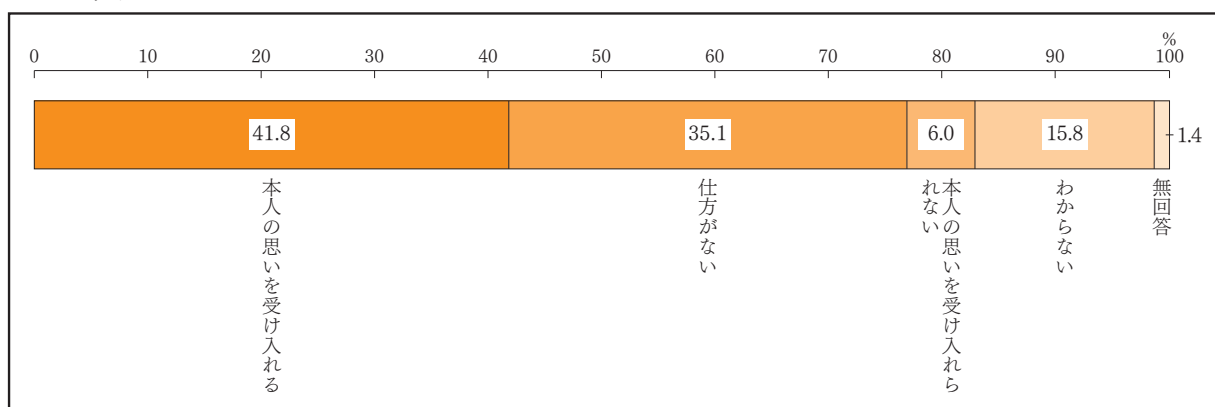
A	自分の子ども	人	(%)
1	本人の思いを受け入れる	668	(41.8)
2	仕方がない	503	(31.4)
3	本人の思いを受け入れられない	110	(6.9)
4	わからない	304	(19.0)
	無回答	15	(0.9)

2017 年調査



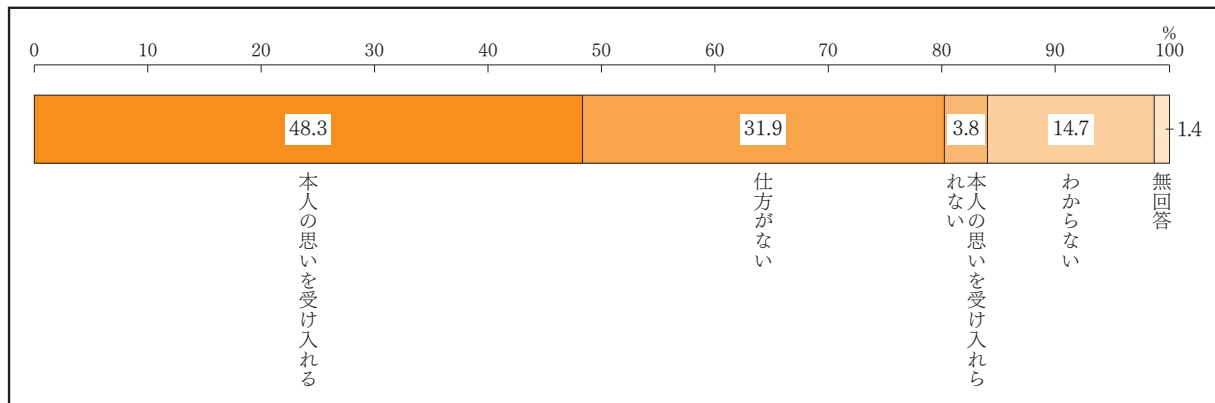
B	兄弟姉妹	人	(%)
1	本人の思いを受け入れる	668	(41.8)
2	仕方がない	561	(35.1)
3	本人の思いを受け入れられない	96	(6.0)
4	わからない	252	(15.8)
	無回答	23	(1.4)

2017 年調査



C	友人	人	(%)
1	本人の思いを受け入れる	772	(48.3)
2	仕方がない	511	(31.9)
3	本人の思いを受け入れられない	60	(3.8)
4	わからない	235	(14.7)
	無回答	22	(1.4)

2017 年調査



性同一性障がいについて、「本人の思いを受け入れる」の割合は、近親者であるほど低くなっており、自分の子ども 41.8%、兄弟姉妹 41.8%、友人 48.3% である。友人の場合は、子ども・兄弟姉妹より 6.5 ポイント高くなっている。

また、「わからない」の割合は子ども 19.0%、兄弟姉妹 15.8%、友人 14.7% の順に高い。

[表 1 6] 性別 × 問 10① (同性愛—自分の子ども)

	本人の思いを受け入れる	仕方がない	本人の思いを受け入れられない	わからない	%の 基数
男性	28.6%	37.2%	15.3%	18.9%	672
女性	38.3%	32.7%	6.9%	22.1%	893
合計	34.1%	34.6%	10.5%	20.7%	1565

[表 1 7] 性別 × 問 10① (同性愛—兄弟姉妹)

	本人の思いを受け入れる	仕方がない	本人の思いを受け入れられない	わからない	%の 基数
男性	29.9%	40.1%	13.7%	16.3%	670
女性	40.3%	37.6%	4.9%	17.3%	886
合計	35.8%	38.7%	8.7%	16.8%	1556

[表 1 8] 性別 × 問 10① (同性愛—友人)

	本人の思いを受け入れる	仕方がない	本人の思いを受け入れられない	わからない	%の 基数
男性	37.1%	39.3%	8.6%	14.9%	671
女性	53.6%	30.2%	2.1%	14.1%	887
合計	46.5%	34.1%	4.9%	14.4%	1558

[表 1 9] 性別 × 問 10① (性同一性障害—自分の子ども)

	本人の思いを受け入れる	仕方がない	本人の思いを受け入れられない	わからない	%の 基数
男性	35.3%	36.3%	10.7%	17.7%	672
女性	47.5%	28.5%	3.9%	20.0%	894
合計	42.3%	31.9%	6.8%	19.0%	1566

[表 2 0] 性別 × 問 10① (性同一性障害—兄弟姉妹)

	本人の思いを受け入れる	仕方がない	本人の思いを受け入れられない	わからない	%の 基数
男性	34.6%	39.8%	9.1%	16.5%	671
女性	48.3%	32.7%	3.7%	15.3%	888
合計	42.4%	35.7%	6.0%	15.8%	1559

[表 2 1] 性別 × 問 10① (性同一性障害—友人)

	本人の思いを受け入れる	仕方がない	本人の思いを受け入れられない	わからない	%の 基数
男性	39.1%	38.1%	6.5%	16.2%	672
女性	56.4%	28.4%	1.6%	13.6%	888
合計	49.0%	32.6%	3.7%	14.7%	1560

「本人の思いを受け入れる」についての女性の割合は、それぞれの人に対し 38.3% から 56.4% で理解を示しており、男性より、10 ポイントから 17 ポイント高い。

また、「仕方がない」や「本人の思いを受け入れられない」の割合は男性の方が高く、「わからない」は男女ほぼ同じ割合である。

[表 2 2] 年代 × 問 10① (同性愛—自分の子ども)

	本人の思いを 受け入れる	仕方がない	本人の思いを 受け入れられない	わからない	%の 基数
10代	43.4%	24.1%	7.2%	25.3%	83
20代	43.8%	36.3%	3.4%	16.4%	146
30代	45.3%	30.8%	5.0%	18.9%	201
40代	38.9%	36.8%	8.9%	15.4%	280
50代	37.3%	36.6%	7.6%	18.5%	314
60代	24.7%	38.0%	13.3%	24.0%	308
70代	18.0%	31.5%	23.4%	27.0%	222
合計	34.3%	34.7%	10.5%	20.5%	1554

[表 2 3] 年代 × 問 10① (同性愛—兄弟姉妹)

	本人の思いを 受け入れる	仕方がない	本人の思いを 受け入れられない	わからない	%の 基数
10代	42.2%	25.3%	10.8%	21.7%	83
20代	46.6%	39.0%	6.2%	8.2%	146
30代	49.3%	34.3%	4.5%	11.9%	201
40代	43.0%	38.4%	6.1%	12.5%	279
50代	39.8%	41.4%	6.7%	12.1%	314
60代	24.0%	44.2%	9.7%	22.1%	308
70代	16.4%	36.9%	18.2%	28.5%	214
合計	36.0%	38.8%	8.7%	16.6%	1545

[表 2 4] 年代 × 問 10① (同性愛—友人)

	本人の思いを 受け入れる	仕方がない	本人の思いを 受け入れられない	わからない	%の 基数
10代	50.0%	27.4%	6.0%	16.7%	84
20代	62.3%	27.4%	4.1%	6.2%	146
30代	59.2%	31.8%	3.5%	5.5%	201
40代	52.9%	33.2%	4.3%	9.6%	280
50代	54.1%	33.1%	3.5%	9.2%	314
60代	34.7%	41.9%	4.9%	18.5%	308
70代	21.0%	34.6%	9.8%	34.6%	214
合計	46.7%	34.1%	5.0%	14.3%	1547

[表 2 5] 年代 × 問 10② (性同一性障害—自分の子ども)

	本人の思いを受け入れる	仕方がない	本人の思いを受け入れられない	わからない	%の 基数
10代	44.6%	27.7%	6.0%	21.7%	83
20代	48.6%	32.9%	2.1%	16.4%	146
30代	51.2%	29.4%	5.0%	14.4%	201
40代	50.5%	31.9%	6.1%	11.5%	279
50代	49.7%	31.5%	3.5%	15.3%	314
60代	32.2%	37.0%	9.0%	21.9%	311
70代	24.0%	29.0%	14.5%	32.6%	221
合計	42.5%	32.0%	6.8%	18.7%	1555

[表 2 6] 年代 × 問 10② (性同一性障害—兄弟姉妹)

	本人の思いを受け入れる	仕方がない	本人の思いを受け入れられない	わからない	%の 基数
10代	44.6%	28.9%	4.8%	21.7%	83
20代	54.1%	37.0%	2.1%	6.8%	146
30代	52.7%	33.8%	2.5%	10.9%	201
40代	49.8%	35.5%	4.3%	10.4%	279
50代	50.3%	35.7%	3.5%	10.5%	314
60代	31.3%	40.6%	8.4%	19.7%	310
70代	20.0%	34.0%	14.9%	31.2%	215
合計	42.6%	35.9%	6.0%	15.5%	1548

[表 2 7] 年代 × 問 10② (性同一性障害—友人)

	本人の思いを受け入れる	仕方がない	本人の思いを受け入れられない	わからない	%の 基数
10代	47.6%	29.8%	2.4%	20.2%	84
20代	65.1%	26.7%	1.4%	6.8%	146
30代	61.7%	29.4%	2.5%	6.5%	201
40代	56.8%	30.7%	3.2%	9.3%	280
50代	59.9%	29.3%	2.5%	8.3%	314
60代	35.5%	43.2%	4.2%	17.1%	310
70代	21.5%	32.2%	8.9%	37.4%	214
合計	49.2%	32.5%	3.7%	14.5%	1549

年代別でみると、「本人の思いを受け入れる」と回答している割合が、10代から50代までは高く、60代、70代は低い。

また、「わからない」の割合は10代、60代、70代で高い。

男女や年代による理解の状況には差があるが、女性や10代から50代で、理解されていることは、今後理解につながると考えられる。

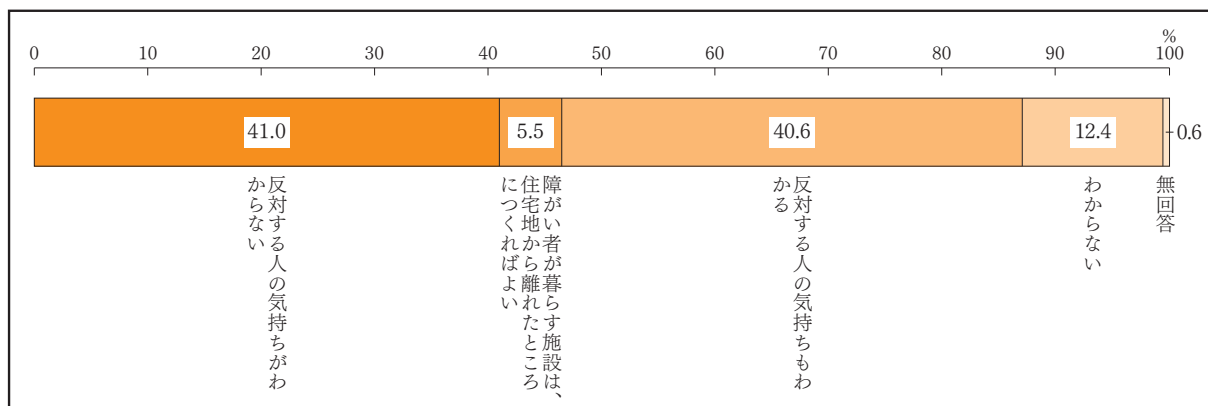
本人のカミングアウト、ボランティア団体等の啓発をはじめ、ドラマや報道等での様々な発信などにより、以前よりも性的マイノリティへの関心や理解が深まっている。

また、「わからない」の回答の割合も高いことを考慮すると、性的マイノリティについての正しい理解が、偏見や差別をなくすことに繋がると考えられる。学校教育、社会教育での働きかけが必要である。

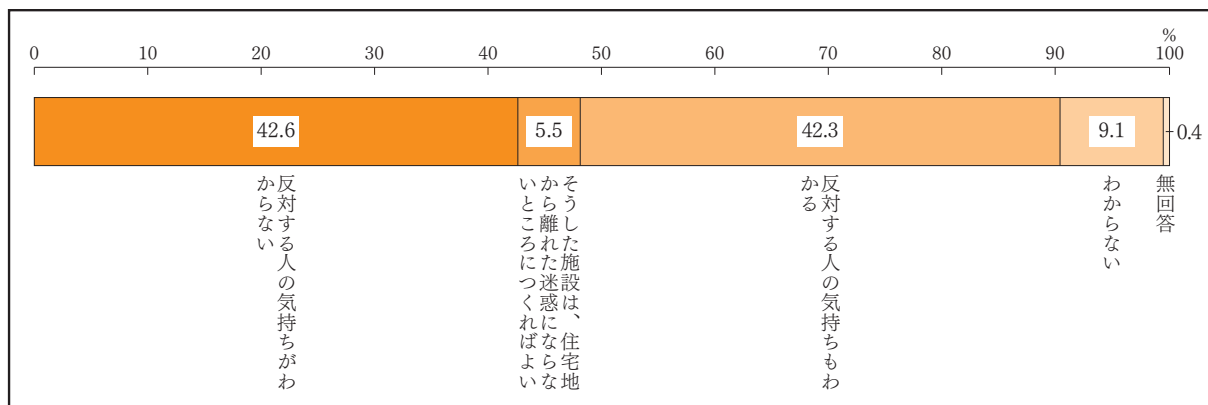
問 11 障がい者が暮らす施設が地域に設置されようとしたときに、地域住民が反対することがありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 反対する人の気持ちがわからない	656	(41.0)
2 障がい者が暮らす施設は、住宅地から離れたところにつくればよい	88	(5.5)
3 反対する人の気持ちもわかる	649	(40.6)
4 わからない	198	(12.4)
無回答	9	(0.6)

2017 年調査



2012 年調査



「反対する人の気持ちがわからない」と「反対する人の気持ちもわかる」は、41.0%と40.6%で、2012年調査と同様に拮抗している。「障がい者が暮らす施設は、住宅地から離れたところにつくればよい」は、2012年調査と同じ5.5%である。

2017 [表 2 8] 年代 × 問 11 (障がい者施設)

	反対が わからない	離れたところ	反対がわかる	わからない	%の 基数
10代	57.1 %	2.4 %	32.1 %	8.3 %	84
20代	41.1 %	4.8 %	40.4 %	13.7 %	146
30代	36.8 %	4.5 %	46.8 %	11.9 %	201
40代	35.0 %	6.4 %	47.5 %	11.1 %	280
50代	39.4 %	3.8 %	43.6 %	13.1 %	312
60代	44.1 %	7.7 %	36.7 %	11.5 %	313
70代	45.1 %	6.7 %	35.3 %	12.9 %	224
合計	41.2 %	5.6 %	41.2 %	12.1 %	1560

2012 [表 2 9] 年代 × 問 11 (障がい者施設)

	反対が わからない	離れたところ	反対がわかる	わからない	%の 基数
10代	46.7 %	1.9 %	44.9 %	6.5 %	107
20代	42.7 %	7.1 %	40.8 %	9.5 %	211
30代	38.6 %	3.9 %	46.8 %	10.7 %	355
40代	41.3 %	4.5 %	46.9 %	7.3 %	397
50代	43.3 %	4.0 %	45.0 %	7.8 %	400
60代	46.1 %	5.2 %	39.2 %	9.4 %	477
70代	42.7 %	12.0 %	34.3 %	11.0 %	309
合計	42.8 %	5.6 %	42.5 %	9.0 %	2256

「反対する人の気持ちがわからない」は、10代と70代を除く、どの年代でも割合が下がっている。10代は、「反対する人の気持ちがわからない」が57.1%で6割近くに達し、2012年調査に比べ10.4ポイント上がっている。また、「反対する人の気持ちもわかる」は32.1%で、2012年調査に比べ12.8ポイント下がっており、10代のこれらの数値は注目できる。

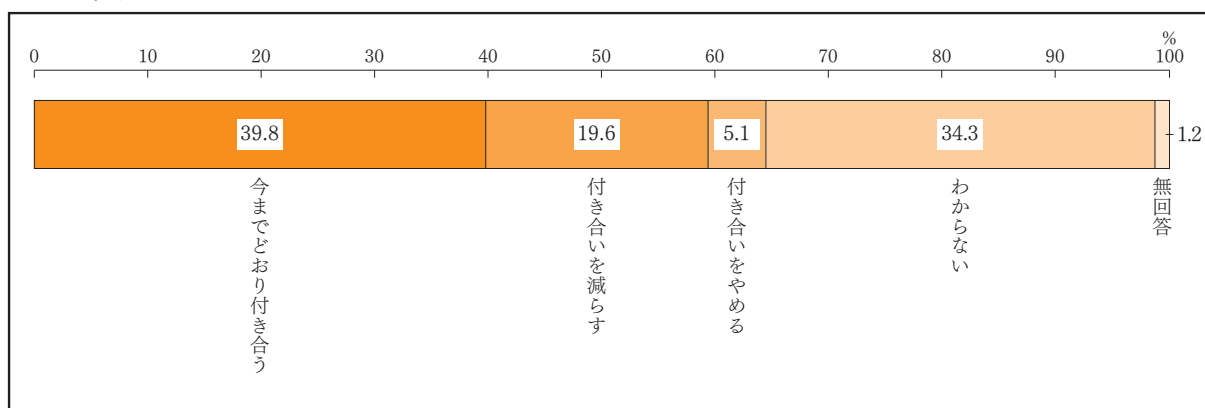
また、70代は、「障がい者が暮らす施設は、住宅地から離れたところにつくればよい」が2012年調査12.0%から6.7%になり、どの年代よりも下がり幅が大きい。

【新規】

問 12 もし職場の同僚が刑を終えて出所した人とわかったときに、あなたはどのようにしますか。次の中から 1 つお選びください。

	人	(%)
1 今までどおり付き合う	637	(39.8)
2 付き合いを減らす	313	(19.6)
3 付き合いをやめる	82	(5.1)
4 わからない	549	(34.3)
無回答	19	(1.2)

2017 年調査



〔表 3 0〕 性別 × 問 12（出所者）

	今までどおり付き合う	付き合いを減らす	付き合いをやめる	わからない	％の基数
男性	44.8 %	22.3 %	6.3 %	26.6 %	668
女性	36.5 %	18.0 %	4.4 %	41.1 %	893
合計	40.0 %	19.9 %	5.2 %	34.9 %	1561

「今までどおり付き合う」が 39.8%で、「付き合いを減らす」「付き合いをやめる」の計 24.7%よりも、15.1 ポイント上回っている。「わからない」が 34.3%と多く、そのときの状況により、「今までどおり付き合う」かもしれないし、「付き合いを減らす」「付き合いをやめる」ことになるかもしれないという不安定な心的状況を示しているのかもしれない。

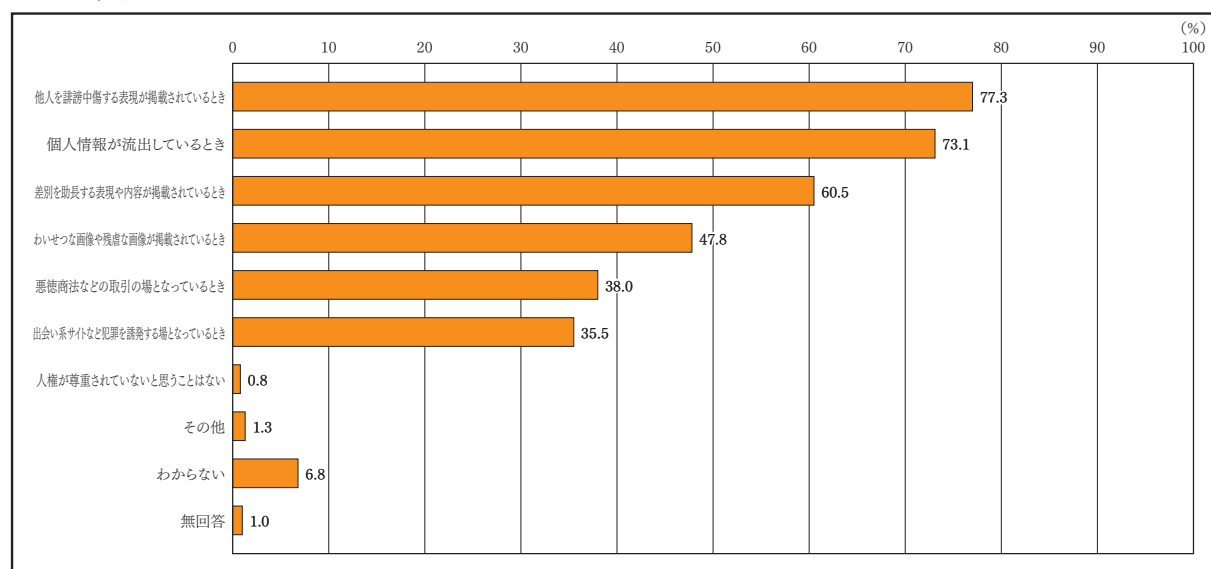
性別でみると、男性は「今までどおり付き合う」（男性 44.8%、女性 36.5%）、女性は「わからない」（男性 26.6%、女性 41.1%）の割合が大きい。

【新規】

問 13 あなたは、インターネットに関することからで、人権が尊重されていないと思うことはどんなときですか。当てはまるものをすべてお選びください。

	[複数回答]	人	(%)
1 他人を誹謗中傷する表現が掲載されているとき		1236	(77.3)
2 個人情報が出ているとき		1170	(73.1)
3 差別を助長する表現や内容が掲載されているとき		968	(60.5)
4 わいせつな画像や残虐な画像が掲載されているとき		765	(47.8)
5 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっているとき		568	(35.5)
6 悪徳商法などの取引の場となっているとき		608	(38.0)
7 その他（具体的に：)		20	(1.3)
8 わからない		109	(6.8)
9 人権が尊重されていないと思うことはない		12	(0.8)
無回答		16	(1.0)

2017 年調査



「人権が尊重されていないと思うことはない」が 0.8%で、大多数がインターネットで人権が尊重されていないと思うことがあるになっている。

誹謗中傷する表現、個人情報の流出、差別を助長する表現や内容などの回答が多い。

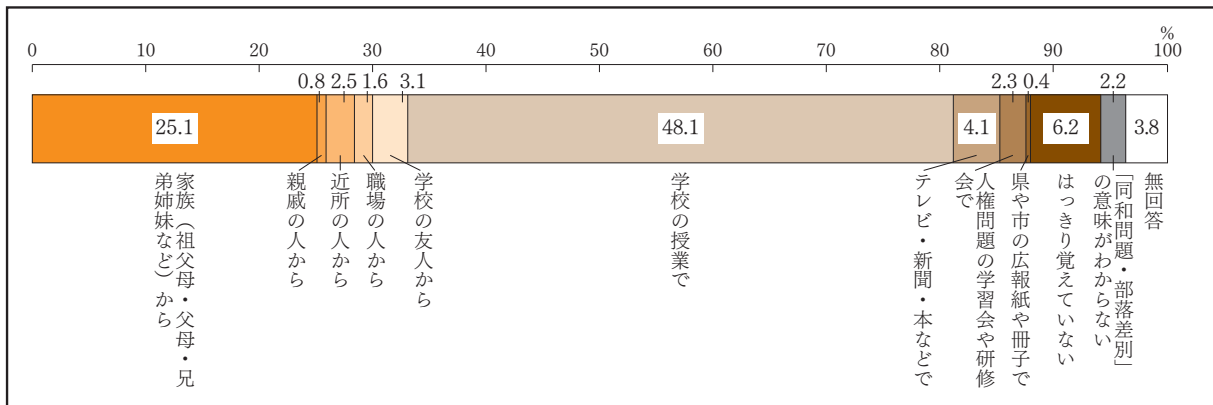
2 同和問題に関する意識

【新規】

問 14 あなたは、同和問題にかかわる差別（部落差別）を初めて知ったきっかけはどれですか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 家族（祖父母・父母・兄弟姉妹など）から	401	(25.1)
2 親戚の人から	13	(0.8)
3 近所の人から	40	(2.5)
4 職場の人から	25	(1.6)
5 学校の友人から	49	(3.1)
6 学校の授業で	769	(48.1)
7 テレビ・新聞・本などで	65	(4.1)
8 人権問題の学習会や研修会で	36	(2.3)
9 県や市の広報紙や冊子で	7	(0.4)
10 はっきり覚えていない	99	(6.2)
11 「同和問題・部落差別」の意味がわからない	35	(2.2)
無回答	61	(3.8)

2017 年調査



同和問題にかかわる差別を初めて知ったきっかけは、「学校の授業で」が 48.1%で、「家族から」が 25.1%である。

[表 3 1] 年代 × 問 14（同和問題を知ったきっかけ）

	家族から	家族以外の 人から	学校の 授業で	メディア・ 研修会等で	覚えていない	意味が わからない	%の 基数
10代	6.0%	1.2%	84.3%	2.4%	3.6%	2.4%	83
20代	9.2%	2.8%	70.4%	4.2%	8.5%	4.9%	142
30代	8.7%	1.5%	75.5%	5.1%	6.6%	2.6%	196
40代	11.0%	5.1%	75.7%	3.3%	3.7%	1.1%	272
50代	27.3%	5.6%	56.9%	4.3%	4.6%	1.3%	304
60代	47.7%	14.3%	14.0%	12.0%	10.3%	1.7%	300
70代	49.3%	19.7%	7.0%	13.6%	6.6%	3.8%	213
合計	26.2%	8.2%	49.9%	7.0%	6.4%	2.3%	1510

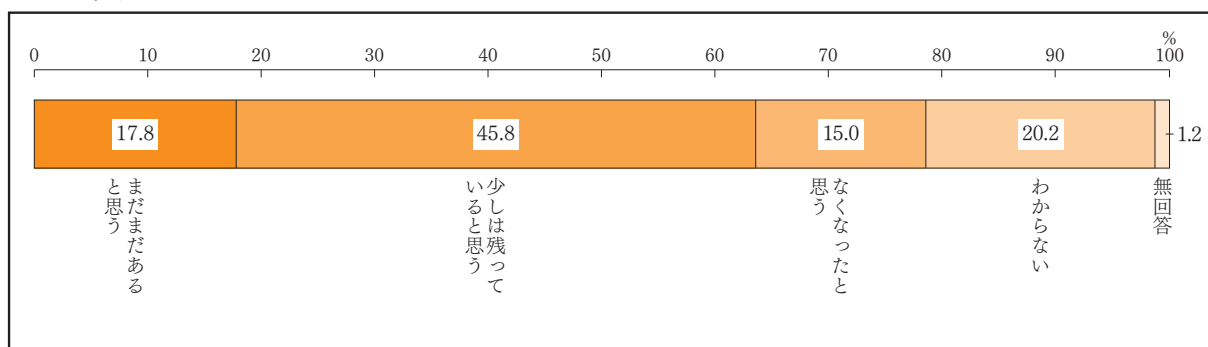
年代別でみると、概ね年代が下がるに従い「学校の授業で」初めて知ったという回答が増加し、10代では、84.3%である。このことは、人権・同和教育を推進してきた成果である。

一方で、4人に1人が「家族（祖父母・父母・兄弟姉妹など）から」知ったと答えている。年代別でみると、概ね年齢が下がるに従い「家族（祖父母・父母・兄弟姉妹など）から」知ったという回答は減少し、10代では、わずか6.0%である。

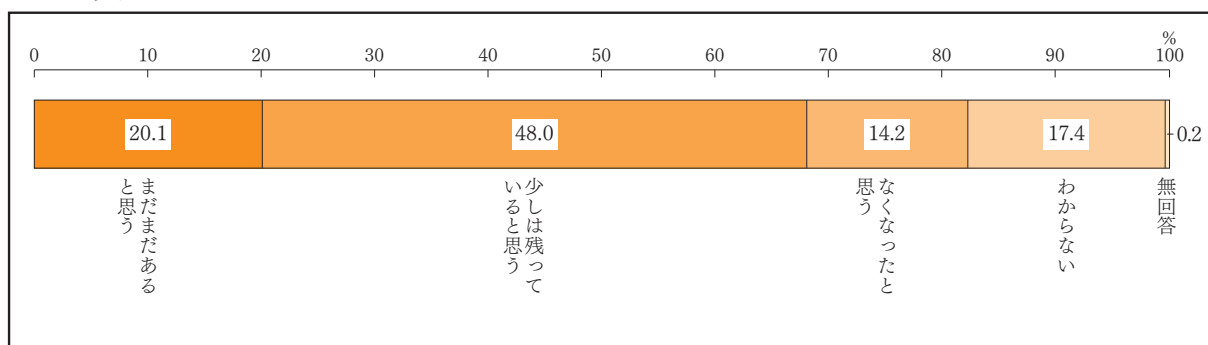
問 15 あなたは、今なお同和問題にかかわる差別（部落差別）があると思いますか、思いませんか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 まだまだあると思う	279	(17.8)
2 少しは残っていると思う	717	(45.8)
3 なくなったと思う	234	(15.0)
4 わからない	316	(20.2)
無回答	19	(1.2)

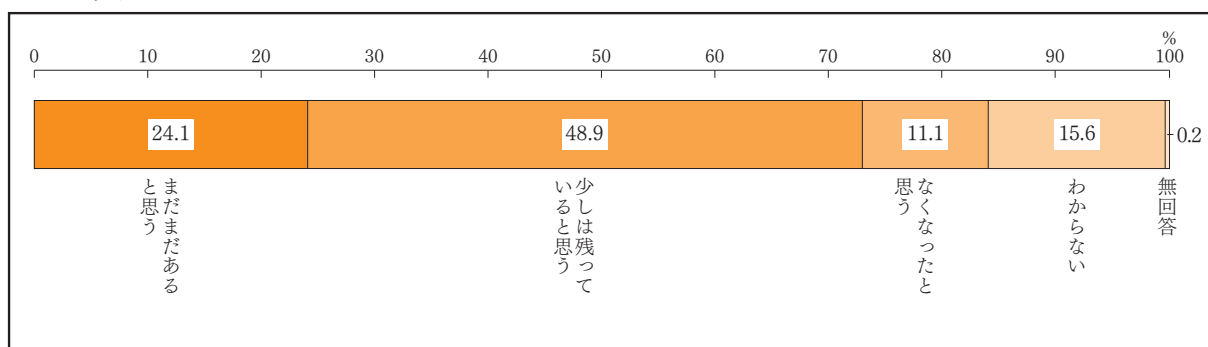
2017 年調査



2012 年調査



2007 年調査



今回の調査でみると、同和問題にかかわる差別が「なくなったと思う」が、2007年調査 11.1%と比較すると、10年で 3.9 ポイント上がっている。一方で、「まだまだあると思う」が、2007年調査 24.1%と比較すると、6.2 ポイント下がっている。

このことは、同和問題にかかわる差別が、少しずつ解消に向かっていると考える人が増えていると言える。

「まだまだあると思う」と「少しは残っていると思う」を合わせると、64.0%となり、過半数をはるかに超え、「部落差別解消推進法」の趣旨を今後は生かしていくことが求められる。

[表 3 2] 性別 × 問 15 (同和問題の存在)

	まだまだあると思う	少しは残っていると思う	なくなったと思う	わからない	%の 基数
男性	20.4%	46.2%	16.6%	16.8%	656
女性	16.1%	46.3%	14.1%	23.5%	881
合計	18.0%	46.3%	15.2%	20.6%	1537

性別でみると、「まだまだあると思う」「少しは残っていると思う」を合わせると、男性 66.6%、女性 62.4%で男性が 4.2 ポイント高い。

[表 3 3] 年代別 × 問 15 (同和問題の存在)

	まだまだあると思う	少しは残っていると思う	なくなったと思う	わからない	%の 基数
10代	18.1%	41.0%	9.6%	31.3%	83
20代	6.5%	36.7%	18.0%	38.8%	139
30代	11.9%	45.4%	13.9%	28.9%	194
40代	18.5%	46.9%	13.8%	20.7%	275
50代	23.2%	47.3%	11.6%	18.0%	311
60代	22.8%	46.9%	17.9%	12.4%	307
70代	15.7%	52.5%	19.8%	12.0%	217
合計	18.0%	46.3%	15.2%	20.5%	1526

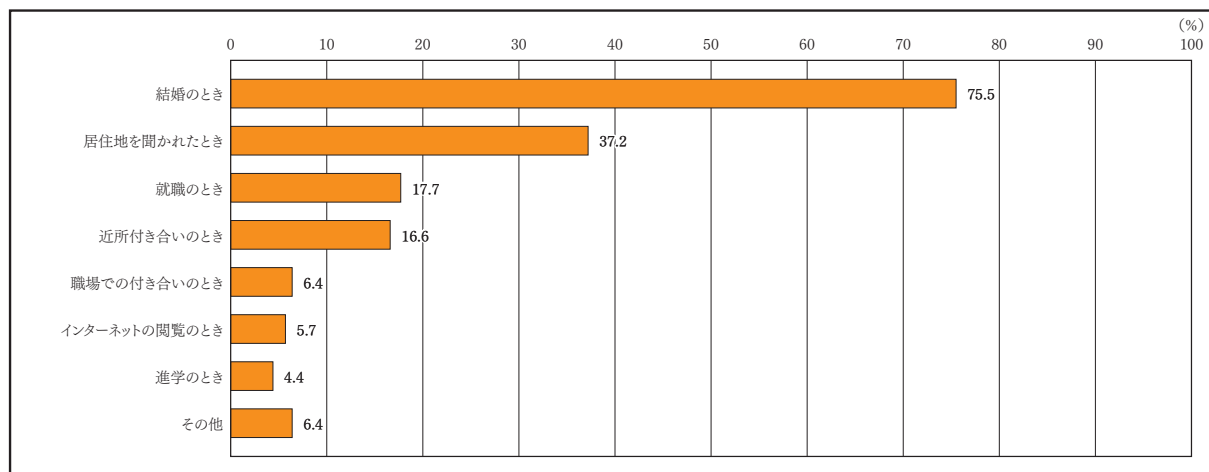
年代別でみると、40 代より上の年代では、「まだまだあると思う」「少しは残っていると思う」が合わせて 70%前後と大きな割合を占めており、10 代から 30 代では、50%前後という結果である。

問 15-2 問 15 で「1」または「2」を選んだ方におたずねします。それはどんなときですか。あてはまるものをすべてお選びください。

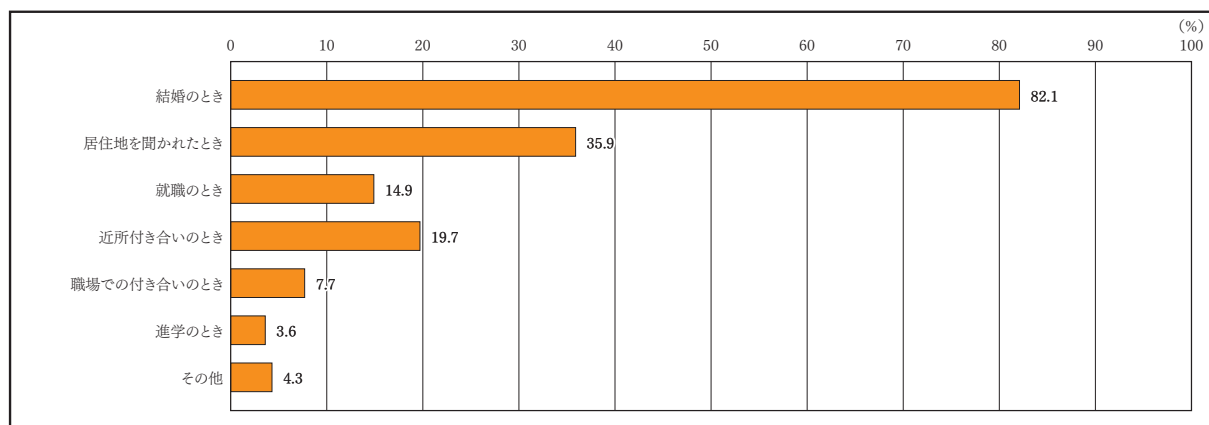
	人	(%)
結婚のとき	755	(75.5)
居住地を聞かれたとき	372	(37.2)
就職のとき	177	(17.7)
近所付き合いのとき	166	(16.6)
職場での付き合いのとき	64	(6.4)
インターネットの閲覧のとき	57	(5.7)
進学のとき	44	(4.4)
その他（具体的に：)	64	(6.4)
N=1000		

問 15 で 1, 2 と回答した人の合計は 996 であるが、問 15 を未回答で問 15-2 を回答した人が 4 名いたので、問 15-2 の合計は 1000 となる。

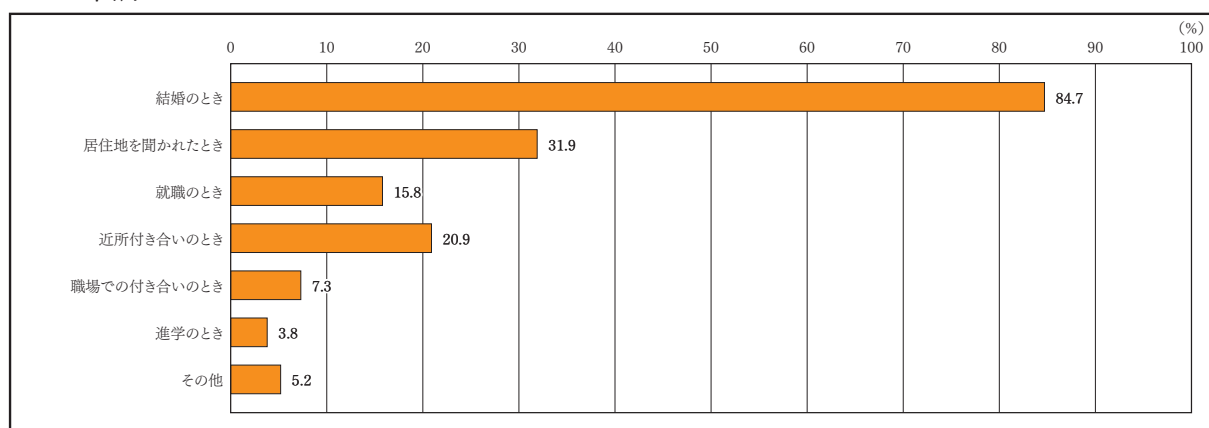
2017 年調査



2012 年調査



2007 年調査



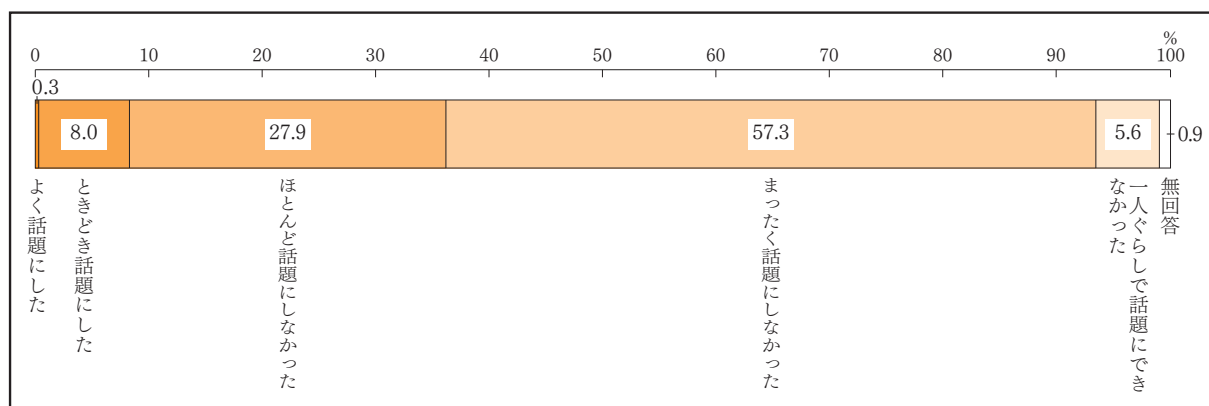
過去の調査でも、「結婚のとき」が最も多く 80%を超えていたが、2007 年調査 84.7%、2012 年調査 82.1%、2017 年調査 75.5%と、今回初めて 70%台に下がった。しかし、結婚差別については、学校現場で継続して取り組んでいるが、まだまだ啓発活動の継続的な実施が求められている。

また、「居住地を聞かれたとき」の回答が、2007 年調査 31.9%、2012 年調査 35.9%、2017 年調査 37.2%と増加傾向にあり、差別意識が根強く残っていると考えられる。

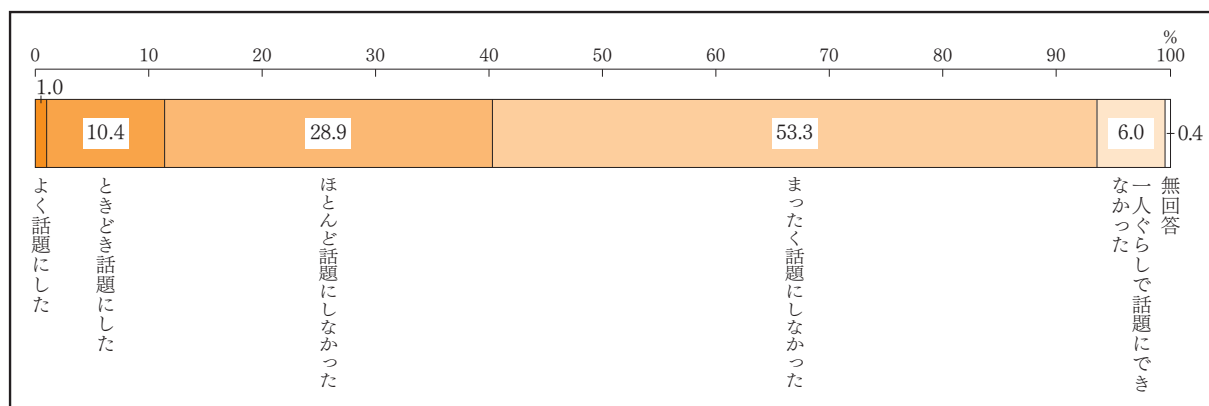
問 16 あなたは、この1年間に家族との間で、同和問題をどの程度話題にしましたか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 よく話題にした	5	(0.3)
2 ときどき話題にした	125	(8.0)
3 ほとんど話題にしなかった	437	(27.9)
4 まったく話題にしなかった	897	(57.3)
5 一人ぐらしで話題にできなかった	87	(5.6)
無回答	14	(0.9)
	N=1565	

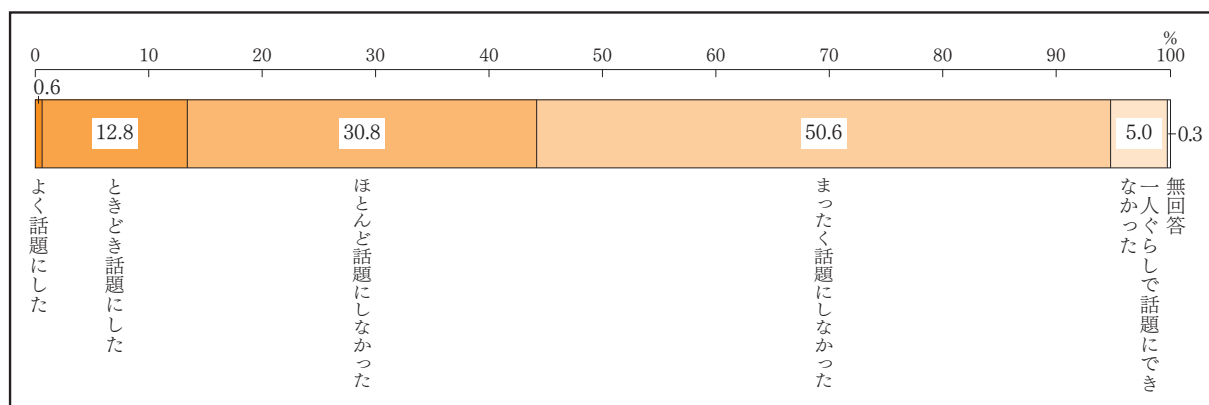
2017 年調査



2012 年調査



2007 年調査



家族との間では、「よく話題にした」と「ときどき話題にした」を合わせた「話題にした」の割合は8.3%となっている。

2007年調査の13.4%と比較すると、10年間で5.1ポイント下がっている。

一方、「ほとんど話題にしなかった」と「まったく話題にしなかった」を合わせると85.2%となっている。

2007年調査の81.4%と比較すると、10年間で3.8ポイント上がっている。家庭の中で同和問題を話題にする機会が減少している様子がうかがえる。

[表34] 年代×問16（家族で同和問題を話題にしたか）

	話題にした	ほとんど話題にしなかった	まったく話題にしなかった	一人ぐらし	%の 基数
10代	7.3%	30.5%	61.0%	1.2%	82
20代	6.5%	10.8%	71.9%	10.8%	139
30代	3.6%	25.6%	66.7%	4.1%	195
40代	8.4%	21.1%	65.1%	5.5%	275
50代	7.8%	28.8%	58.9%	4.5%	309
60代	9.1%	37.7%	48.1%	5.2%	308
70代	14.5%	35.5%	42.1%	7.9%	214
合計	8.4%	28.2%	57.8%	5.7%	1522

同和問題について「話題にした」割合が一番大きいのは、70代で、14.5%だった。これは、過去に同和問題が話題になる社会的な背景があったことの表れと考えられる。

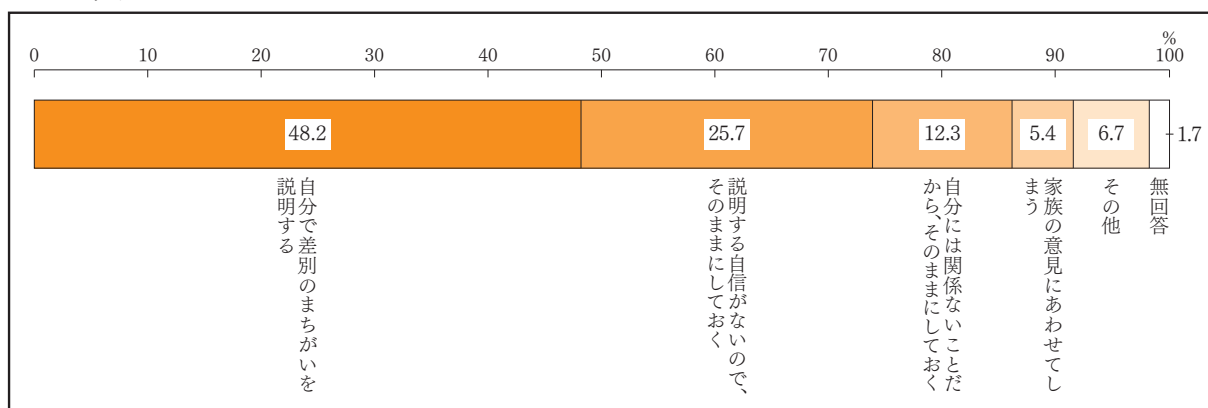
「話題にした」年代層が、40代から70代では7.8%～14.5%いるが、10代から30代では3.6%～7.3%と、40代以上の世代に比べて少ない。中でも10代は7.3%で、実際に学校で同和問題について学んでいる年代にしては家族と話している割合があまり高くない結果となっている。

今後、学校教育や社会教育等の学習の場で同和問題について学んだことが、家庭での話題につながるような学習の内容や方法を工夫していくことが課題になっていると考えられる。

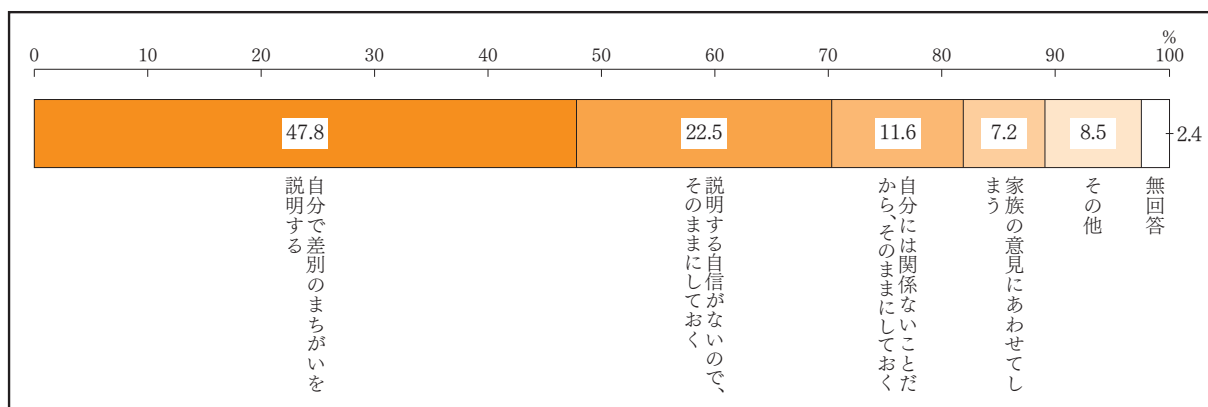
問 17 もし家族から同和問題について差別的な話が出たとき、あなたはどのようにしますか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 自分で差別のまちがいを説明する	755	(48.2)
2 説明する自信がないので、そのままにしておく	402	(25.7)
3 自分には関係ないことだから、そのままにしておく	192	(12.3)
4 家族の意見にあわせてしまう	84	(5.4)
5 その他(具体的に:)	105	(6.7)
無回答	27	(1.7)
	N=1565	

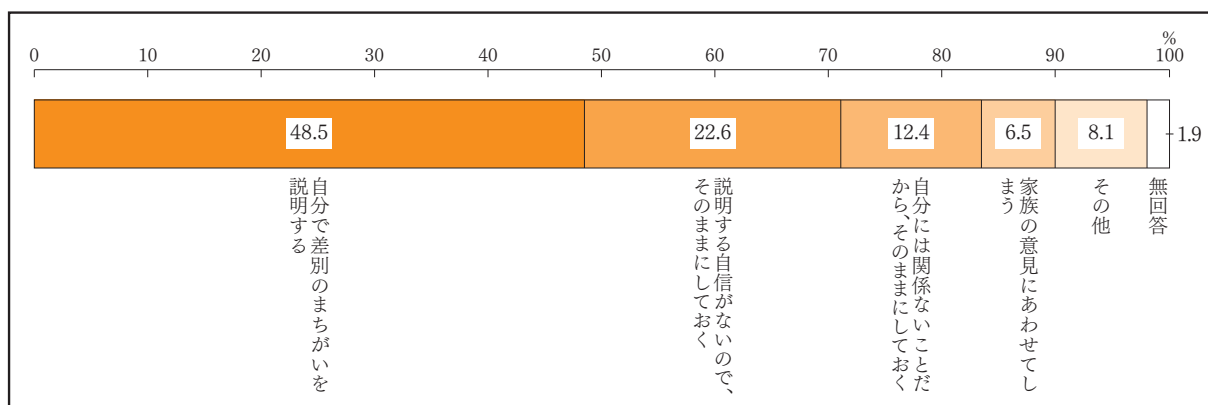
2017 年調査



2012 年調査



2007 年調査



「もし家族から同和問題について差別的な話が出たとき、あなたはどのようにしますか」という質問について、「自分で差別のまちがいを説明する」と答えている人は48.2%である。

一方で、「自信がない」25.7%、「自分には関係ない」12.3%、「家族にあわせる」5.4%を合わせると43.4%になる。

3回の調査を比べると、ほとんど同じような結果になっている。特に「説明する自信がないので、そのままにしておく」と答えている人に対して研修の機会が望まれる。

[表35] 年代×問17（差別的言動への対応）

	自分で説明する	説明する自信がないので、そのまま	自分に関係のないことだから、そのまま	家族の意見にあわせる	%の 基数
10代	54.9%	23.2%	8.5%	9.8%	82
20代	36.0%	32.4%	17.3%	8.6%	139
30代	41.5%	31.1%	12.4%	6.7%	193
40代	54.0%	21.5%	10.6%	6.6%	274
50代	57.7%	25.1%	6.5%	3.3%	307
60代	52.3%	26.3%	12.2%	3.0%	304
70代	42.7%	25.6%	20.4%	5.2%	211
合計	49.6%	26.1%	12.2%	5.4%	1510

年代別でみると、「自分で差別のまちがいを説明する」と答えた人の割合は、高い順に50代57.7%、10代54.9%、40代54.0%となっている。反対に、自信がなかったり、自分には関係ないと思ったりして「そのままにしておく」と答えた人の割合は、高い順に20代49.7%、70代46.0%、30代43.5%となっている。

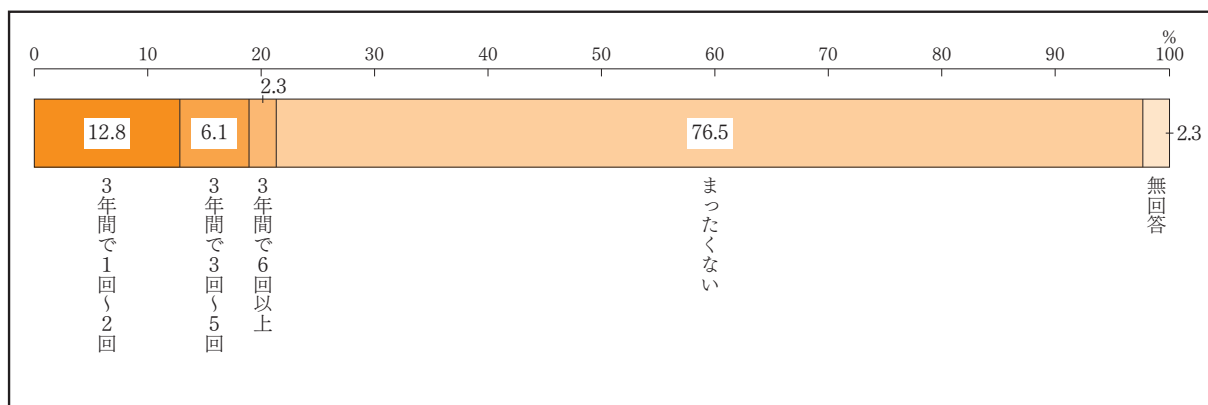
ここで特に注目したいのは、20代30代で「自分で説明する」と答えた割合が、他の年代に比べて低いことである。この年代に対しては、正しいことを学ぶことによって自信をもつことや、自分との関わりを考えるような人権教育・人権啓発の内容の工夫や改善が必要と考えられる。

3 人権教育・啓発活動に関する意識

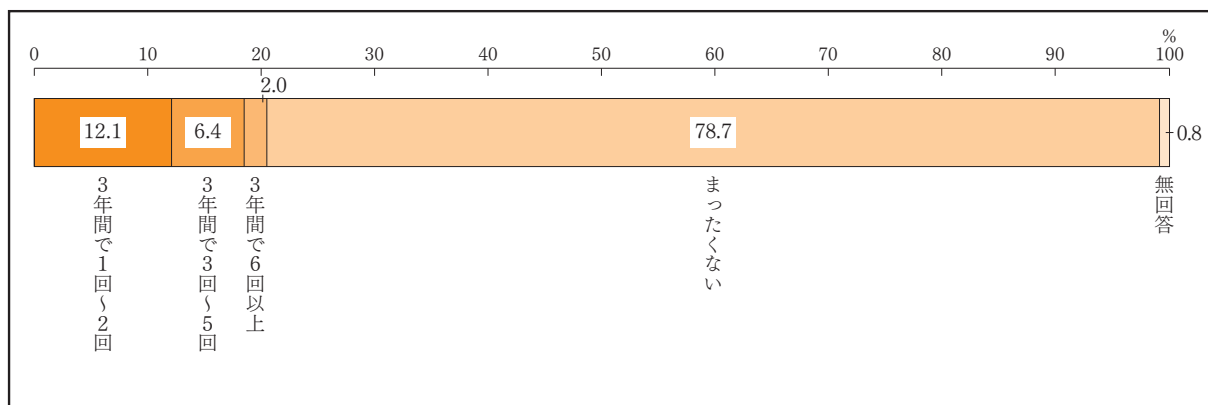
問 18 あなたは、過去3年間で、人権問題の学習会や研修会などに何回くらい参加しましたか（学校での授業を含みます）。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 3年間で1回～2回	204	(12.8)
2 3年間で3回～5回	98	(6.1)
3 3年間で6回以上	37	(2.3)
4 まったくない	1224	(76.5)
無回答	37	(2.3)

2017年調査



2012年調査



3年間「まったく参加しない」が76.5%で最も高い。全体的な傾向は、2012年調査と同様である。

[表 3 6] 性別 × 年代 × 問 18 (研修会への参加頻度)

性別	年代	なし	1 回～2 回	3 回～5 回	6 回以上	%の 基数
男性	10代	29.8%	17.0%	36.2%	17.0%	47
	20代	83.8%	8.8%	2.9%	4.4%	68
	30代	92.5%	6.5%	1.1%	0.0%	93
	40代	79.5%	15.0%	5.5%	0.0%	127
	50代	72.8%	17.5%	8.8%	0.9%	114
	60代	87.4%	8.1%	2.7%	1.8%	111
	70代	86.9%	10.3%	1.9%	0.9%	107
女性	10代	19.4%	25.0%	38.9%	16.7%	36
	20代	73.7%	18.4%	3.9%	3.9%	76
	30代	74.3%	17.1%	6.7%	1.9%	105
	40代	71.1%	16.4%	12.5%	0.0%	152
	50代	80.1%	11.2%	4.6%	4.1%	196
	60代	85.5%	12.5%	0.5%	1.5%	200
	70代	88.2%	8.2%	2.7%	0.9%	110
合計		78.1%	13.0%	6.4%	2.5%	1542

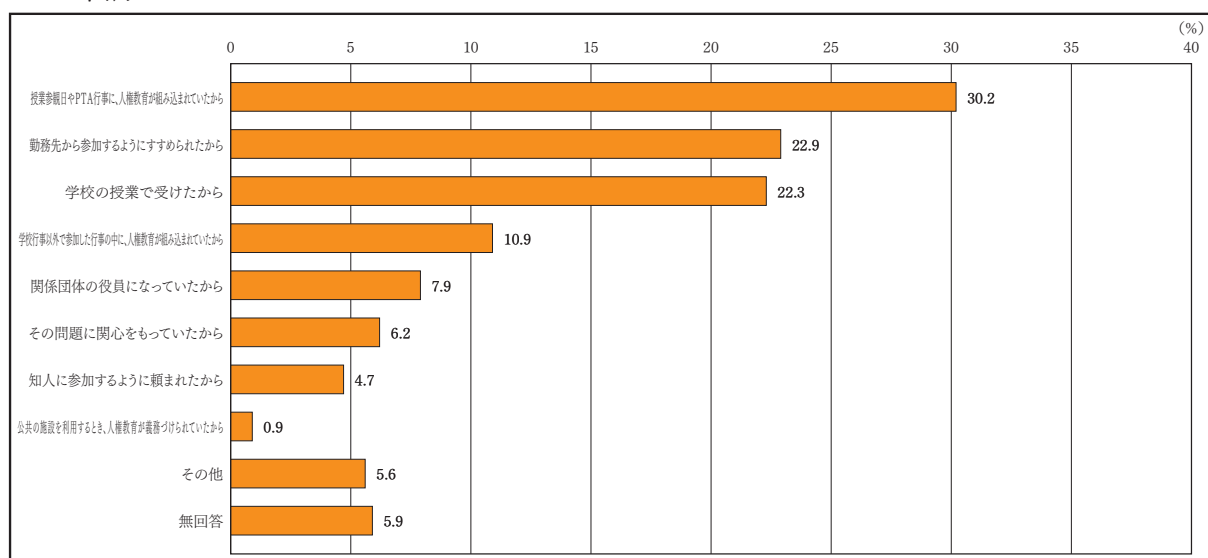
「3 年間で 3 回～5 回」の参加が男女ともに 10 代が多く、学校での授業によるものと思われる。

問 18－2 問 18 で「1」、「2」、「3」と答えた方にお聞きします。参加したきっかけは次のうちどれですか。主なものを2つ以内でお選びください。

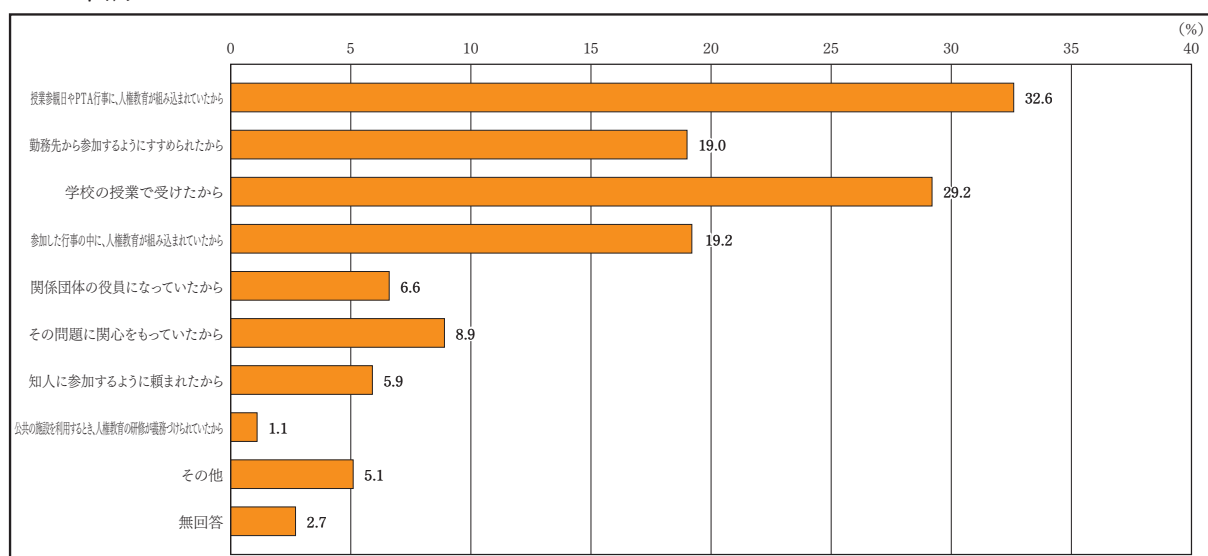
	[複数回答]	人	(%)
授業参観日やPTA行事に、人権教育が組み込まれていたから		103	(30.2)
勤務先から参加するようにすすめられたから		78	(22.9)
学校の授業で受けたから		76	(22.3)
学校行事以外で参加した行事の中に、人権教育が組み込まれていたから		37	(10.9)
関係団体の役員になっていたから		27	(7.9)
その問題に関心をもっていたから		21	(6.2)
知人に参加するように頼まれたから		16	(4.7)
公共の施設を利用するとき、人権教育が義務づけられていたから		3	(0.9)
その他（具体的に：)		19	(5.6)
無回答		20	(5.9)
N＝341			

* 問 18 が無回答のもので問 18- 2 を回答したものが2 名いたため合計は 341

2017年調査



2012年調査



「授業参観日やPTA行事に、人権教育が組み込まれていたから」は2012年調査と同様、最も多かった。このことから、今後も学校教育や社会教育における啓発活動の重要性が確認される。

また、「勤務先から参加するようにすすめられたから」が2012年調査に比べ3.9ポイントと最も大きく上がっており、近年、企業等が積極的に人権問題に取り組んでいることがうかがえる。

[表37] 問18-2 性別×年代×問18(研修会への参加したきっかけ)

性別	年代	問題に関心をもっていた	勤務先からすすめられた	関係団体の役員	知人に参加を頼まれた	授業参観	行事に組み込まれていた	公共施設の利用に義務	学校の授業	その他	%の基数
男性	10代	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	23.3%	3.3%	0.0%	86.7%	3.3%	30
	20代	0.0%	36.4%	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%	0.0%	45.5%	0.0%	11
	30代	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7
	40代	8.3%	66.7%	0.0%	0.0%	25.0%	4.2%	0.0%	4.2%	12.5%	24
	50代	0.0%	48.3%	6.9%	6.9%	13.8%	24.1%	0.0%	0.0%	10.3%	29
	60代	13.3%	33.3%	20.0%	6.7%	0.0%	26.7%	6.7%	0.0%	13.3%	15
	70代	15.4%	7.7%	38.5%	15.4%	0.0%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%	13
女性	10代	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	7.1%	0.0%	89.3%	0.0%	28
	20代	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	75.0%	5.0%	20
	30代	0.0%	29.2%	0.0%	0.0%	75.0%	4.2%	0.0%	8.3%	0.0%	24
	40代	4.8%	16.7%	7.1%	0.0%	73.8%	9.5%	0.0%	2.4%	7.1%	42
	50代	13.9%	27.8%	11.1%	5.6%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	36
	60代	3.6%	21.4%	14.3%	14.3%	25.0%	25.0%	0.0%	3.6%	3.6%	28
	70代	27.3%	18.2%	36.4%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11
合計		6.3%	24.5%	8.5%	5.0%	31.8%	11.6%	0.9%	23.9%	6.0%	318

10代、20代では、「学校の授業で受けたから」が男女とも最も多い。

30代から60代の男性では、「勤務先から参加するようにすすめられたから」が最も多く、企業等が人権問題に取り組んでいることがうかがえる。

同年代の女性では、「授業参観日やPTA行事に、人権教育が組み込まれていたから」が最も多く、男女の参加のきっかけの違いが分かる。このことは、男女の研修・学習会の場が違ふことが考えられるため、学校教育と社会教育の継続的な学習機会や内容の検証等の連携強化が必要であると考えられる。

70代では、男女とも「関係団体の役員になっていたから」が最も多い。

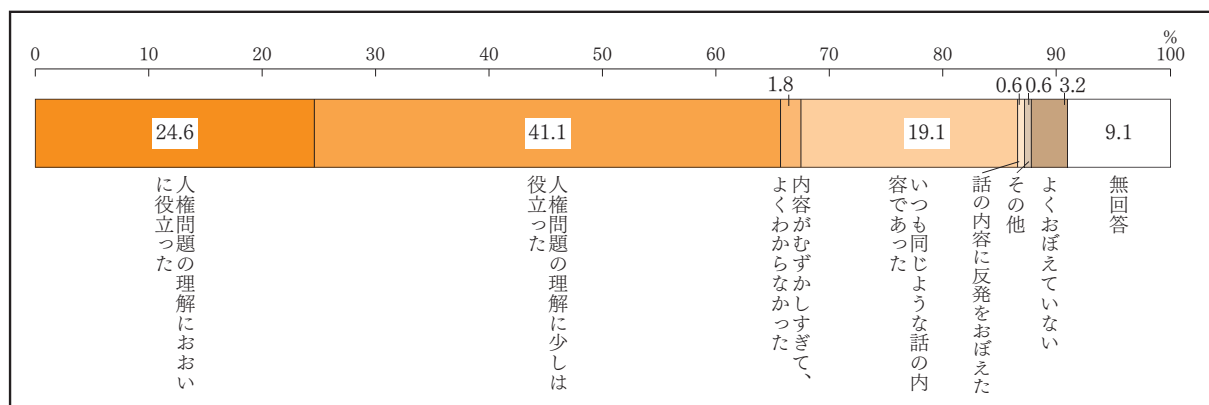
問 18－3 問 18 で「1」、「2」、「3」と答えた方にお聞きします。参加してみて、その内容について総合評価すると、次のどれにあてはまりますか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 人権問題の理解におおいに役立った	84	(24.6)
2 人権問題の理解に少しは役立った	140	(41.1)
3 内容がむずかしすぎて、よくわからなかった	6	(1.8)
4 いつも同じような話の内容であった	65	(19.1)
5 話の内容に反発をおぼえた	2	(0.6)
6 その他（具体的に：)	2	(0.6)
7 よくおぼえていない	11	(3.2)
無回答	31	(9.1)

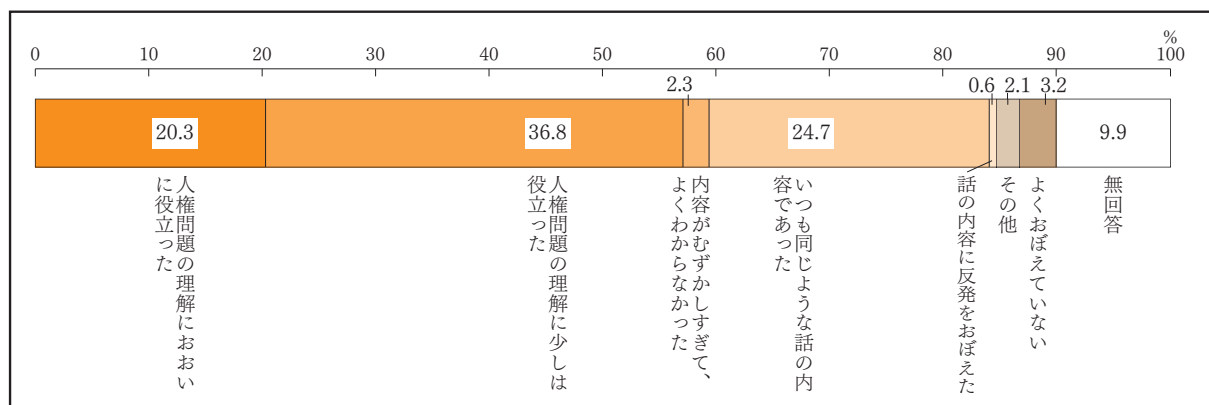
N=341

* 問 18 が無回答のもので問 18-2 を回答したものが2名いたため合計は 341

2017年調査



2012年調査



「人権問題の理解におおいに役立った」「人権問題の理解に少しは役立った」を合わせた回答が2012年調査57.1%に対し、今回は65.7%と8.6ポイント上がった。これは、過去3回の調査で最も高く、研修・学習会の内容が充実してきたものと考えられる。しかし、19.1%の方は「いつも同じような話の内容であった」と回答しており、今後も学習の内容や方法を工夫していかなければならない。

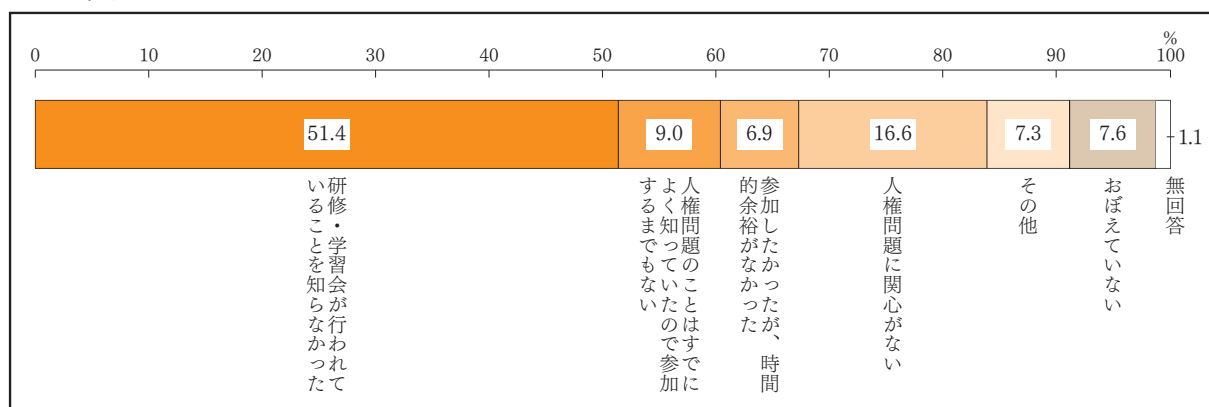
問 18－4 問 18 で「4 まったくない」と答えた方にお聞きします。研修・学習会に参加しなかった理由を、次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 研修・学習会が行われていることを知らなかった	631	(51.4)
2 人権問題のことはすでによく知っていたので参加するまでもない	111	(9.0)
3 参加したかったが、時間的余裕がなかった	85	(6.9)
4 人権問題に関心がない	204	(16.6)
5 その他（具体的に：)	90	(7.3)
6 おぼえていない	93	(7.6)
無回答	14	(1.1)

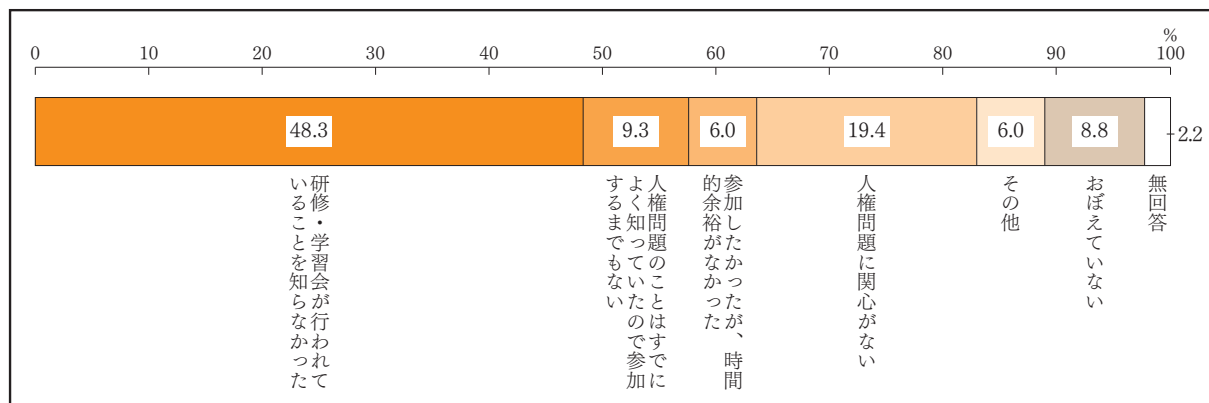
N = 1228

* 問 18 が無回答のもので問 18-4 を回答したものが4名いたため合計は 1228

2017年調査



2012年調査



「研修・学習会が行われていることを知らなかった」は、51.4%で、2012 年調査と同様、最も多かった。わずかではあるが、調査ごとに上がっており、今後、研修・学習会の案内方法を工夫する必要がある。

[表 3 8] 年代 × 問 18－4（研修会への不参加の理由）

	知らなかった	よく知っている ので参加する までもない	時間的余裕 がない	関心がない	その他	おぼえて いない	%の 基数
10代	57.1%	0.0%	9.5%	14.3%	4.8%	14.3%	21
20代	70.2%	3.5%	3.5%	14.0%	0.9%	7.9%	114
30代	50.0%	5.6%	9.3%	19.8%	7.4%	8.0%	162
40代	55.8%	4.3%	6.3%	18.8%	5.8%	9.1%	208
50代	54.8%	7.1%	6.3%	16.3%	8.8%	6.7%	239
60代	48.7%	12.2%	8.4%	14.8%	9.9%	6.1%	263
70代	39.8%	20.4%	6.8%	17.8%	7.9%	7.3%	191
合計	52.1%	9.2%	7.0%	16.9%	7.3%	7.5%	1198

年代別でみると、60 代以上に「人権問題のことはすでによく知っていたので参加するまでもない」の回答が 10%を超え多い。このことから、60 代以上の人への啓発について、高齢者の人権問題等の身近な内容にしたり、高齢者クラブ等の組織への呼びかけを行うようにしたり、工夫をしていく必要がある。

20 代を最高に、50 代以下の年代で「研修・学習会が行われていることを知らなかった」が 50%を超えている。学齢期の子どもの保護者は、授業参観や P T A 行事等で研修会への参加が多い半面、その他の機会では情報が入りにくいと考えられる。そのため、すべての人に研修・学習会の情報が提供できる方法を工夫する必要がある。

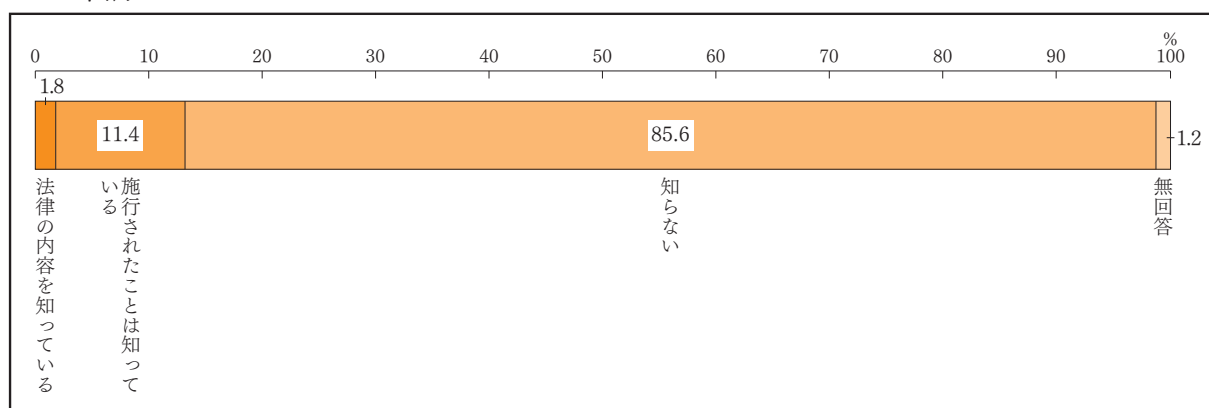
4 部落差別解消推進法に関する意識

【新規】

問 19 平成 28 年 12 月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律のことを知っていますか。知りませんか。次の中から1つお選びください。

	人	(%)
1 法律の内容を知っている	29	(1.8)
2 施行されたことは知っている	182	(11.4)
3 知らない	1370	(85.6)
無回答	19	(1.2)

2017年調査



[表 3 9] 性別 × 問 19（部落差別解消推進法の認知度）

	内容を知っている	施行は知っている	知らない	%の基数
男性	1.9%	14.4%	83.7%	679
女性	1.8%	9.4%	88.9%	897
合計	1.8%	11.5%	86.6%	1576

[表 4 0] 年代 × 問 19（部落差別解消推進法の認知度）

	内容を知っている	施行は知っている	知らない	%の基数
10代	2.4%	17.9%	79.8%	84
20代	1.4%	9.6%	89.0%	146
30代	1.5%	5.0%	93.5%	200
40代	1.4%	6.1%	92.5%	280
50代	2.5%	8.9%	88.5%	314
60代	1.9%	15.8%	82.3%	316
70代	1.8%	21.3%	76.9%	225
合計	1.9%	11.6%	86.5%	1565

年代別にみると、30代から40代に認知されていない傾向がみられる。

5 自由記述からうかがえる意識

(1) 概要

【性別 内訳】

性別	男	女	その他・不明	計
人数	107	175	6	288
比率	37.1%	60.8%	2.1%	100%
回収された調査票全体の構成比	42.4%	56.3%	1.3%	100%

【性別 内訳】

性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	計
人数	16	22	33	44	60	66	42	5	288
比率	5.6%	7.6%	11.5%	15.3%	20.8%	22.9%	14.6%	1.7%	100%
回収された調査票全体の構成比	5.3%	9.1%	12.6%	17.5%	19.7%	19.8%	14.1%	1.9%	100%

【記述内容別 内訳】

記述内容	件数	比率
① 人権教育や啓発活動に肯定的な意見や感想	19	5.9%
② 同和教育や同和問題に対して肯定的な意見や感想	9	2.8%
③ 人権教育や啓発活動に対して否定的な意見や感想	3	0.9%
④ 同和教育や同和問題に対して否定的な意見や感想	32	9.9%
⑤ その他の人権や人権問題に関する記述	103	31.9%
⑥ その他、同和問題に関する記述	39	12.1%
⑦ アンケート調査に対する肯定的な意見や感想	17	5.3%
⑧ アンケート調査に対する否定的な意見や感想	13	4.0%
⑨ その他、アンケート調査に関する記述	26	8.0%
⑩ 上記のどれにも当てはまらない記述	62	19.2%
計	323	100%

(複数の回答があったので、計が323になっている)

アンケートに回答した1,600人のうち、18%にあたる288人が何らかの意見や感想を記入している。

男女の記入割合では、男性(37.1%)より女性(60.8%)の方が23.7ポイント多く、アンケートに回答した女性901人のうち19.4%の人が記入している。

(2) 自由記述の抜粋（文意を変えない範囲で原文を一部変更しています。）

10代

【女性・15歳】

10月に入ってから授業で同和問題（部落差別、就職差別、結婚差別）について学びました。授業では現在も少し就職差別や結婚差別が残っていることを知りました。江戸時代から現代にかけて様々な場面においてあらゆる差別が行われてきたことを知りとても驚きました。「部落差別の解消の推進に関する法律」が出されたのをきっかけに差別が完全になければいいなと思います。また私たちの代から世の中に発信するべきだと思います。

【男性・19歳】

私は授業でグループに分かれて LGBT について討論し、グループごとに発表するということをしたことがある。この授業を受けた後 LGBT についての知識も増え、LGBT の方の気持ちも理解できるようになったと思っていた。しかしいざ LGBT の方とお会いする機会があった時、動揺を隠せなかった。心のどこかで LGBT の方に対する違和感があったのだと思う。いずれ医療関係の仕事に就くものとして恥ずべきことだなと思った。ただ、それと同時に他の人もどれだけ LGBT の方や障がい者などに対する知識を増やし講演会などを聞きに行ったとしても本当の意味でその方々の気持ちを理解するのは難しいことなのだと痛感した。本当の気持ちを理解するためには、その人と同じような経験をしなければいけないのだと思ったからだ。ただその人の気持ちを受け入れることが出来る心を持つことは可能だと思った。自分の気持ちを受け入れてくれることが LGBT の方の何よりの救いである。故にここから教育をしなければならないのかなと思った。本音は皆が優しく広い心を持つように全体主義的な対策をして欲しいがそれも実現不可能なので一人でも多く、いたわる気持ちを持ってほしいと思う。私も皆が幸せになれるよう精進しようと思う。

【女性・17歳】

通っている高校である教師が「女は家庭に入って赤ちゃんをつくって子育てするのが1番の幸せだ」と差別的な発言をしていた。読書感想文で人権差別についての本を読み、自身の差別体験として前に挙げた例を挙げた。その読書感想文は校内で優秀となり全国コンクールに出品することになったが国語の教師に「誰であるか特定されると問題になるので表現を訂正するように」指摘され、作中の「ある男性教師」の部分を「身近な人」と訂正するように求められた。

この私の実体験はまず教育を与える側の意識の低さを露呈していると思う。世界は多様化しつつあるのではなく既に多様化し終わっている「済」であり、グローバル化は現在進行形なのではなくもうグローバル「済」なのだと思う。私はこの一件に対する正直な感想は「教育現場の人間がこの程度の観念の持ち主なら人権教育の質もたかが知れている」というものだったが、よく考えると前の男性教師は50代ほどで私は17歳なのだから生きる時代も半世紀違ってくるのだ。未来の世界を作るのは私なのでこのような女性差別や偏見をこれからなくすかふやすかそれとも現状維持にしてしまうかは私次第だと思う。教育現場でのこのような発言、対応は私が50才になるころにはなくなっていてほしい。

【女性・27歳】

社会人になると人権問題に触れたり考えたりする機会がなくなった。学生時代は授業であったこともありよく触れていましたが。ほとんどの人は人権に対して興味、関心を持っていない他人事のような感じだった。私はなぜかすごく関心があるのですが。もっとみんなが関心を抱くにはどうしたらいいのだろうと思っていました。部落差別も今はあまり耳にしないような気もするが残っているところも少なからずあると思う。知らない方が多いと思うがそういう人が中途半端に知ってしまうと変なようにうわさなどが流れていってしまうのでは…とも思う。義務教育の間に人権、道徳をたくさん取り入れてほしい。まとまりがなくてすみません…。差別のない、みんなが思いやりを持てる世の中になって欲しいです。

【男性・24歳】

私が幼少の頃はまだ同和問題が家族の中にも根強く残っているように感じており私自身、幼く何が問題であるのか理解できてなかったように思う。しかし成長し成人になり結婚などの話題について家族と話すにつれ、親族の中で過去に結婚などの問題で相手方の調査を行うというようなことを知った時にはおどろきました。私は個人がどのような人であるかを見て判断し、つきあっていくかを決めます。決して部落がどうだといったようなことで人をおとしめるようなことを思うことは今の私にはありません。私より上の世代の人たちが考えていたことや今の社会構造上の部落という概念が理解できなくなっていることもあり少しずつ部落差別というものは人々の心から消えているのではないのでしょうか？一方で他の差別が浮き上がっている以上そちらの差別に対する教育を徹底することがこれから必要ではないかと私は考えます。私は今、勉強をすることができ、社会生活を営むことができていることに幸せを感じます。差別で人知れず苦しんでいる人たちが幸せに感じることを切に願います。拙い文章ですがお役に立てるとうれしいです。

【男性・27歳】

私は教育に関わる職に就いているため人権問題について学んだり考えたりする機会が多いですが同世代の普通の方々はそのような機会はほとんどないだろうと思った。フランクにそういった問題について考えたり話したりする場が増えればいいと思った。

【女性・27歳】

私は教育関係の仕事をしているため関心は強く、学ばなければならないと思うことが多くあります。しかし日常生活の中では人権問題に触れることはあまりありません。社会の中で苦しんでいる方たちがたくさんいることは理解しているつもりですが本当の理解ができているかはとても不安です。ハンセン病患者の方とお話しさせていただいたときに「辛いけど黙って耐えるだけではいけない。自分たちが動いて色々な人に知ってもらうことが大事」だと言われました。その言葉を聞いて「伝えることの大切さ」に気付いたことを忘れないようにしています。様々な場面（メ

ディアや施設)で人々が目に触れる機会が増え、苦しい思いをしている人たちがいることに気付くことができたらいいなと思っています。

【女性・28歳】

今までこのような人権に関する協議会があることを知りませんでした。部落差別の法律(問19)も知らなかったので良いきっかけとなりました。ありがとうございました。

30代

【女性・31歳】

小学低学年の息子がいますが最近よくさえない顔で帰ってくることが多いのが気になっていました。子どもなりに親に心配かけまいと自分の中で解決しようとしているのだと思います。子どもにさぐりさぐり聞くと下校時、先生方が途中まで送って下さるまではみんないい子なのだそう。しかし先生方がいなくなると「お前はさっさと帰れ」「こっち来んな」「ぶっ殺すぞ」「ぶんなぐるぞ」「ブタ巨人から逃げろ」と言ってみんな逃げていくなどがよくあるようです。学校ではそういうことは言っていないそうです。週一回の集団下校の時も大丈夫なようでそれ以外の同学年で帰っている時に色々言われているみたいです。私たち親の前にいる時もやんちゃな子たちではあるけれども暴言を吐くなどなくいい子たちだと思っていたのですが。大人や年上のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちの前ではいい子にしていって自分達だけだと変わってしまう。そういう子たちが何人かいる。そして親御さんたちは知らないのだろうと…。我が子も含め子どもたちみんな本当に優しい心が育っていく世の中になってほしいと願っている今日この頃です。

【女性・38歳】

人権といわれると今まで考えることもなくTVや学生の頃授業位にしか思っていなかったけれど回答していくと自分の身近に人権問題があるんだと気付きました。良い機会をありがとうございました。

【男性・39歳】

人間は決して平等ではありませんが私はどんな相手でも対等という意識を持って生活しております。有能な方に対して妬む気持ちも無く、障がい者の方に対して可哀想という気持ちもほぼありません。過剰に誰かを責める立てる報道等も問題だとは思いますが過剰に同情心をあおるような報道等も差別心を生んでしまう要因になっているような気がします。無関心なことがいいこととは言いませんが「気にしない」ことは時に必要なことだと思います。どんなに相手のことを考えても自分が当事者になるまでは決して相手の気持ちは理解できないのだから。

【男性・39歳】

非常に意義深い調査だと思います。市のホームページ等で結果を公表していただきたいです。

【男性・46歳】

人権問題を主題とする集会は大事なことだと思う。しかし人権問題集会だけでなく親、家庭の日常生活にて親、先生、教師達等が人として正しい行いや言葉で子ども達と生活することで子ども達が他者へ対し正しい言葉や行動を行うようになると思います。日常の生活が重要。親は子どもの手本になる言葉や行いに務めること。子は親を親の姿を見事に写し出す鏡です。親が慈しみと愛情のある正しい行いや言葉を子どもたちへ見せていくことが未来へ希望のある子ども達の生活へつながっていくと私は信じます。社会的弱者へよりそい共に生きていける宝(子ども達)を大切に慈しみ育てていき融和した社会になることを私は心から願い祈ります。お年寄りを大切に、子ども達を大切に、すべての人達に尊敬の念を忘れず人として親として子ども達に人の姿を見せて行くその先に真の融和、平和もやってくると希望(子ども達)を育てていくことが大事だと思います。乱文乱筆誠に失礼申し上げます。

【男性・47歳】

この質問には、差別自体がNGだということを前提でつくられているように感じる。差別はNGではあるがある一定の区分は必要だと思っている。生まれて、生まれた所や、産んだ親が当事者である場合は差別を無くすることが大切ではあるが、それ以外、特に犯罪者の差別については場合により必要である。差別、差別と取り上げれば取り上げる程、特別に意識してしまう。人間は皆同じ、ということ子ども教育の場でもっともっと行うべきであるが、その教育を行う教師の教育を行う必要があると感じる。昔の教育が消えていこうとしている。この甘い甘い現代の教育環境がなさけなさすぎて日本人としてはずかしい。

【女性・47歳】

人権問題について自分があまり関心を持っていないことにあらためて気付きました。問3の人権問題を見て人権問題と一言で言っはこんなたくさんの種類があるんだとわかりました。身近な問題からでも関心を持ち自分の考えを持ちたいなと思いました。

【男性・44歳】

抽象的な質問があって回答に悩むところがあった。例えば問12の「刑」。犯罪は色々あるのでどのような犯罪なのか再犯率は高いのか等を考慮しないと判断しづらい。他にも問3の人権課題についても「誰の」人権に関心があるのかについて回答することが人権教育・啓発の推進の基礎資料としての活用となるか疑問を持った、「誰の」「どういう人権」についての関心なのかが重要であるように思う。例えば問9にも関係するが外国人の「参政権」なのか「生存権」なのか「表現の自由」なのか「どういう人権」かで関心の高低があると思う。問4に関しては「体罰は認められない」と抽象的に回答したものの何が体罰で何がしつけなのかが分からない。グレーゾーンを調べるための意識調査でないと役立たないのではないのでしょうか？地域のつながりを再構築し、地域の人権問題を地域で考えていけるような社会を目指すべきだと思う。どのような人権問題も他人事としてとらえたら関心を持って

ない。自分のこととして考えることができる良い意味でのおせっかいができる地域づくりを松山市に期待します。

【男性・45歳】

問10 性的マイノリティについて、自分も同性愛者です。最近このことについて松山市が理解を進めていることについてとてもうれしく思います。なぜ自分は同性愛者なのか…悩んで自殺を考えたこともありました。小・中学校からの古くからの理解ある友人にとっても助けられました。野志市長さんの「自分らしくあればいい。人間は性別関係なく一人の立派な一本の木です」という言葉、とても大好きです。ありがとうございます。この場をかりて書かせていただきました。野志市長さんの言葉が他の性的マイノリティの人たちの助けになればいいなと思っています！！

50代

【女性・52歳】

最近のニュースなどを見ると他人への思いやりがない自己中心的な考えからおこる事件や事故が多いように思います。インターネットの誹謗中傷から車の運転のマナー違反まで相手のことを想像する力が欠けているように思います。他人を思いやる社会、一人一人を尊重する社会、弱者をあたたく見守る社会になっていけばいいなと思います。そのためには教育は大切に思います。先日えひめ国体のサッカーの決勝を見に行きました。ちょうど中学校の一学年の生徒さんたちが見に来ていました。でも応援もせずただ黙って見ているだけ。先生方も後ろに座っているだけ。授業を休み、わざわざバスで決勝戦を見ることができる大切な機会を与えられたのに先生方は引率するだけでいいのかと疑問に感じました。試合の後半になってやっと生徒たちの中から声を出す子があらわれバラバラと応援していました。がんばっている選手たちを応援してあげましょう、応援してもらったらうれしいだろうと相手のことを思う気持ちを子どもたちに先生方は伝えてほしかったです。家庭教育もちろん大切ですが学校教育も人間形成にはとても大切な場所だと思います。先生方がんばって。

【男性・58歳】

①人権を侵害する環境は市民ひとりひとりがつくりだすものの以外にもマスコミなどのテレビ・新聞・雑誌にもその原因をつくりだしている責任はあると思う。表現の自由を主張する情報発信団体や組織についてもこのような人権に関する調査は必要であるまいか？マスコミだからといって優遇されるべきこととは思われない。根拠に基づかない情報がニュースの発信。明確な方法で行われない訂正。等、問題点は多々ある。一個人の人権侵害的行為の認識を改善の方向へもっていく取り組みとともにマスコミ等への指導もしっかりとやって頂きたい。

②このアンケートにしても無作為抽出されたものだと説明しているが誰が誰の許可（法律）に基づいてどの情報群から抽出したのかが明記されていない。貴協議会の性格やその役割についても書かれていない。そういうところひとつとっても行政側（？）に於いて人権意識が薄いと言わざるを得ません。

【男性・54歳】

このアンケートが本物かどうか判らなかったため、直接市役所へ持ち込みを考えました。せめて文書かがみ（市長印）有をつけるべきではないでしょうか。人権問題周知についてはTVの「AGC？」CMにあるような又はインターネットCMの周知を公費を使用してもっと実施すべきだと思います。

【女性・52歳】

子どもの通っている学校で毎年参観日に人権集会がある。毎年参加しているが小1～小6までの子ども達には少し難しい内容だと思う。人権は本当に難しい問題だと思うが、松山市が真剣に取り組んでいるのは承知しているが、もっともっと内容を掘り下げてそれぞれの年代に合ったDVDや劇、話し合いにするべきだと思う。いろいろな年代の人々が一緒に参加したりするのは内容が内容だけに理解できないことが多いのではないかなと思う。小1には小1なりの分かりやすい人権問題、高齢者には「何故寝た子を起こさないのか」など年代に合わせた物作りによってもう少し人権に対しての理解も深まるのではないかと毎年の人権集会で思います。

【女性・56歳】

私は子どもの頃、近所に同和地区の人がおり、それが親や他から色々と聞かされ学校での教育とかで差別について考えることが出来ました。大人になると自分の思考も固定されがちです。同和問題に限らず様々な差別について小さい頃から教育することが大切であると思います。家族間では今は無理でも小さい頃（小学生頃～）教育された人間は大きくなり家族を持った時に家族内でも子どもに伝えることが出来ると思います。差別はなくなるとは思いますが教育により問題意識が広がれば良いかなと思います。

【女性・56歳】

今、子ども社会でいじめがエスカレートし命を絶つことを選択する子どもが増えているように思います。1つに人権的なことも関係していると感じるので、学校の教育の一環として人には上も下もなく、みな平等であり、身体的、環境、生活、人それぞれ違うところがあると理解できる範囲で話してほしいですね。（ただし先生が差別しないことが重要ですけれどね）私共の日々の生活でいっぱいなのでゆとりを持てるようになりたいです。TVでの見解が精一杯。これが現実です。

60代

【女性・64歳】

人権問題がこんなにたくさんあることを知りびっくりしました。他人の方はそうかと理解しようと思っていても我が子となると理解するのに時間がかかると思いました。同和問題は私がストップしますと決め次代につなげない。インターネットなど新しいことで人権を大切にしていけることを考えなければいけないのはなさけないですね。社会がどんどん良い方に進んでいくてくれますように心から思います。

【女性・69歳】

同和ということで結婚等がスムーズにいかないようなことを今も時折耳にすることがありますがこれはとても淋しく悲しいことと思います。私はそのこととその人の人格は何も関係はないと思います。これを機会に人権問題の学習会に参加してみたいと思っております。

【女性・68歳】

部落差別に関しては最近ではマスメディアで取り上げることもなくもう解消したと思う人、昔のことと受け止める人が多い様に思います。「部落差別解消法」が成立したので終わりではなくそこからが始まりです。それを生きたものとするのが取り組む人々の熱意と行動です。

【女性・65歳】

新聞やテレビで報道される子どもや高齢者に対する虐待に心を痛めています。また、同和問題もその地域に新しい人達が住み始め居住地を特定するのは難しくなっていますが地方に行くともだまだ色濃く残っています。普段のお付き合いには問題しないのですが結婚とかになるとしぶる親が多いと聞きました。とにかく人権問題にはいろいろとあり対応も難しいと思いますが少しでもなくなることを願っています。

【女性・64歳】

人権とは人間らしく生きる権利でありすべての人が持つ当たり前の権利だと思います。しかしその人権が侵害されている現実があります。人権侵害はあってはいけないことです。私たちの身近なところにも存在しています。私たちひとりひとりが思いやりの心で差別のない世の中にしていかなくてはなりません。

【男性・63歳】

矯正関係の仕事を長く続けていたので出所者の就職先がなかなか見つからない状況を知っている。まだまだ社会の目は厳しいものがあると実感する。真面目な特に初犯者の再犯率が高く一度刑に服すと身元引受人等が居ない場合、特にその傾向が高いようである。社会的弱者になりやがてホームレスや再犯をしていく暗い人生をどこかで変更していけるような体制を願っている。

【女性・61歳】

職場での研修、また今回は思わぬアンケートに選ばれたことで、改めて差別について考えることができました。自分の中にある差別されない側に居るというおごり、むじゅんを感じます。いつ被害者側になるかもしれない。差別という心の刃を感じずにはおれません。良い機会をありがとうございました。

【女性・72歳】

人権については教育現場でもあまり教えられることがないのではと思う。特にいじめの問題が多すぎる。人、ひとりひとりの大切さをしっかり家庭、学校でいろんな場面を通して学んでいくべきでは。大人、両親、教師その他こどもに接する人々が忙しすぎてじっくり向き合う時間、機会が少なすぎると思う。

【男性・70歳】

私は若い頃より思うことがありました。それ自分の子どもに成功する名前、正しいことは正しい言える名前、偉人の名前等々をつけますがいざ子どもが事件を起こした時必ず人のせいにし、かばいかくす非常にみぐるしい様相を見せます。要するに自分たちだけ良ければ人はどうでもよい。又、金持ちが貧しい人をバカにするさげすむ。私は思います。同和の人であれ貧しい人であれその人生をどう生きたかで決まると思う。決して人の不幸の上に自分の幸せを築かない人に寄り添い共に励まし合いながら生きるそんな人生を送りたいと心より願っており又必ずそうします。そして若い方々の成長願いどの様に育てていくかで次の時代が決まります。簡単に負けない人生、ねばり強い心根、そんな人を作り育てる伴走者でありたい。大切な大切な青年の世紀を作るために人類のために自分の足もとより（有難うございました）

【女性・70歳】

悲しいことですがいくら時代がかわっても差別はなくならないと思います。なぜなら差別されている人もまた他人を差別したり自分自身で差別している自覚のない人があまりにも多い様に思います。それでも少しでも差別が少なくなっていくことを願うばかりです。

【女性・70歳】

いじめが多く自殺者も新聞やテレビでよく取り上げていますが、教育者側の反省があまり感じられません。かくしたり、何か月も前からのことだったり、自殺する前に、まわりの人が真剣に取り組んでいって欲しい。昔、祖父母や社会の方たちが教えてくれたことから軌道がはずれ、物づくりを誇っていた大会社がいい加減なことをして、又、長期隠ぺいをしている。日本人はいつからこんなになったのでしょうか？大人ももう今は恥を認識して社会をじっくり考え見直さないと子どものいじめは減らないと思います。

「人権問題に関する市民意識調査」実施要項

1 調査目的

同和問題等あらゆる人権問題を解決し、全ての市民が互いの人権を認め、尊重し合える社会を実現するため、「人権問題に関する市民意識調査」を実施する。

この調査結果を分析・検討し、本市の人権教育・啓発の取組の成果と残された課題を確認するとともに、今後の人権教育・啓発の推進に役立てることを目的とする。

2 実施主体

松山市・松山市人権教育推進協議会

3 実施期間

2017（平成 29）年 10 月 24 日～ 11 月 8 日

4 調査設計

調査対象：松山市内に在住する 15 歳以上 79 歳以下の男女

標本数　：3,000

抽出方法：住民基本台帳より単純無作為抽出

調査方法：郵送調査

5 報告集

報告書　　700 部

ダイジェスト版　6,000 部

「人権問題に関する市民意識調査」

— お 願 い —

松山市は松山市人権教育推進協議会と連携し、2016（平成 28）年に改訂した「松山市人権啓発施策に関する基本方針」をもとに、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決を目指し、『「誇れる」人権尊重で笑顔に』～人にやさしい 人がやさしいまち 松山～をスローガンに、市民の人権尊重意識の高揚に取り組んでいます。

この調査は、市民のみなさんが、人権について、どのようなお考えをもっておられるかをお聞かせいただき、今後の松山市の人権教育・啓発の推進のための基礎資料として活用させていただくためにご協力をお願いするものです。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひお答えいただき、ご返送くださいますようお願い申し上げます。

2017（平成 29）年 10 月 24 日 松山市・松山市人権教育推進協議会

～ ご回答いただくために ～

- 1 あなたは松山市民の中から、無作為抽出法（くじ引きの要領で選ぶ方法）で調査の対象者として選ばれた 3,000 名のうちのお一人です。

選ばれた方は、この調査票の宛先となっている方です。誠に勝手なお願いですが、必ずご本人がご回答ください。

- 2 ご回答にあたって、お名前を書く必要はありません。

- 3 この調査結果は、人権啓発の目的以外には使用しません。回答はすべて、松山大学社会調査室で統計的な手続きにしたがって科学的に処理されます。無記名ですので、個人の回答が外にもれて、ご回答いただいた方にご迷惑をかけるようなことは一切ありません。あなたがお考えになっていることをありのままにお答えください。

- 4 回答はすべて、該当する数字に○印をおつけください。

- 5 調査用紙は、ご記入が終わり次第、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、切手をはらずに 11 月 8 日（水）までにポストにお入れください。

なお、返信用封筒の宛先欄の下に付されているバーコードは郵便局が整理のために付したものです。回答者個人を特定するためのものではありません。

- 6 この調査についてご不審の点がありましたら、下記にお問い合わせください。

【この調査についてのお問合せ先】

松山市人権啓発課・松山市人権教育推進協議会事務局

〒790-8571 松山市二番町 4 丁目 7 番地 2

TEL（089）948-6604

FAX（089）934-1742

受付時間 月～金 8：30～17：15

問1 あなたは、今の日本の社会では人権が尊重されていると思いますか、思いま
せんか。次の中から1つお選びください。

- 1 十分尊重されている
- 2 おおむね尊重されている
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり尊重されていない
- 5 まったく尊重されていない

問2 あなたは、人権問題に、日ごろからどの程度関心がありますか。次の中から
1つお選びください。

- 1 おおいに関心がある
- 2 少しは関心がある
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり関心がない
- 5 まったく関心がない

問3 あなたは、次のA～Qの人権課題にどの程度関心がありますか。AからQま
で、それぞれお答えください。

人 権 課 題	1 おおいに 関心がある	2 少しは 関心がある	3 どちらとも いえない	4 あまり 関心がない	5 まったく 関心がない
A 女性の人権	1	2	3	4	5
B 子どもの人権	1	2	3	4	5
C 高齢者の人権	1	2	3	4	5
D 障がい者の人権	1	2	3	4	5
E 同和問題	1	2	3	4	5
F 外国人の人権	1	2	3	4	5
G HIV感染者・エイズ患者の人権	1	2	3	4	5
H ハンセン病患者・元患者の人権	1	2	3	4	5
I 刑を終えて出所した人の人権	1	2	3	4	5
J 犯罪被害者の人権	1	2	3	4	5
K インターネットによる人権侵害	1	2	3	4	5
L 性的マイノリティ(性的少数者)の人権	1	2	3	4	5
M 北朝鮮による拉致(らち)問題	1	2	3	4	5
N アイヌ民族の人権	1	2	3	4	5
O ホームレスの人権	1	2	3	4	5
P 人身取引	1	2	3	4	5
Q 被災者の人権	1	2	3	4	5

問4 あなたは、子どもに対する体罰に関して、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

- 1 体罰は認められない
- 2 親による体罰は必要な時があるが、親以外の者は認められない
- 3 時と場合によっては、体罰は必要である
- 4 わからない

問5 虐待を受けたと思われる子どもに気づいた時に、あなたはどのようにしますか。次の中から1つお選びください。

- 1 児童相談所や警察、保健所に通報する
- 2 保育所・学校等に知らせる
- 3 自分の家族に相談する
- 4 知らないふりをする
- 5 その他（具体的に： _____）

問6 子どもへの虐待を防止するために、あなたはどのようなことが必要だとお考えですか。次の中からあなたが最も必要だと思うことを1つお選びください。

- 1 虐待した人を厳しく処罰する
- 2 虐待が疑われる家庭へ行政が介入する
- 3 虐待に関する研修・学習会を行う
- 4 行政による子育て家庭に対する支援サービスを充実する
- 5 地域で子育て家庭を見守る
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 わからない

問7 一人暮らしの高齢者に家や部屋を貸すのを断る家主がいますが、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

- 1 断るべきではない
- 2 近くに家族が住んでいれば、入居させてもよい
- 3 断ってもよい
- 4 わからない

問8 外国人に家や部屋を貸すのを断る家主がいますが、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

- 1 断るべきではない
- 2 滞在目的がしっかりしている場合に限って入居させてもよい
- 3 断ってもよい
- 4 わからない

問9 日本に居住している外国人の人権について、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

- 1 日本国籍をもたない人でも、日本人と同じように人権は守られるべきだ
- 2 日本国籍をもたない人は、日本人と同じような権利をもっていなくても仕方がない
- 3 どちらともいえない
- 4 わからない

問10 性的マイノリティ（同性愛、両性愛、性同一性障がいなどの性的少数者）の人権について、次の問いにお答えください。

①もし、次のA～Cの人が同性愛者だとしたら、あなたはどのように思いますか。次の中からそれぞれ1つお選びください。

区 分	1 本人の思いを受け入れる	2 仕方がない	3 本人の思いを受け入れられない	3 わからない
A 自分の子ども	1	2	3	4
B 兄弟姉妹	1	2	3	4
C 友人	1	2	3	4

②もし、次のA～Cの人が性同一性障がいだとしたら、あなたはどのように思いますか。次の中からそれぞれ1つお選びください。

区 分	1 本人の思いを受け入れる	2 仕方がない	3 本人の思いを受け入れられない	3 わからない
A 自分の子ども	1	2	3	4
B 兄弟姉妹	1	2	3	4
C 友人	1	2	3	4

問11 障がい者が暮らす施設が地域に設置されようとしたときに、地域住民が反対することがありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つお選びください。

- 1 反対する人の気持ちがわからない
- 2 障がい者が暮らす施設は、住宅地から離れたところにつくればよい
- 3 反対する人の気持ちもわかる
- 4 わからない

問 12 もし職場の同僚が刑を終えて出所した人とわかったときに、あなたはどのようにしますか。次の中から 1 つお選びください。

- 1 今までどおり付き合う
- 2 付き合いを減らす
- 3 付き合いをやめる
- 4 わからない

問 13 あなたは、インターネットに関することからで、人権が尊重されていないと思うことはどんなときですか。当てはまるものを すべて お選びください。

- 1 他人を誹謗中傷する表現が掲載されているとき
- 2 個人情報が出回っているとき
- 3 差別を助長する表現や内容が掲載されているとき
- 4 わいせつな画像や残虐な画像が掲載されているとき
- 5 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっているとき
- 6 悪徳商法などの取引の場となっているとき
- 7 その他（具体的に： _____）
- 8 わからない
- 9 人権が尊重されていないと思うことはない

問 14 あなたは、同和問題にかかわる差別（部落差別）を初めて知ったきっかけはどれですか。次の中から 1 つお選びください。

- 1 家族（祖父母・父母・兄弟姉妹など）から
- 2 親戚の人から
- 3 近所の人から
- 4 職場の人から
- 5 学校の友人から
- 6 学校の授業で
- 7 テレビ・新聞・本などで
- 8 人権問題の学習会や研修会で
- 9 県や市の広報紙や冊子で
- 10 はっきり覚えていない
- 11 「同和問題・部落差別」の意味がわからない→(6 ページ問 18 へお進みください。)

問 15 あなたは、今なお同和問題にかかわる差別（部落差別）があると思いますか、思いませんか。次の中から1つお選びください。

- 1 まだまだあると思う
- 2 少しは残っていると思う
- 3 なくなったと思う
- 4 わからない

→ 問 15-2 問 15 で「1」または「2」を選んだ方におたずねします。それはどんなときですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1 結婚のとき
- 2 居住地を聞かれたとき
- 3 就職のとき
- 4 近所付き合いのとき
- 5 職場での付き合いのとき
- 6 インターネットの閲覧のとき
- 7 進学のとき
- 8 その他（具体的に： _____）

問 16 あなたは、この1年間に家族との間で、同和問題をどの程度話題にしましたか。次の中から1つお選びください。

- 1 よく話題にした
- 2 ときどき話題にした
- 3 まったく話題にしなかった
- 4 一人ぐらしで話題にできなかった

問 17 もし家族から同和問題について差別的な話が出たとき、あなたはどのようにしますか。次の中から1つお選びください。

- 1 自分で差別のまちがいを説明する
- 2 説明する自信がないので、そのままにしておく
- 3 自分には関係ないことだから、そのままにしておく
- 4 家族の意見にあわせてしまう
- 5 その他（具体的に： _____）

問 18 あなたは、過去3年間で、人権問題の学習会や研修会などに何回くらい参加しましたか（学校での授業を含みます）。次の中から1つお選びください。

- 1 3年間で1回～2回
- 2 3年間で3回～5回
- 3 3年間で6回以上
- 4 まったくない —————▶(問 18-4 をお答えください)

▶ 問 18-2 問 18 で「1」、「2」、「3」と答えた方にお聞きします。参加したきっかけは次のうちどれですか。主なものを2つ以内でお選びください。

- 1 その問題に関心をもっていたから
- 2 勤務先から参加するようにすすめられたから
- 3 関係団体の役員になっていたから
- 4 知人に参加するように頼まれたから
- 5 授業参観日やPTA行事に、人権教育が組み込まれていたから
- 6 学校行事以外で参加した行事の中に、人権教育が組み込まれていたから
- 7 公共の施設を利用するとき、人権教育が義務づけられていたから
- 8 学校の授業で受けたから
- 9 その他（具体的に： _____）

▶ 問 18-3 問 18 で「1」、「2」、「3」と答えた方にお聞きします。参加して、その内容について総合評価すると、次のどれにあてはまりますか。1つお選びください。

- 1 人権問題の理解に大いに役立った
- 2 人権問題の理解に少しは役立った
- 3 内容がむずかしすぎて、よくわからなかった
- 4 いつも同じような話の内容であった
- 5 話の内容に反発をおぼえた
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 よくおぼえていない

問 18-4 問 18 「4 まったくない」と答えた方にお聞きします。研修・学習会に参加しなかった理由を、次の中から1つお選びください。

- 1 研修・学習会が行われていることを知らなかった
- 2 人権問題のことはすでによく知っていたので参加するまでもない
- 3 参加したかったが、時間的余裕がなかった
- 4 人権問題に関心がない
- 5 その他（具体的に： _____）
- 6 おぼえていない

問 19 平成 28 年 12 月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。
あなたは、この法律のことを知っていますか。知りませんか。次の中から 1
つお選びください。

- 1 法律の内容を知っている
- 2 施行されたことは知っている
- 3 知らない

＊統計的な分析のため必要ですので、あなた自身のことについてお答えください。

問 20 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他 ()

問 21 あなたの年齢は満何歳ですか (2017 年 10 月 1 日現在でお答えください)。

満_____歳

* このアンケートや人権問題について、ご意見やご感想を自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

「人権問題に関する市民意識調査」数値表

問 1 今の日本の社会では人権が尊重されていると思いますか、思いませんか。

	合 計	十分尊重されて いる	どちらともいえ ない	あまり尊重されて いない	まったく尊重され ていない	無回答
総 数	1600	67	513	210	21	20
(性別)						
男 性	679	42	178	96	9	10
女 性	901	25	330	111	9	10
無 回 答	20	0	5	3	3	0
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	6	24	13	2	0
20 歳～29 歳	146	7	60	12	3	1
30 歳～39 歳	201	6	69	31	1	1
40 歳～49 歳	280	17	88	25	3	0
50 歳～59 歳	315	9	100	49	4	3
60 歳～69 歳	317	11	99	43	1	6
70 歳以上	226	11	67	30	5	9
無回答	31	0	6	7	2	0
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	3	11	9	1	0
20 歳～29 歳	68	5	19	5	3	1
30 歳～39 歳	93	4	25	13	0	1
40 歳～49 歳	128	11	36	10	0	0
50 歳～59 歳	116	6	28	24	2	2
60 歳～69 歳	112	5	29	18	1	2
70 歳以上	113	8	30	16	2	4
女性 15 歳～19 歳	36	3	12	4	1	0
20 歳～29 歳	77	2	40	7	0	0
30 歳～39 歳	107	2	44	18	0	0
40 歳～49 歳	152	6	52	15	3	0
50 歳～59 歳	199	3	72	25	2	1
60 歳～69 歳	205	6	70	25	0	4
70 歳以上	113	3	37	14	3	5
無回答	34	0	8	7	3	0

問2 人権問題に、日ごろからの程度関心をお持ちですか。

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	172	836	307	236	28	21
(性別)							
男 性	679	76	340	128	111	15	9
女 性	901	93	487	174	123	12	12
無 回 答	20	3	9	5	2	1	0
(年齢別)							
15歳～19歳	84	6	52	11	10	5	0
20歳～29歳	146	9	66	35	28	7	1
30歳～39歳	201	11	99	48	34	8	1
40歳～49歳	280	23	152	52	50	3	0
50歳～59歳	315	43	153	72	44	0	3
60歳～69歳	317	40	170	49	46	4	8
70歳以上	226	38	128	31	21	0	8
無回答	31	2	16	9	3	1	0
(性・年齢別)							
男性 15歳～19歳	47	2	26	9	7	3	0
20歳～29歳	68	3	31	16	12	5	1
30歳～39歳	93	5	40	24	19	4	1
40歳～49歳	128	13	61	22	30	2	0
50歳～59歳	116	13	56	29	16	0	2
60歳～69歳	112	17	59	16	16	1	3
70歳以上	113	23	66	11	11	0	2
女性 15歳～19歳	36	4	25	2	3	2	0
20歳～29歳	77	6	35	18	16	2	0
30歳～39歳	107	5	59	24	15	4	0
40歳～49歳	152	10	91	30	20	1	0
50歳～59歳	199	30	97	43	28	0	1
60歳～69歳	205	23	111	33	30	3	5
70歳以上	113	15	62	20	10	0	6
無回答	34	3	17	10	3	1	0

問3 あなたは、次のA～Qの人権課題にどの程度関心がありますか。ですか。 AからQまで、それぞれお答えください。
A 女性の人権

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	429	785	253	95	20	18
(性別)							
男 性	679	120	332	147	58	14	8
女 性	901	302	445	102	36	6	10
無 回 答	20	7	8	4	1	0	0
(年齢別)							
15歳～19歳	84	14	38	14	11	7	0
20歳～29歳	146	36	72	25	9	4	0
30歳～39歳	201	47	97	33	22	1	1
40歳～49歳	280	59	158	46	15	1	1
50歳～59歳	315	97	155	48	11	1	3
60歳～69歳	317	102	140	48	20	3	4
70歳以上	226	65	109	34	6	3	9
無回答	31	9	16	5	1	0	0
(性・年齢別)							
男性 15歳～19歳	47	4	21	9	7	6	0
20歳～29歳	68	9	31	16	8	4	0
30歳～39歳	93	14	38	24	16	1	0
40歳～49歳	128	15	70	30	12	1	0
50歳～59歳	116	18	67	24	5	0	2
60歳～69歳	112	29	49	26	8	0	0
70歳以上	113	31	55	17	2	2	6
女性 15歳～19歳	36	10	17	4	4	1	0
20歳～29歳	77	27	41	8	1	0	0
30歳～39歳	107	33	58	9	6	0	1
40歳～49歳	152	44	88	16	3	0	1
50歳～59歳	199	79	88	24	6	1	1
60歳～69歳	205	73	91	22	12	3	4
70歳以上	113	34	54	17	4	1	3
無回答	34	9	17	7	1	0	0

B 子どもの人権

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	587	672	228	83	14	16
(性別)							
男 性	679	232	272	114	49	6	6
女 性	901	347	394	110	33	7	10
無 回 答	20	8	6	4	1	1	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	28	34	8	11	3	0
20 歳～29 歳	146	47	69	21	8	1	0
30 歳～39 歳	201	73	76	36	12	2	2
40 歳～49 歳	280	83	133	42	20	1	1
50 歳～59 歳	315	110	144	47	11	1	2
60 歳～69 歳	317	136	119	39	16	3	4
70 歳以上	226	98	85	30	4	2	7
無回答	31	12	12	5	1	1	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	16	17	4	8	2	0
20 歳～29 歳	68	23	28	10	6	1	0
30 歳～39 歳	93	28	28	28	7	1	1
40 歳～49 歳	128	32	61	22	12	1	0
50 歳～59 歳	116	32	58	19	6	0	1
60 歳～69 歳	112	46	37	20	8	0	1
70 歳以上	113	55	41	11	2	1	3
女性 15 歳～19 歳	36	12	17	3	3	1	0
20 歳～29 歳	77	24	41	10	2	0	0
30 歳～39 歳	107	45	47	8	5	1	1
40 歳～49 歳	152	51	72	20	8	0	1
50 歳～59 歳	199	78	86	28	5	1	1
60 歳～69 歳	205	90	82	19	8	3	3
70 歳以上	113	43	44	19	2	1	4
無回答	34	12	13	7	1	1	0

C 高齢者の人権

	合 計	おおいに関心がある	少しは関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
総 数	1600	444	682	322	121	17	14
(性別)							
男 性	679	152	288	155	72	9	3
女 性	901	284	386	165	47	8	11
無 回 答	20	8	8	2	2	0	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	9	32	23	13	6	1
20 歳～29 歳	146	29	61	41	13	2	0
30 歳～39 歳	201	37	72	57	30	4	1
40 歳～49 歳	280	44	147	60	28	0	1
50 歳～59 歳	315	94	138	64	12	3	4
60 歳～69 歳	317	124	125	44	18	2	4
70 歳以上	226	99	90	28	6	0	3
無回答	31	8	17	5	1	0	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	5	16	15	6	4	1
20 歳～29 歳	68	9	30	18	9	2	0
30 歳～39 歳	93	11	29	31	19	3	0
40 歳～49 歳	128	18	65	26	19	0	0
50 歳～59 歳	116	24	63	23	5	0	1
60 歳～69 歳	112	36	40	26	10	0	0
70 歳以上	113	49	43	16	4	0	1
女性 15 歳～19 歳	36	4	16	7	7	2	0
20 歳～29 歳	77	19	31	23	4	0	0
30 歳～39 歳	107	26	43	26	10	1	1
40 歳～49 歳	152	26	82	34	9	0	1
50 歳～59 歳	199	70	75	41	7	3	3
60 歳～69 歳	205	88	85	18	8	2	4
70 歳以上	113	50	47	12	2	0	2
無回答	34	9	17	6	2	0	0

D 障がい者の人権

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	524	702	265	75	12	22
(性別)							
男 性	679	206	303	115	43	6	6
女 性	901	309	391	148	31	6	16
無 回 答	20	9	8	2	1	0	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	21	36	14	8	3	2
20 歳～29 歳	146	43	67	29	3	3	1
30 歳～39 歳	201	49	94	38	17	2	1
40 歳～49 歳	280	71	144	51	13	0	1
50 歳～59 歳	315	109	137	53	11	2	3
60 歳～69 歳	317	121	128	47	14	2	5
70 歳以上	226	101	82	27	7	0	9
無回答	31	9	14	6	2	0	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	12	18	9	5	2	1
20 歳～29 歳	68	15	36	10	3	3	1
30 歳～39 歳	93	16	46	18	12	1	0
40 歳～49 歳	128	33	59	27	9	0	0
50 歳～59 歳	116	35	60	15	5	0	1
60 歳～69 歳	112	43	45	18	6	0	0
70 歳以上	113	51	38	18	3	0	3
女性 15 歳～19 歳	36	9	17	5	3	1	1
20 歳～29 歳	77	27	31	19	0	0	0
30 歳～39 歳	107	32	48	20	5	1	1
40 歳～49 歳	152	38	85	24	4	0	1
50 歳～59 歳	199	74	77	38	6	2	2
60 歳～69 歳	205	78	83	29	8	2	5
70 歳以上	113	50	44	9	4	0	6
無回答	34	11	15	6	2	0	0

E 同和問題

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	180	495	530	290	84	21
(性別)							
男 性	679	78	216	210	125	45	5
女 性	901	97	274	313	162	39	16
無 回 答	20	5	5	7	3	0	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	16	17	25	18	7	1
20 歳～29 歳	146	8	36	56	33	12	1
30 歳～39 歳	201	12	62	76	33	17	1
40 歳～49 歳	280	24	96	86	59	14	1
50 歳～59 歳	315	46	106	102	52	8	1
60 歳～69 歳	317	41	94	105	51	20	6
70 歳以上	226	29	78	65	39	6	9
無回答	31	4	6	15	5	0	1
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	9	6	17	9	5	1
20 歳～29 歳	68	1	20	22	15	10	0
30 歳～39 歳	93	6	23	34	17	13	0
40 歳～49 歳	128	13	46	36	26	7	0
50 歳～59 歳	116	12	47	38	17	1	1
60 歳～69 歳	112	20	31	35	22	4	0
70 歳以上	113	17	43	26	19	5	3
女性 15 歳～19 歳	36	7	10	8	9	2	0
20 歳～29 歳	77	7	16	33	18	2	1
30 歳～39 歳	107	5	39	42	16	4	1
40 歳～49 歳	152	11	50	50	33	7	1
50 歳～59 歳	199	34	59	64	35	7	0
60 歳～69 歳	205	21	63	70	29	16	6
70 歳以上	113	12	35	39	20	1	6
無回答	34	5	7	16	5	0	1

F 外国人の人權

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	139	480	590	304	64	23
(性別)							
男 性	679	67	207	231	136	32	6
女 性	901	69	269	350	165	31	17
無 回 答	20	3	4	9	3	1	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	14	26	24	12	6	2
20 歳～29 歳	146	8	45	55	30	7	1
30 歳～39 歳	201	13	58	82	38	9	1
40 歳～49 歳	280	18	75	114	64	7	2
50 歳～59 歳	315	31	103	112	62	5	2
60 歳～69 歳	317	35	95	116	46	18	7
70 歳以上	226	17	74	73	43	11	8
無回答	31	3	4	14	9	1	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	10	12	13	7	4	1
20 歳～29 歳	68	4	26	21	11	6	0
30 歳～39 歳	93	9	19	34	26	5	0
40 歳～49 歳	128	9	32	50	33	4	0
50 歳～59 歳	116	10	39	42	22	2	1
60 歳～69 歳	112	16	36	35	18	6	1
70 歳以上	113	9	42	35	19	5	3
女性 15 歳～19 歳	36	4	13	11	5	2	1
20 歳～29 歳	77	4	19	33	19	1	1
30 歳～39 歳	107	4	38	48	12	4	1
40 歳～49 歳	152	9	43	64	31	3	2
50 歳～59 歳	199	21	64	70	40	3	1
60 歳～69 歳	205	19	59	81	28	12	6
70 歳以上	113	8	32	38	24	6	5
無回答	34	3	6	15	9	1	0

G HIV感染者・エイズ患者の人権

	合 計	おおいに関心がある	少しは関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
総 数	1600	154	513	576	280	53	24
(性別)							
男 性	679	56	218	238	130	31	6
女 性	901	94	290	331	147	21	18
無 回 答	20	4	5	7	3	1	0
(年齢別)							
15歳～19歳	84	8	17	35	16	7	1
20歳～29歳	146	9	50	57	26	4	0
30歳～39歳	201	10	60	77	42	10	2
40歳～49歳	280	17	92	117	47	3	4
50歳～59歳	315	39	102	116	49	7	2
60歳～69歳	317	39	109	100	43	19	7
70歳以上	226	29	75	63	49	2	8
無回答	31	3	8	11	8	1	0
(性・年齢別)							
男性 15歳～19歳	47	3	9	21	8	5	1
20歳～29歳	68	2	25	26	11	4	0
30歳～39歳	93	4	23	29	29	8	0
40歳～49歳	128	10	42	46	28	2	0
50歳～59歳	116	7	40	50	15	3	1
60歳～69歳	112	15	37	33	18	8	1
70歳以上	113	15	41	32	21	1	3
女性 15歳～19歳	36	5	7	14	8	2	0
20歳～29歳	77	6	25	31	15	0	0
30歳～39歳	107	6	36	48	13	2	2
40歳～49歳	152	7	50	71	19	1	4
50歳～59歳	199	32	62	66	34	4	1
60歳～69歳	205	24	72	67	25	11	6
70歳以上	113	14	34	31	28	1	5
無回答	34	4	10	11	8	1	0

H ハンセン病患者・元患者の人権

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	203	486	555	277	63	16
(性別)							
男 性	679	81	207	225	124	36	6
女 性	901	117	277	321	149	27	10
無 回 答	20	5	2	9	4	0	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	11	19	30	17	6	1
20 歳～29 歳	146	11	46	51	29	9	0
30 歳～39 歳	201	13	48	75	51	13	1
40 歳～49 歳	280	21	92	106	51	8	2
50 歳～59 歳	315	45	100	112	49	7	2
60 歳～69 歳	317	53	100	104	42	13	5
70 歳以上	226	45	76	64	29	7	5
無回答	31	4	5	13	9	0	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	7	12	16	7	4	1
20 歳～29 歳	68	5	21	23	11	8	0
30 歳～39 歳	93	6	20	28	29	10	0
40 歳～49 歳	128	12	37	42	32	4	1
50 歳～59 歳	116	7	40	51	15	1	2
60 歳～69 歳	112	19	35	36	17	5	0
70 歳以上	113	25	41	28	13	4	2
女性 15 歳～19 歳	36	3	7	14	10	2	0
20 歳～29 歳	77	6	25	27	18	1	0
30 歳～39 歳	107	7	28	47	21	3	1
40 歳～49 歳	152	9	55	64	19	4	1
50 歳～59 歳	199	38	60	61	34	6	0
60 歳～69 歳	205	34	65	68	25	8	5
70 歳以上	113	20	35	36	16	3	3
無回答	34	5	5	14	10	0	0

Ⅰ 刑を終えて出所した人の人権

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	123	469	557	311	117	23
(性別)							
男 性	679	49	214	213	133	63	7
女 性	901	69	252	339	173	52	16
無 回 答	20	5	3	5	5	2	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	10	17	24	22	10	1
20 歳～29 歳	146	12	39	47	30	17	1
30 歳～39 歳	201	6	55	64	48	27	1
40 歳～49 歳	280	12	87	92	68	19	2
50 歳～59 歳	315	25	88	130	53	17	2
60 歳～69 歳	317	28	93	119	51	19	7
70 歳以上	226	26	85	70	30	6	9
無回答	31	4	5	11	9	2	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	6	9	12	13	6	1
20 歳～29 歳	68	7	16	22	12	10	1
30 歳～39 歳	93	1	28	25	23	16	0
40 歳～49 歳	128	8	37	39	31	13	0
50 歳～59 歳	116	5	37	48	18	7	1
60 歳～69 歳	112	6	39	37	21	8	1
70 歳以上	113	15	48	29	15	3	3
女性 15 歳～19 歳	36	3	8	12	9	4	0
20 歳～29 歳	77	4	23	25	18	7	0
30 歳～39 歳	107	5	27	39	25	10	1
40 歳～49 歳	152	4	50	53	37	6	2
50 歳～59 歳	199	20	51	82	35	10	1
60 歳～69 歳	205	22	54	82	30	11	6
70 歳以上	113	11	37	41	15	3	6
無回答	34	6	5	11	9	3	0

Ｊ 犯罪被害者の人権

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	389	579	401	163	51	17
(性別)							
男 性	679	173	241	156	77	27	5
女 性	901	210	333	238	84	24	12
無 回 答	20	6	5	7	2	0	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	12	25	24	15	7	1
20 歳～29 歳	146	24	60	37	15	10	0
30 歳～39 歳	201	36	82	48	25	8	2
40 歳～49 歳	280	61	122	65	24	8	0
50 歳～59 歳	315	83	116	83	25	5	3
60 歳～69 歳	317	93	97	82	31	9	5
70 歳以上	226	72	67	54	23	4	6
無回答	31	8	10	8	5	0	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	9	13	14	4	6	1
20 歳～29 歳	68	11	27	15	8	7	0
30 歳～39 歳	93	19	39	19	13	3	0
40 歳～49 歳	128	30	49	27	16	6	0
50 歳～59 歳	116	26	46	31	8	2	3
60 歳～69 歳	112	35	32	28	16	0	1
70 歳以上	113	42	34	22	12	3	0
女性 15 歳～19 歳	36	3	11	10	11	1	0
20 歳～29 歳	77	13	33	21	7	3	0
30 歳～39 歳	107	17	43	28	12	5	2
40 歳～49 歳	152	31	73	38	8	2	0
50 歳～59 歳	199	57	70	52	17	3	0
60 歳～69 歳	205	58	65	54	15	9	4
70 歳以上	113	30	33	32	11	1	6
無回答	34	8	11	10	5	0	0

K インターネットによる人権侵害

	合 計	おおいに関心がある	少しは関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答						
総 数	1600	451	28.2%	642	40.1%	309	19.3%	135	8.4%	44	2.8%	19	1.2%
(性別)													
男 性	679	183	27.0%	275	40.5%	131	19.3%	65	9.6%	21	3.1%	4	0.6%
女 性	901	262	29.1%	359	39.8%	175	19.4%	67	7.4%	23	2.6%	15	1.7%
無 回 答	20	6	30.0%	8	40.0%	3	15.0%	3	15.0%	0	0.0%	0	0.0%
(年齢別)													
15 歳 ～ 19 歳	84	22	26.2%	37	44.0%	16	19.0%	6	7.1%	3	3.6%	0	0.0%
20 歳 ～ 29 歳	146	33	22.6%	66	45.2%	30	20.5%	14	9.6%	3	2.1%	0	0.0%
30 歳 ～ 39 歳	201	53	26.4%	84	41.8%	44	21.9%	14	7.0%	5	2.5%	1	0.5%
40 歳 ～ 49 歳	280	80	28.6%	135	48.2%	53	18.9%	9	3.2%	2	0.7%	1	0.4%
50 歳 ～ 59 歳	315	107	34.0%	121	38.4%	59	18.7%	21	6.7%	5	1.6%	2	0.6%
60 歳 ～ 69 歳	317	97	30.6%	109	34.4%	62	19.6%	30	9.5%	12	3.8%	7	2.2%
70 歳 以上	226	50	22.1%	76	33.6%	43	19.0%	36	15.9%	14	6.2%	7	3.1%
無回答	31	9	29.0%	14	45.2%	2	6.5%	5	16.1%	0	0.0%	1	3.2%
(性・年齢別)													
男性 15 歳 ～ 19 歳	47	12	25.5%	21	44.7%	9	19.1%	3	6.4%	2	4.3%	0	0.0%
20 歳 ～ 29 歳	68	18	26.5%	25	36.8%	15	22.1%	7	10.3%	3	4.4%	0	0.0%
30 歳 ～ 39 歳	93	25	26.9%	33	35.5%	24	25.8%	9	9.7%	2	2.2%	0	0.0%
40 歳 ～ 49 歳	128	33	25.8%	62	48.4%	25	19.5%	6	4.7%	2	1.6%	0	0.0%
50 歳 ～ 59 歳	116	35	30.2%	50	43.1%	19	16.4%	8	6.9%	3	2.6%	1	0.9%
60 歳 ～ 69 歳	112	32	28.6%	46	41.1%	20	17.9%	11	9.8%	3	2.7%	0	0.0%
70 歳 以上	113	28	24.8%	36	31.9%	19	16.8%	21	18.6%	6	5.3%	3	2.7%
女性 15 歳 ～ 19 歳	36	10	27.8%	15	41.7%	7	19.4%	3	8.3%	1	2.8%	0	0.0%
20 歳 ～ 29 歳	77	15	19.5%	41	53.2%	14	18.2%	7	9.1%	0	0.0%	0	0.0%
30 歳 ～ 39 歳	107	28	26.2%	50	46.7%	20	18.7%	5	4.7%	3	2.8%	1	0.9%
40 歳 ～ 49 歳	152	47	30.9%	73	48.0%	28	18.4%	3	2.0%	0	0.0%	1	0.7%
50 歳 ～ 59 歳	199	72	36.2%	71	35.7%	40	20.1%	13	6.5%	2	1.0%	1	0.5%
60 歳 ～ 69 歳	205	65	31.7%	63	30.7%	42	20.5%	19	9.3%	9	4.4%	7	3.4%
70 歳 以上	113	22	19.5%	40	35.4%	24	21.2%	15	13.3%	8	7.1%	4	3.5%
無回答	34	9	26.5%	16	47.1%	3	8.8%	5	14.7%	0	0.0%	1	2.9%

Ｌ 性的マイノリティ（性的少数者）の人権

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	183	501	580	259	61	16
(性別)							
男 性	679	63	207	242	129	34	4
女 性	901	116	289	330	127	27	12
無 回 答	20	4	5	8	3	0	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	11	20	36	12	4	1
20 歳～29 歳	146	17	52	44	24	9	0
30 歳～39 歳	201	26	64	76	28	6	1
40 歳～49 歳	280	25	104	102	44	5	0
50 歳～59 歳	315	45	106	113	44	5	2
60 歳～69 歳	317	35	83	121	55	18	5
70 歳以上	226	22	65	72	47	13	7
無回答	31	2	7	16	5	1	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	4	10	22	7	3	1
20 歳～29 歳	68	7	22	21	11	7	0
30 歳～39 歳	93	7	28	38	16	4	0
40 歳～49 歳	128	13	38	44	29	4	0
50 歳～59 歳	116	11	41	39	21	3	1
60 歳～69 歳	112	11	32	41	20	7	1
70 歳以上	113	10	35	36	25	6	1
女性 15 歳～19 歳	36	6	10	14	5	1	0
20 歳～29 歳	77	10	30	22	13	2	0
30 歳～39 歳	107	18	36	38	12	2	1
40 歳～49 歳	152	12	66	58	15	1	0
50 歳～59 歳	199	34	65	74	23	2	1
60 歳～69 歳	205	24	51	80	35	11	4
70 歳以上	113	12	30	36	22	7	6
無回答	34	4	7	17	5	1	0

M 北朝鮮による拉致問題

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答						
総 数	1600	497	31.1%	630	39.4%	305	19.1%	113	7.1%	25	1.6%	30	1.9%
(性別)													
男 性	679	226	33.3%	255	37.6%	116	17.1%	57	8.4%	19	2.8%	6	0.9%
女 性	901	263	29.2%	368	40.8%	186	20.6%	54	6.0%	6	0.7%	24	2.7%
無 回 答	20	8	40.0%	7	35.0%	3	15.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
(年齢別)													
15 歳～19 歳	84	17	20.2%	37	44.0%	17	20.2%	6	7.1%	5	6.0%	2	2.4%
20 歳～29 歳	146	20	13.7%	59	40.4%	38	26.0%	22	15.1%	7	4.8%	0	0.0%
30 歳～39 歳	201	24	11.9%	74	36.8%	69	34.3%	24	11.9%	9	4.5%	1	0.5%
40 歳～49 歳	280	62	22.1%	120	42.9%	63	22.5%	30	10.7%	1	0.4%	4	1.4%
50 歳～59 歳	315	107	34.0%	135	42.9%	54	17.1%	15	4.8%	1	0.3%	3	1.0%
60 歳～69 歳	317	139	43.8%	112	35.3%	42	13.2%	11	3.5%	2	0.6%	11	3.5%
70 歳以上	226	116	51.3%	82	36.3%	17	7.5%	3	1.3%	0	0.0%	8	3.5%
無回答	31	12	38.7%	11	35.5%	5	16.1%	2	6.5%	0	0.0%	1	3.2%
(性・年齢別)													
男性 15 歳～19 歳	47	9	19.1%	19	40.4%	10	21.3%	3	6.4%	4	8.5%	2	4.3%
20 歳～29 歳	68	8	11.8%	26	38.2%	15	22.1%	14	20.6%	5	7.4%	0	0.0%
30 歳～39 歳	93	12	12.9%	34	36.6%	30	32.3%	9	9.7%	8	8.6%	0	0.0%
40 歳～49 歳	128	37	28.9%	48	37.5%	23	18.0%	18	14.1%	1	0.8%	1	0.8%
50 歳～59 歳	116	42	36.2%	51	44.0%	17	14.7%	5	4.3%	0	0.0%	1	0.9%
60 歳～69 歳	112	54	48.2%	37	33.0%	12	10.7%	7	6.3%	1	0.9%	1	0.9%
70 歳以上	113	63	55.8%	40	35.4%	8	7.1%	1	0.9%	0	0.0%	1	0.9%
女性 15 歳～19 歳	36	8	22.2%	18	50.0%	6	16.7%	3	8.3%	1	2.8%	0	0.0%
20 歳～29 歳	77	12	15.6%	33	42.9%	22	28.6%	8	10.4%	2	2.6%	0	0.0%
30 歳～39 歳	107	12	11.2%	40	37.4%	39	36.4%	14	13.1%	1	0.9%	1	0.9%
40 歳～49 歳	152	25	16.4%	72	47.4%	40	26.3%	12	7.9%	0	0.0%	3	2.0%
50 歳～59 歳	199	65	32.7%	84	42.2%	37	18.6%	10	5.0%	1	0.5%	2	1.0%
60 歳～69 歳	205	85	41.5%	75	36.6%	30	14.6%	4	2.0%	1	0.5%	10	4.9%
70 歳以上	113	53	46.9%	42	37.2%	9	8.0%	2	1.8%	0	0.0%	7	6.2%
無回答	34	12	35.3%	11	32.4%	7	20.6%	3	8.8%	0	0.0%	1	2.9%

N アイヌの人々の人権

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	159	365	576	330	147	23
(性別)							
男 性	679	71	156	236	131	77	8
女 性	901	82	207	333	194	70	15
無 回 答	20	6	2	7	5	0	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	8	22	24	19	10	1
20 歳～29 歳	146	6	30	51	36	23	0
30 歳～39 歳	201	5	29	88	50	27	2
40 歳～49 歳	280	17	56	112	63	31	1
50 歳～59 歳	315	32	81	119	61	21	1
60 歳～69 歳	317	45	78	110	50	24	10
70 歳以上	226	41	65	59	43	10	8
無回答	31	5	4	13	8	1	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	4	10	15	9	8	1
20 歳～29 歳	68	2	10	25	15	16	0
30 歳～39 歳	93	1	15	36	21	19	1
40 歳～49 歳	128	11	23	49	28	17	0
50 歳～59 歳	116	9	34	48	19	5	1
60 歳～69 歳	112	18	28	38	20	6	2
70 歳以上	113	26	35	24	19	6	3
女性 15 歳～19 歳	36	4	12	8	10	2	0
20 歳～29 歳	77	3	20	26	21	7	0
30 歳～39 歳	107	4	14	52	28	8	1
40 歳～49 歳	152	6	33	63	35	14	1
50 歳～59 歳	199	23	47	71	42	16	0
60 歳～69 歳	205	27	50	72	30	18	8
70 歳以上	113	15	30	35	24	4	5
無回答	34	6	4	14	9	1	0

○ ホームレスの人権

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	101	401	632	344	103	19
(性別)							
男 性	679	42	155	265	153	59	5
女 性	901	55	243	358	188	43	14
無 回 答	20	4	3	9	3	1	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	7	20	24	23	9	1
20 歳～29 歳	146	7	35	64	27	13	0
30 歳～39 歳	201	4	35	94	49	17	2
40 歳～49 歳	280	11	58	121	71	17	2
50 歳～59 歳	315	20	83	126	71	13	2
60 歳～69 歳	317	27	91	114	56	24	5
70 歳以上	226	22	74	72	41	10	7
無回答	31	3	5	17	6	0	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	4	10	16	9	7	1
20 歳～29 歳	68	3	11	31	14	9	0
30 歳～39 歳	93	2	13	37	29	12	0
40 歳～49 歳	128	6	24	52	37	9	0
50 歳～59 歳	116	5	24	55	25	5	2
60 歳～69 歳	112	10	30	42	18	12	0
70 歳以上	113	12	42	31	21	5	2
女性 15 歳～19 歳	36	3	9	8	14	2	0
20 歳～29 歳	77	3	24	33	13	4	0
30 歳～39 歳	107	2	22	57	20	4	2
40 歳～49 歳	152	5	34	69	34	8	2
50 歳～59 歳	199	15	59	71	46	8	0
60 歳～69 歳	205	17	61	72	38	12	5
70 歳以上	113	10	32	41	20	5	5
無回答	34	4	6	17	6	1	0

P 人身取引

	合 計	おおいに関心が ある	少しは関心がある	どちらともいえ ない	あまり関心がない	まったく関心が ない	無回答
総 数	1600	296	455	541	216	73	19
(性別)							
男 性	679	134	188	214	92	45	6
女 性	901	157	266	318	121	26	13
無 回 答	20	5	1	9	3	2	0
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	9	20	33	11	9	2
20 歳～29 歳	146	11	46	55	19	15	0
30 歳～39 歳	201	20	50	89	31	11	0
40 歳～49 歳	280	29	95	104	44	7	1
50 歳～59 歳	315	60	93	113	44	4	1
60 歳～69 歳	317	89	80	92	38	13	5
70 歳以上	226	72	64	44	24	12	10
無回答	31	6	7	11	5	2	0
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	6	9	19	4	7	2
20 歳～29 歳	68	4	20	23	8	13	0
30 歳～39 歳	93	12	21	36	16	8	0
40 歳～49 歳	128	17	42	44	20	5	0
50 歳～59 歳	116	20	33	42	17	3	1
60 歳～69 歳	112	34	28	30	15	5	0
70 歳以上	113	41	33	20	12	4	3
女性 15 歳～19 歳	36	3	11	13	7	2	0
20 歳～29 歳	77	7	26	31	11	2	0
30 歳～39 歳	107	8	29	52	15	3	0
40 歳～49 歳	152	12	53	60	24	2	1
50 歳～59 歳	199	40	60	71	27	1	0
60 歳～69 歳	205	55	52	62	23	8	5
70 歳以上	113	31	31	24	12	8	7
無回答	34	6	7	14	5	2	0

Q 被災者の人権

	合 計	おおいに関心がある	少しは関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答						
総 数	1600	515	32.2%	693	43.3%	297	18.6%	66	4.1%	18	1.1%	11	0.7%
(性別)													
男	679	222	32.7%	279	41.1%	128	18.9%	36	5.3%	13	1.9%	1	0.1%
女	901	286	31.7%	410	45.5%	162	18.0%	28	3.1%	5	0.6%	10	1.1%
無 回 答	20	7	35.0%	4	20.0%	7	35.0%	2	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
(年齢別)													
15 歳 ～ 19 歳	84	24	28.6%	36	42.9%	16	19.0%	3	3.6%	5	6.0%	0	0.0%
20 歳 ～ 29 歳	146	35	24.0%	73	50.0%	25	17.1%	10	6.8%	3	2.1%	0	0.0%
30 歳 ～ 39 歳	201	41	20.4%	86	42.8%	60	29.9%	10	5.0%	3	1.5%	1	0.5%
40 歳 ～ 49 歳	280	68	24.3%	143	51.1%	53	18.9%	13	4.6%	2	0.7%	1	0.4%
50 歳 ～ 59 歳	315	101	32.1%	143	45.4%	58	18.4%	9	2.9%	3	1.0%	1	0.3%
60 歳 ～ 69 歳	317	127	40.1%	121	38.2%	53	16.7%	12	3.8%	1	0.3%	3	0.9%
70 歳 以上	226	109	48.2%	78	34.5%	26	11.5%	7	3.1%	1	0.4%	5	2.2%
無回答	31	10	32.3%	13	41.9%	6	19.4%	2	6.5%	0	0.0%	0	0.0%
(性・年齢別)													
男性 15 歳 ～ 19 歳	47	17	36.2%	18	38.3%	8	17.0%	1	2.1%	3	6.4%	0	0.0%
20 歳 ～ 29 歳	68	16	23.5%	30	44.1%	11	16.2%	8	11.8%	3	4.4%	0	0.0%
30 歳 ～ 39 歳	93	17	18.3%	35	37.6%	31	33.3%	8	8.6%	2	2.2%	0	0.0%
40 歳 ～ 49 歳	128	37	28.9%	55	43.0%	26	20.3%	8	6.3%	2	1.6%	0	0.0%
50 歳 ～ 59 歳	116	31	26.7%	60	51.7%	18	15.5%	4	3.4%	2	1.7%	1	0.9%
60 歳 ～ 69 歳	112	46	41.1%	41	36.6%	20	17.9%	4	3.6%	1	0.9%	0	0.0%
70 歳 以上	113	57	50.4%	39	34.5%	14	12.4%	3	2.7%	0	0.0%	0	0.0%
女性 15 歳 ～ 19 歳	36	7	19.4%	18	50.0%	7	19.4%	2	5.6%	2	5.6%	0	0.0%
20 歳 ～ 29 歳	77	19	24.7%	43	55.8%	13	16.9%	2	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
30 歳 ～ 39 歳	107	24	22.4%	50	46.7%	29	27.1%	2	1.9%	1	0.9%	1	0.9%
40 歳 ～ 49 歳	152	31	20.4%	88	57.9%	27	17.8%	5	3.3%	0	0.0%	1	0.7%
50 歳 ～ 59 歳	199	70	35.2%	83	41.7%	40	20.1%	5	2.5%	1	0.5%	0	0.0%
60 歳 ～ 69 歳	205	81	39.5%	80	39.0%	33	16.1%	8	3.9%	0	0.0%	3	1.5%
70 歳 以上	113	52	46.0%	39	34.5%	12	10.6%	4	3.5%	1	0.9%	5	4.4%
無回答	34	10	29.4%	14	41.2%	8	23.5%	2	5.9%	0	0.0%	0	0.0%

問 4 子どもに対する体罰に関して、どのようなお考えですか。

	合 計	体罰は認められ ない	親の体罰は時には必要、 親以外の者は認められない	時と場合によっては、 体罰は必要である	わからない	無回答
総 数	1600	451	252	827	64	6
(性別)						
男 性	679	150	104	408	15	2
女 性	901	294	144	411	48	4
無 回 答	20	7	4	8	1	0
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	50	11	20	3	0
20 歳～29 歳	146	53	22	66	5	0
30 歳～39 歳	201	61	36	94	10	0
40 歳～49 歳	280	62	39	165	14	0
50 歳～59 歳	315	81	42	177	14	1
60 歳～69 歳	317	83	47	173	11	3
70 歳以上	226	49	49	123	3	2
無回答	31	12	6	9	4	0
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	24	8	14	1	0
20 歳～29 歳	68	19	11	36	2	0
30 歳～39 歳	93	21	14	53	5	0
40 歳～49 歳	128	21	17	88	2	0
50 歳～59 歳	116	16	15	83	2	0
60 歳～69 歳	112	29	11	70	1	1
70 歳以上	113	19	28	63	2	1
女性 15 歳～19 歳	36	26	3	5	2	0
20 歳～29 歳	77	34	11	29	3	0
30 歳～39 歳	107	40	22	40	5	0
40 歳～49 歳	152	41	22	77	12	0
50 歳～59 歳	199	65	27	94	12	1
60 歳～69 歳	205	54	36	103	10	2
70 歳以上	113	30	21	60	1	1
無回答	34	12	6	12	4	0

問 5 虐待を受けたと思われる子どもに気づいたときに、あなたはどのようにしますか。

	合 計	児童相談所や警察、 保健所に通報する	保育所・学校等に 知らせる	自分の家族に相談 する	知らないふりを する	その他	無回答
総 数	1600	732	245	533	35	38	17
(性別)							
男 性	679	329	131	176	21	17	5
女 性	901	395	111	351	14	21	9
無 回 答	20	8	3	6	0	0	3
(年齢別)							
15 歳～19 歳	84	25	13	38	3	4	1
20 歳～29 歳	146	55	17	64	4	5	1
30 歳～39 歳	201	82	25	84	5	5	0
40 歳～49 歳	280	123	51	93	7	6	0
50 歳～59 歳	315	145	45	108	6	9	2
60 歳～69 歳	317	162	48	89	5	6	7
70 歳以上	226	125	43	46	5	3	4
無回答	31	15	3	11	0	0	2
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	47	14	6	21	2	3	1
20 歳～29 歳	68	31	12	21	3	1	0
30 歳～39 歳	93	44	14	31	2	2	0
40 歳～49 歳	128	53	27	40	5	3	0
50 歳～59 歳	116	59	22	31	2	2	0
60 歳～69 歳	112	63	21	18	3	4	3
70 歳以上	113	64	29	13	4	2	1
女性 15 歳～19 歳	36	11	6	17	1	1	0
20 歳～29 歳	77	24	5	43	1	4	0
30 歳～39 歳	107	37	11	53	3	3	0
40 歳～49 歳	152	70	24	53	2	3	0
50 歳～59 歳	199	86	23	77	4	7	2
60 歳～69 歳	205	99	27	71	2	2	4
70 歳以上	113	61	14	33	1	1	3
無回答	34	16	4	11	0	0	3

問 6 子どもへの虐待を防止するために、あなたはどのようなことが必要だとお考えですか。

	合計	虐待した人を 厳しく処罰する	虐待が疑われる家庭 へ行政が介入する	虐待に関する研 修・学習会を行う	行政による子育て家庭に対す る支援サービスを充実する	地域で子育て 家庭を見守る	その他	わからない	無回答
総 数	1600	261 16.3%	582 36.4%	98 6.1%	322 20.1%	197 12.3%	24 1.5%	90 5.6%	26 1.6%
(性別)									
男 性	679	152 22.4%	256 37.7%	38 5.6%	96 14.1%	86 12.7%	12 1.8%	30 4.4%	9 1.3%
女 性	901	102 11.3%	322 35.7%	59 6.5%	221 24.5%	109 12.1%	12 1.3%	60 6.7%	16 1.8%
無 回 答	20	7 35.0%	4 20.0%	1 5.0%	5 25.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%
(年齢別)									
15歳～19歳	84	15 17.9%	29 34.5%	10 11.9%	14 16.7%	7 8.3%	1 1.2%	8 9.5%	0 0.0%
20歳～29歳	146	31 21.2%	49 33.6%	5 3.4%	32 21.9%	18 12.3%	3 2.1%	7 4.8%	1 0.7%
30歳～39歳	201	42 20.9%	68 33.8%	9 4.5%	43 21.4%	22 10.9%	6 3.0%	11 5.5%	0 0.0%
40歳～49歳	280	43 15.4%	112 40.0%	13 4.6%	55 19.6%	35 12.5%	4 1.4%	14 5.0%	4 1.4%
50歳～59歳	315	41 13.0%	130 41.3%	19 6.0%	60 19.0%	41 13.0%	6 1.9%	16 5.1%	2 0.6%
60歳～69歳	317	54 17.0%	98 30.9%	25 7.9%	74 23.3%	37 11.7%	3 0.9%	19 6.0%	7 2.2%
70歳以上	226	29 12.8%	87 38.5%	16 7.1%	38 16.8%	32 14.2%	1 0.4%	14 6.2%	9 4.0%
無回答	31	6 19.4%	9 29.0%	1 3.2%	6 19.4%	5 16.1%	0 0.0%	1 3.2%	3 9.7%
(性・年齢別)									
男性 15歳～19歳	47	12 25.5%	17 36.2%	6 12.8%	4 8.5%	4 8.5%	1 2.1%	3 6.4%	0 0.0%
20歳～29歳	68	17 25.0%	26 38.2%	3 4.4%	13 19.1%	7 10.3%	2 2.9%	0 0.0%	0 0.0%
30歳～39歳	93	23 24.7%	35 37.6%	7 7.5%	10 10.8%	13 14.0%	2 2.2%	3 3.2%	0 0.0%
40歳～49歳	128	28 21.9%	53 41.4%	2 1.6%	17 13.3%	18 14.1%	2 1.6%	5 3.9%	3 2.3%
50歳～59歳	116	23 19.8%	49 42.2%	2 1.7%	15 12.9%	18 15.5%	4 3.4%	5 4.3%	0 0.0%
60歳～69歳	112	27 24.1%	34 30.4%	8 7.1%	20 17.9%	13 11.6%	0 0.0%	7 6.3%	3 2.7%
70歳以上	113	22 19.5%	41 36.3%	10 8.8%	17 15.0%	12 10.6%	1 0.9%	7 6.2%	3 2.7%
女性 15歳～19歳	36	3 8.3%	12 33.3%	4 11.1%	9 25.0%	3 8.3%	0 0.0%	5 13.9%	0 0.0%
20歳～29歳	77	14 18.2%	23 29.9%	2 2.6%	18 23.4%	11 14.3%	1 1.3%	7 9.1%	1 1.3%
30歳～39歳	107	18 16.8%	33 30.8%	2 1.9%	33 30.8%	9 8.4%	4 3.7%	8 7.5%	0 0.0%
40歳～49歳	152	15 9.9%	59 38.8%	11 7.2%	38 25.0%	17 11.2%	2 1.3%	9 5.9%	1 0.7%
50歳～59歳	199	18 9.0%	81 40.7%	17 8.5%	45 22.6%	23 11.6%	2 1.0%	11 5.5%	2 1.0%
60歳～69歳	205	27 13.2%	64 31.2%	17 8.3%	54 26.3%	24 11.7%	3 1.5%	12 5.9%	4 2.0%
70歳以上	113	7 6.2%	46 40.7%	6 8.3%	21 18.6%	20 17.7%	0 0.0%	7 6.2%	6 5.3%
無回答	34	7 20.6%	9 26.5%	1 5.3%	8 23.5%	5 14.7%	0 0.0%	1 2.9%	3 8.8%

問7 一人暮らしの高齢者に家や部屋を貸すのを断る家主がいますが、あなたはどのようにお考えですか。

	合 計	断るべきではない	近くに家族が住んでい れば、入居させてよい	断ってもよい	わからない	無回答
総 数	1600	455	677	184	277	7
(性別)						
男 性	679	188	280	106	102	3
女 性	901	261	389	75	172	4
無 回 答	20	6	8	3	3	0
(年齢別)						
15歳～19歳	84	25	36	11	12	0
20歳～29歳	146	39	56	24	27	0
30歳～39歳	201	53	73	36	39	0
40歳～49歳	280	65	121	39	55	0
50歳～59歳	315	102	135	28	48	2
60歳～69歳	317	99	140	23	51	4
70歳以上	226	63	106	19	37	1
無回答	31	9	10	4	8	0
(性・年齢別)						
男性 15歳～19歳	47	12	19	9	7	0
20歳～29歳	68	14	24	16	14	0
30歳～39歳	93	21	32	27	13	0
40歳～49歳	128	33	53	21	21	0
50歳～59歳	116	32	57	11	15	1
60歳～69歳	112	38	46	10	16	2
70歳以上	113	37	48	12	16	0
女性 15歳～19歳	36	13	16	2	5	0
20歳～29歳	77	25	31	8	13	0
30歳～39歳	107	31	41	9	26	0
40歳～49歳	152	32	68	18	34	0
50歳～59歳	199	70	78	17	33	1
60歳～69歳	205	61	94	13	35	2
70歳以上	113	26	58	7	21	1
無回答	34	10	12	4	8	0

問 8 外国人に家や部屋を貸すのを断る家主がいますが、あなたはどのようなにお考えですか。

	合 計	断るべきではない	滞在目的がしっかりと入居させてもよい 場合に限り	断ってもよい	わからない	無回答
総 数	1600	181	1022	195	193	9
(性別)						
男 性	679	76	416	114	70	3
女 性	901	100	596	78	122	5
無 回 答	20	5	10	3	1	1
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	29	36	9	10	0
20 歳～29 歳	146	23	79	24	20	0
30 歳～39 歳	201	17	125	31	28	0
40 歳～49 歳	280	26	176	45	33	0
50 歳～59 歳	315	32	226	26	30	1
60 歳～69 歳	317	37	217	27	32	4
70 歳以上	226	13	146	29	35	3
無回答	31	4	17	4	5	1
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	15	18	8	6	0
20 歳～29 歳	68	10	35	14	9	0
30 歳～39 歳	93	9	53	24	7	0
40 歳～49 歳	128	11	79	26	12	0
50 歳～59 歳	116	10	84	11	11	0
60 歳～69 歳	112	14	72	15	9	2
70 歳以上	113	7	73	16	16	1
女性 15 歳～19 歳	36	14	17	1	4	0
20 歳～29 歳	77	12	44	10	11	0
30 歳～39 歳	107	8	71	7	21	0
40 歳～49 歳	152	15	97	19	21	0
50 歳～59 歳	199	22	142	15	19	1
60 歳～69 歳	205	23	145	12	23	2
70 歳以上	113	6	73	13	19	2
無回答	34	5	19	4	5	1

問 9 日本に居住している外国人の人権について、あなたはどのような考えですか。

	合 計	日本人と同じように人権は守られるべきだ	日本人と同じような権利をもっていない人も仕方がない	どちらとも いえない	わからない	無回答
総 数	1600	833 52.1%	329 20.6%	323 20.2%	103 6.4%	12 0.8%
(性別)						
男 性	679	351 51.7%	183 27.0%	110 16.2%	32 4.7%	3 0.4%
女 性	901	472 52.4%	141 15.6%	210 23.3%	69 7.7%	9 1.0%
無 回 答	20	10 50.0%	5 25.0%	3 15.0%	2 10.0%	0 0.0%
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	63 75.0%	9 10.7%	8 9.5%	4 4.8%	0 0.0%
20 歳～29 歳	146	84 57.5%	17 11.6%	36 24.7%	9 6.2%	0 0.0%
30 歳～39 歳	201	105 52.2%	47 23.4%	40 19.9%	9 4.5%	0 0.0%
40 歳～49 歳	280	139 49.6%	66 23.6%	54 19.3%	21 7.5%	0 0.0%
50 歳～59 歳	315	165 52.4%	70 22.2%	63 20.0%	15 4.8%	2 0.6%
60 歳～69 歳	317	163 51.4%	57 18.0%	69 21.8%	22 6.9%	6 1.9%
70 歳以上	226	100 44.2%	57 25.2%	44 19.5%	21 9.3%	4 1.8%
無回答	31	14 45.2%	6 19.4%	9 29.0%	2 6.5%	0 0.0%
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	32 68.1%	8 17.0%	5 10.6%	2 4.3%	0 0.0%
20 歳～29 歳	68	40 58.8%	11 16.2%	14 20.6%	3 4.4%	0 0.0%
30 歳～39 歳	93	51 54.8%	24 25.8%	17 18.3%	1 1.1%	0 0.0%
40 歳～49 歳	128	61 47.7%	44 34.4%	17 13.3%	6 4.7%	0 0.0%
50 歳～59 歳	116	59 50.9%	36 31.0%	18 15.5%	3 2.6%	0 0.0%
60 歳～69 歳	112	59 52.7%	25 22.3%	19 17.0%	7 6.3%	2 1.8%
70 歳以上	113	49 43.4%	35 31.0%	18 15.9%	10 8.8%	1 0.9%
女性 15 歳～19 歳	36	30 83.3%	1 2.8%	3 8.3%	2 5.6%	0 0.0%
20 歳～29 歳	77	44 57.1%	6 7.8%	21 27.3%	6 7.8%	0 0.0%
30 歳～39 歳	107	53 49.5%	23 21.5%	23 21.5%	8 7.5%	0 0.0%
40 歳～49 歳	152	78 51.3%	22 14.5%	37 24.3%	15 9.9%	0 0.0%
50 歳～59 歳	199	106 53.3%	34 17.1%	45 22.6%	12 6.0%	2 1.0%
60 歳～69 歳	205	104 50.7%	32 15.6%	50 24.4%	15 7.3%	4 2.0%
70 歳以上	113	51 45.1%	22 19.5%	26 23.0%	11 9.7%	3 2.7%
無回答	34	16 47.1%	6 17.6%	10 29.4%	2 5.9%	0 0.0%

問 10 性的マイノリティ（同性愛、両性愛、性同一性障がいなどの性的少数者）の人権について、次の問いにお答えください。

①もし、次のA～Cの人が同性愛者だとしたら、あなたはどのように思いますか。

A 自分の子ども

	合 計	本人の思いを受け 入れる	仕方がない	本人の思いを受け 入れられない	わからない	無回答
総 数	1600	538 33.6%	548 34.3%	168 10.5%	330 20.6%	16 1.0%
(性別)						
男 性	679	192 28.3%	250 36.8%	103 15.2%	127 18.7%	7 1.0%
女 性	901	342 38.0%	292 32.4%	62 6.9%	197 21.9%	8 0.9%
無 回 答	20	4 20.0%	6 30.0%	3 15.0%	6 30.0%	1 5.0%
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	36 42.9%	20 23.8%	6 7.1%	21 25.0%	1 1.2%
20 歳～29 歳	146	64 43.8%	53 36.3%	5 3.4%	24 16.4%	0 0.0%
30 歳～39 歳	201	91 45.3%	62 30.8%	10 5.0%	38 18.9%	0 0.0%
40 歳～49 歳	280	109 38.9%	103 36.8%	25 8.9%	43 15.4%	0 0.0%
50 歳～59 歳	315	117 37.1%	115 36.5%	24 7.6%	58 18.4%	1 0.3%
60 歳～69 歳	317	76 24.0%	117 36.9%	41 12.9%	74 23.3%	9 2.8%
70 歳以上	226	40 17.7%	70 31.0%	52 23.0%	60 26.5%	4 1.8%
無回答	31	5 16.1%	8 25.8%	5 16.1%	12 38.7%	1 3.2%
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	15 31.9%	13 27.7%	6 12.8%	12 25.5%	1 2.1%
20 歳～29 歳	68	31 45.6%	24 35.3%	4 5.9%	9 13.2%	0 0.0%
30 歳～39 歳	93	31 33.3%	32 34.4%	8 8.6%	22 23.7%	0 0.0%
40 歳～49 歳	128	40 31.3%	59 46.1%	16 12.5%	13 10.2%	0 0.0%
50 歳～59 歳	116	40 34.5%	38 32.8%	15 12.9%	23 19.8%	0 0.0%
60 歳～69 歳	112	19 17.0%	46 41.1%	23 20.5%	20 17.9%	4 3.6%
70 歳以上	113	16 14.2%	38 33.6%	30 26.5%	27 23.9%	2 1.8%
女性 15 歳～19 歳	36	20 55.6%	7 19.4%	0 0.0%	9 25.0%	0 0.0%
20 歳～29 歳	77	32 41.6%	29 37.7%	1 1.3%	15 19.5%	0 0.0%
30 歳～39 歳	107	59 55.1%	30 28.0%	2 1.9%	16 15.0%	0 0.0%
40 歳～49 歳	152	69 45.4%	44 28.9%	9 5.9%	30 19.7%	0 0.0%
50 歳～59 歳	199	77 38.7%	77 38.7%	9 4.5%	35 17.6%	1 0.5%
60 歳～69 歳	205	57 27.8%	71 34.6%	18 8.8%	54 26.3%	5 2.4%
70 歳以上	113	24 21.2%	32 28.3%	22 19.5%	33 29.2%	2 1.8%
無回答	34	8 23.5%	8 23.5%	5 14.7%	12 35.3%	1 2.9%

B 兄弟姉妹

	合 計	本人の思いを受け 入れる	仕方がない	本人の思いを受け 入れられない	わからない	無回答
総 数	1600	563 35.2%	607 37.9%	137 8.6%	267 16.7%	26 1.6%
(性別)						
男 性	679	200 29.5%	269 39.6%	92 13.5%	109 16.1%	9 1.3%
女 性	901	357 39.6%	333 37.0%	43 4.8%	153 17.0%	15 1.7%
無 回 答	20	6 30.0%	5 25.0%	2 10.0%	5 25.0%	2 10.0%
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	35 41.7%	21 25.0%	9 10.7%	18 21.4%	1 1.2%
20 歳～29 歳	146	68 46.6%	57 39.0%	9 6.2%	12 8.2%	0 0.0%
30 歳～39 歳	201	99 49.3%	69 34.3%	9 4.5%	24 11.9%	0 0.0%
40 歳～49 歳	280	120 42.9%	107 38.2%	17 6.1%	35 12.5%	1 0.4%
50 歳～59 歳	315	125 39.7%	130 41.3%	21 6.7%	38 12.1%	1 0.3%
60 歳～69 歳	317	74 23.3%	136 42.9%	30 9.5%	68 21.5%	9 2.8%
70 歳以上	226	35 15.5%	79 35.0%	39 17.3%	61 27.0%	12 5.3%
無回答	31	7 22.6%	8 25.8%	3 9.7%	11 35.5%	2 6.5%
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	16 34.0%	12 25.5%	9 19.1%	9 19.1%	1 2.1%
20 歳～29 歳	68	31 45.6%	28 41.2%	7 10.3%	2 2.9%	0 0.0%
30 歳～39 歳	93	36 38.7%	35 37.6%	7 7.5%	15 16.1%	0 0.0%
40 歳～49 歳	128	43 33.6%	59 46.1%	12 9.4%	13 10.2%	1 0.8%
50 歳～59 歳	116	42 36.2%	45 38.8%	13 11.2%	16 13.8%	0 0.0%
60 歳～69 歳	112	20 17.9%	47 42.0%	19 17.0%	23 20.5%	3 2.7%
70 歳以上	113	12 10.6%	43 38.1%	24 21.2%	30 26.5%	4 3.5%
女性 15 歳～19 歳	36	18 50.0%	9 25.0%	0 0.0%	9 25.0%	0 0.0%
20 歳～29 歳	77	36 46.8%	29 37.7%	2 2.6%	10 13.0%	0 0.0%
30 歳～39 歳	107	62 57.9%	34 31.8%	2 1.9%	9 8.4%	0 0.0%
40 歳～49 歳	152	77 50.7%	48 31.6%	5 3.3%	22 14.5%	0 0.0%
50 歳～59 歳	199	83 41.7%	85 42.7%	8 4.0%	22 11.1%	1 0.5%
60 歳～69 歳	205	54 26.3%	89 43.4%	11 5.4%	45 22.0%	6 2.9%
70 歳以上	113	23 20.4%	36 31.9%	15 13.3%	31 27.4%	8 7.1%
無回答	34	10 29.4%	8 23.5%	3 8.8%	11 32.4%	2 5.9%

C 友人

	合 計	本人の思いを受け 入れる	仕方がない	本人の思いを受け 入れられない	わからない	無回答
総 数	1600	732 45.8%	535 33.4%	79 4.9%	230 14.4%	24 1.5%
(性別)						
男 性	679	249 36.7%	264 38.9%	58 8.5%	100 14.7%	8 1.2%
女 性	901	475 52.7%	268 29.7%	19 2.1%	125 13.9%	14 1.6%
無 回 答	20	8 40.0%	3 15.0%	2 10.0%	5 25.0%	2 10.0%
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	42 50.0%	23 27.4%	5 6.0%	14 16.7%	0 0.0%
20 歳～29 歳	146	91 62.3%	40 27.4%	6 4.1%	9 6.2%	0 0.0%
30 歳～39 歳	201	119 59.2%	64 31.8%	7 3.5%	11 5.5%	0 0.0%
40 歳～49 歳	280	148 52.9%	93 33.2%	12 4.3%	27 9.6%	0 0.0%
50 歳～59 歳	315	170 54.0%	104 33.0%	11 3.5%	29 9.2%	1 0.3%
60 歳～69 歳	317	107 33.8%	129 40.7%	15 4.7%	57 18.0%	9 2.8%
70 歳以上	226	45 19.9%	74 32.7%	21 9.3%	74 32.7%	12 5.3%
無回答	31	10 32.3%	8 25.8%	2 6.5%	9 29.0%	2 6.5%
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	18 38.3%	15 31.9%	4 8.5%	10 21.3%	0 0.0%
20 歳～29 歳	68	37 54.4%	23 33.8%	6 8.8%	2 2.9%	0 0.0%
30 歳～39 歳	93	42 45.2%	38 40.9%	6 6.5%	7 7.5%	0 0.0%
40 歳～49 歳	128	54 42.2%	51 39.8%	11 8.6%	12 9.4%	0 0.0%
50 歳～59 歳	116	57 49.1%	42 36.2%	7 6.0%	10 8.6%	0 0.0%
60 歳～69 歳	112	26 23.2%	50 44.6%	12 10.7%	20 17.9%	4 3.6%
70 歳以上	113	15 13.3%	44 38.9%	12 10.6%	38 33.6%	4 3.5%
女性 15 歳～19 歳	36	23 63.9%	8 22.2%	1 2.8%	4 11.1%	0 0.0%
20 歳～29 歳	77	53 68.8%	17 22.1%	0 0.0%	7 9.1%	0 0.0%
30 歳～39 歳	107	76 71.0%	26 24.3%	1 0.9%	4 3.7%	0 0.0%
40 歳～49 歳	152	94 61.8%	42 27.6%	1 0.7%	15 9.9%	0 0.0%
50 歳～59 歳	199	113 56.8%	62 31.2%	4 2.0%	19 9.5%	1 0.5%
60 歳～69 歳	205	81 39.5%	79 38.5%	3 1.5%	37 18.0%	5 2.4%
70 歳以上	113	30 26.5%	30 26.5%	9 8.0%	36 31.9%	8 7.1%
無回答	34	13 38.2%	8 38.2%	2 5.9%	9 26.5%	2 5.9%

②もし、次のA～Cの人が性同一性障がいだとしたら、あなたはどのように思いますか。

A 自分の子ども

	合 計	本人の思いを受け 入れる	仕方がない	本人の思いを受け 入れられない	わからない	無回答
総 数	1600	668	503	110	304	15
(性別)						
男 性	679	237	244	72	119	7
女 性	901	425	255	35	179	7
無 回 答	20	6	4	3	6	1
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	37	23	5	18	1
20 歳～29 歳	146	71	48	3	24	0
30 歳～39 歳	201	103	59	10	29	0
40 歳～49 歳	280	141	89	17	32	1
50 歳～59 歳	315	156	99	11	48	1
60 歳～69 歳	317	100	115	28	68	6
70 歳以上	226	53	64	32	72	5
無回答	31	7	6	4	13	1
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	15	17	5	9	1
20 歳～29 歳	68	35	23	2	8	0
30 歳～39 歳	93	36	33	7	17	0
40 歳～49 歳	128	55	50	11	11	1
50 歳～59 歳	116	48	38	9	21	0
60 歳～69 歳	112	28	45	17	19	3
70 歳以上	113	20	38	20	33	2
女性 15 歳～19 歳	36	21	6	0	9	0
20 歳～29 歳	77	35	25	1	16	0
30 歳～39 歳	107	66	26	3	12	0
40 歳～49 歳	152	86	39	6	21	0
50 歳～59 歳	199	108	61	2	27	1
60 歳～69 歳	205	72	70	11	49	3
70 歳以上	113	33	26	12	39	3
無回答	34	10	6	4	13	1

B 兄弟姉妹

	合 計	本人の思いを受け 入れる	仕方がない	本人の思いを受け 入れられない	わからない	無回答
総 数	1600	668	561	96	252	23
(性別)						
男 性	679	232	267	61	111	8
女 性	901	429	290	33	136	13
無 回 答	20	7	4	2	5	2
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	37	24	4	18	1
20 歳～29 歳	146	79	54	3	10	0
30 歳～39 歳	201	106	68	5	22	0
40 歳～49 歳	280	139	99	12	29	1
50 歳～59 歳	315	158	112	11	33	1
60 歳～69 歳	317	97	126	26	61	7
70 歳以上	226	43	73	32	67	11
無回答	31	9	5	3	12	2
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	15	16	4	11	1
20 歳～29 歳	68	40	24	2	2	0
30 歳～39 歳	93	37	38	3	15	0
40 歳～49 歳	128	51	57	8	11	1
50 歳～59 歳	116	47	43	8	18	0
60 歳～69 歳	112	27	46	15	22	2
70 歳以上	113	15	43	20	31	4
女性 15 歳～19 歳	36	21	8	0	7	0
20 歳～29 歳	77	38	30	1	8	0
30 歳～39 歳	107	68	30	2	7	0
40 歳～49 歳	152	88	42	4	18	0
50 歳～59 歳	199	111	69	3	15	1
60 歳～69 歳	205	70	80	11	39	5
70 歳以上	113	28	30	12	36	7
無回答	34	12	5	3	12	2

C 友人

	合 計	本人の思いを受け 入れる	仕方がない	本人の思いを受け 入れられない	わからない	無回答
総 数	1600	772	511	60	235	22
(性別)						
男 性	679	263	256	44	109	7
女 性	901	501	252	14	121	13
無 回 答	20	8	3	2	5	2
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	40	25	2	17	0
20 歳～29 歳	146	95	39	2	10	0
30 歳～39 歳	201	124	59	5	13	0
40 歳～49 歳	280	159	86	9	26	0
50 歳～59 歳	315	188	92	8	26	1
60 歳～69 歳	317	110	134	13	53	7
70 歳以上	226	46	69	19	80	12
無回答	31	10	7	2	10	2
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	18	15	2	12	0
20 歳～29 歳	68	40	23	2	3	0
30 歳～39 歳	93	43	37	4	9	0
40 歳～49 歳	128	58	50	8	12	0
50 歳～59 歳	116	58	39	7	12	0
60 歳～69 歳	112	29	50	10	20	3
70 歳以上	113	17	41	11	40	4
女性 15 歳～19 歳	36	21	10	0	5	0
20 歳～29 歳	77	54	16	0	7	0
30 歳～39 歳	107	80	22	1	4	0
40 歳～49 歳	152	101	36	1	14	0
50 歳～59 歳	199	130	53	1	14	1
60 歳～69 歳	205	81	84	3	33	4
70 歳以上	113	29	28	8	40	8
無回答	34	13	7	2	10	2

問 11 障がい者が暮らす施設が地域に設置されようとしたときに、地域住民が反対することがありますが、あなたはどのように思いますか。

	合 計	反対する人の気持ち がわからない	障がい者が暮らす施設は、住宅地 から離れたところにつくればよい	反対する人の気持ち もわかる	わからない	無回答
総 数	1600	656 41.0%	88 5.5%	649 40.6%	198 12.4%	9 0.6%
(性別)						
男 性	679	273 40.2%	53 7.8%	285 42.0%	66 9.7%	2 0.3%
女 性	901	370 41.1%	34 3.8%	362 40.2%	128 14.2%	7 0.8%
無 回 答	20	13 65.0%	1 5.0%	2 10.0%	4 20.0%	0 0.0%
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	48 57.1%	2 2.4%	27 32.1%	7 8.3%	0 0.0%
20 歳～29 歳	146	60 41.1%	7 4.8%	59 40.4%	20 13.7%	0 0.0%
30 歳～39 歳	201	74 36.8%	9 4.5%	94 46.8%	24 11.9%	0 0.0%
40 歳～49 歳	280	98 35.0%	18 6.4%	133 47.5%	31 11.1%	0 0.0%
50 歳～59 歳	315	123 39.0%	12 3.8%	136 43.2%	41 13.0%	3 1.0%
60 歳～69 歳	317	138 43.5%	24 7.6%	115 36.3%	36 11.4%	4 1.3%
70 歳以上	226	101 44.7%	15 6.6%	79 35.0%	29 12.8%	2 0.9%
無回答	31	14 45.2%	1 3.2%	6 19.4%	10 32.3%	0 0.0%
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	24 51.1%	0 0.0%	17 36.2%	6 12.8%	0 0.0%
20 歳～29 歳	68	29 42.6%	4 5.9%	25 36.8%	10 14.7%	0 0.0%
30 歳～39 歳	93	32 34.4%	8 8.6%	43 46.2%	10 10.8%	0 0.0%
40 歳～49 歳	128	42 32.8%	14 10.9%	65 50.8%	7 5.5%	0 0.0%
50 歳～59 歳	116	49 42.2%	4 3.4%	50 43.1%	13 11.2%	0 0.0%
60 歳～69 歳	112	48 42.9%	13 11.6%	41 36.6%	8 7.1%	2 1.85%
70 歳以上	113	48 42.5%	10 8.8%	44 38.9%	11 9.7%	0 0.0%
女性 15 歳～19 歳	36	23 63.9%	2 5.6%	10 27.8%	1 2.8%	0 0.0%
20 歳～29 歳	77	30 39.0%	3 3.9%	34 44.2%	10 13.0%	0 0.0%
30 歳～39 歳	107	41 38.3%	1 0.9%	51 47.7%	14 13.1%	0 0.0%
40 歳～49 歳	152	56 36.8%	4 2.6%	68 44.7%	24 15.8%	0 0.0%
50 歳～59 歳	199	74 37.2%	8 4.0%	86 43.2%	28 14.1%	3 1.5%
60 歳～69 歳	205	90 43.9%	11 5.4%	74 36.1%	28 13.7%	2 1.0%
70 歳以上	113	53 46.9%	5 4.4%	35 31.0%	18 15.9%	2 1.8%
無回答	34	17 50.0%	1 2.9%	6 17.6%	10 29.4%	0 0.0%

問 12 もし、職場の同僚が刑を終えて出所した人とわかったとき、あなたはどのようなにしますか。

	合 計	今までどおり付き合う	付き合いを減らす	付き合いをやめる	わからない	無回答
総 数	1600	637	313	82	549	19
(性別)						
男 性	679	299	149	42	178	11
女 性	901	326	161	39	367	8
無 回 答	20	12	3	1	4	0
(年齢別)						
15 歳～19 歳	84	38	16	4	26	0
20 歳～29 歳	146	51	30	9	54	2
30 歳～39 歳	201	78	37	22	63	1
40 歳～49 歳	280	102	57	17	100	4
50 歳～59 歳	315	128	57	13	112	5
60 歳～69 歳	317	139	64	9	101	4
70 歳以上	226	88	48	7	80	3
無回答	31	13	4	1	13	0
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	47	20	10	2	15	0
20 歳～29 歳	68	25	17	5	19	2
30 歳～39 歳	93	39	16	12	25	1
40 歳～49 歳	128	43	37	10	35	3
50 歳～59 歳	116	62	18	3	31	2
60 歳～69 歳	112	60	23	5	22	2
70 歳以上	113	49	28	5	30	1
女性 15 歳～19 歳	36	17	6	2	11	0
20 歳～29 歳	77	25	13	4	35	0
30 歳～39 歳	107	38	21	10	38	0
40 歳～49 歳	152	59	20	7	65	1
50 歳～59 歳	199	66	39	10	81	3
60 歳～69 歳	205	79	41	4	79	2
70 歳以上	113	39	20	2	50	2
無回答	34	16	4	1	13	0

問13 あなたは、インターネットに関することがらで、人権が尊重されていないと思うことはどんなときですか。当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

	合 計	他人を誹謗中傷 する表現が掲載 されているとき	個人情報流出 しているとき	差別を助長する表 現や内容が掲載さ れているとき	わいせつな画像や 残虐な画像が掲載 されているとき	出会い系サイトなど 犯罪を誘発する場と なっているとき	悪徳商法などの取引 の場となっている とき	その他							
総 数	1600	1236	77.3%	1170	73.1%	968	60.5%	765	47.8%	568	35.5%	608	38.0%	20	1.3%
(性別)															
男 性	679	520	76.6%	485	71.4%	406	59.8%	289	42.6%	237	34.9%	281	41.4%	9	1.3%
女 性	901	704	78.1%	674	74.8%	553	61.4%	471	52.3%	327	36.3%	323	35.8%	11	1.2%
無 回 答	20	12	60.0%	11	55.0%	9	45.0%	5	25.0%	4	20.0%	4	20.0%	0	0.0%
(年齢別)															
15歳～19歳	84	61	72.6%	63	75.0%	46	54.8%	34	40.5%	25	29.8%	22	26.2%	0	0.0%
20歳～29歳	146	103	70.5%	120	82.2%	70	47.9%	55	37.7%	31	21.2%	51	34.9%	0	0.0%
30歳～39歳	201	153	76.1%	162	80.6%	125	62.2%	88	43.8%	55	27.4%	69	34.3%	2	1.0%
40歳～49歳	280	232	82.9%	216	77.1%	164	58.6%	122	43.6%	81	28.9%	92	32.9%	3	1.1%
50歳～59歳	315	276	87.6%	246	78.1%	215	68.3%	170	54.0%	124	39.4%	123	39.0%	7	2.2%
60歳～69歳	317	246	77.6%	214	67.5%	207	65.3%	168	53.0%	141	44.5%	144	45.4%	3	0.9%
70歳以上	226	142	62.8%	127	56.2%	124	54.9%	115	50.9%	99	43.8%	96	42.5%	5	2.2%
無回答	31	23	74.2%	22	71.0%	17	54.8%	13	41.9%	12	38.7%	11	35.5%	0	0.0%
(性・年齢別)															
男性 15歳～19歳	47	29	61.7%	36	76.6%	29	61.7%	19	40.4%	19	40.4%	18	38.3%	0	0.0%
20歳～29歳	68	46	67.6%	50	73.5%	35	51.5%	22	32.4%	15	22.1%	28	41.2%	0	0.0%
30歳～39歳	93	69	74.2%	74	79.6%	54	58.1%	34	36.6%	19	20.4%	29	31.2%	1	1.1%
40歳～49歳	128	108	84.4%	94	73.4%	70	54.7%	44	34.4%	34	26.6%	43	33.6%	2	1.6%
50歳～59歳	116	96	82.8%	76	65.5%	69	59.5%	46	39.7%	45	38.8%	50	43.1%	3	2.6%
60歳～69歳	112	94	83.9%	80	71.4%	80	71.4%	57	50.9%	47	42.0%	56	50.0%	1	0.9%
70歳以上	113	76	67.3%	73	64.6%	67	59.3%	65	57.5%	56	49.6%	55	48.7%	2	1.8%
女性 15歳～19歳	36	32	88.9%	26	72.2%	16	44.4%	15	41.7%	6	16.7%	4	11.1%	0	0.0%
20歳～29歳	77	57	74.0%	70	90.9%	35	45.5%	33	42.9%	16	20.8%	23	29.9%	0	0.0%
30歳～39歳	107	84	78.5%	88	82.2%	70	65.4%	54	50.5%	36	33.6%	40	37.4%	1	0.9%
40歳～49歳	152	124	81.6%	122	80.3%	94	61.8%	78	51.3%	47	30.9%	49	32.2%	1	0.7%
50歳～59歳	199	180	90.5%	170	85.4%	146	73.4%	124	62.3%	79	39.7%	73	36.7%	4	2.0%
60歳～69歳	205	152	74.1%	134	65.4%	127	62.0%	111	54.1%	94	45.9%	88	42.9%	2	1.0%
70歳以上	113	66	58.4%	54	47.8%	57	50.4%	50	44.2%	43	38.1%	41	36.3%	3	2.7%
無回答	34	23	67.6%	23	67.6%	19	55.9%	13	38.2%	12	35.3%	11	32.4%	0	0.0%

問 13 (つづき)

	わからない	人権が尊重されて いないと思うこと はない	無回答
総 数	109	12	16
(性別)			
男 性	31	9	8
女 性	73	3	8
無 回 答	5	0	0
(年齢別)			
15 歳～19 歳	4	0	0
20 歳～29 歳	5	1	0
30 歳～39 歳	7	0	1
40 歳～49 歳	9	0	2
50 歳～59 歳	6	6	3
60 歳～69 歳	29	0	5
70 歳以上	44	5	5
無回答	5	0	0
(性・年齢別)			
男性 15 歳～19 歳	2	0	0
20 歳～29 歳	4	1	0
30 歳～39 歳	2	0	1
40 歳～49 歳	5	0	1
50 歳～59 歳	3	5	2
60 歳～69 歳	5	0	2
70 歳以上	10	3	2
女性 15 歳～19 歳	2	0	0
20 歳～29 歳	0	0	0
30 歳～39 歳	5	0	0
40 歳～49 歳	4	0	1
50 歳～59 歳	3	1	1
60 歳～69 歳	24	0	3
70 歳以上	34	2	3
無回答	6	0	0

問 14 あなたは、同和問題にかかわる差別（部落差別）を初めて知ったきっかけはどれですか。次の中から1つお選びください。

	合 計	家族から	親戚の人から	近所の人から	職場の人から	学校の友人から	学校の授業で	テレビ・新聞・本などで
総 数	1600	401 25.1%	13 0.8%	40 2.5%	25 1.6%	49 3.1%	769 48.1%	65 4.1%
(性別)								
男 性	679	166 24.4%	6 0.9%	18 2.7%	18 2.7%	23 3.4%	304 44.8%	35 5.2%
女 性	901	232 25.7%	7 0.8%	22 2.4%	7 0.8%	24 2.7%	457 50.7%	28 3.1%
無 回 答	20	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	8 40.0%	2 10.0%
(年齢別)								
15 歳～19 歳	84	5 6.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	70 83.3%	2 2.4%
20 歳～29 歳	146	13 8.9%	1 0.7%	1 0.7%	0 0.0%	2 1.4%	100 68.5%	5 3.4%
30 歳～39 歳	201	17 8.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.5%	148 73.6%	7 3.5%
40 歳～49 歳	280	30 10.7%	1 0.4%	3 1.1%	6 2.1%	4 1.4%	206 73.6%	8 2.9%
50 歳～59 歳	315	83 26.3%	2 0.6%	4 1.3%	3 1.0%	8 2.5%	173 54.9%	12 3.8%
60 歳～69 歳	317	143 45.1%	6 1.9%	13 4.1%	8 2.5%	16 5.0%	42 13.2%	15 4.7%
70 歳以上	226	105 46.5%	3 1.3%	18 8.0%	8 3.5%	13 5.8%	15 6.6%	15 6.6%
無回答	31	5 16.1%	0 0.0%	1 3.2%	0 0.0%	2 6.5%	15 48.4%	1 3.2%
(性・年齢別)								
男性 15 歳～19 歳	47	2 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	38 80.9%	2 4.3%
20 歳～29 歳	68	6 8.8%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%	1 1.5%	47 69.1%	3 4.4%
30 歳～39 歳	93	6 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	68 73.1%	2 2.2%
40 歳～49 歳	128	17 13.3%	0 0.0%	3 2.3%	5 3.9%	3 2.3%	85 66.4%	7 5.5%
50 歳～59 歳	116	36 31.0%	2 1.7%	1 0.9%	3 2.6%	3 2.6%	52 44.8%	4 3.4%
60 歳～69 歳	112	45 40.2%	4 3.6%	4 3.6%	4 3.6%	9 8.0%	9 8.0%	6 5.4%
70 歳以上	113	53 46.9%	0 0.0%	9 8.0%	6 5.3%	4 3.5%	4 3.5%	11 9.7%
女性 15 歳～19 歳	36	3 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	31 86.1%	0 0.0%
20 歳～29 歳	77	7 9.1%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	53 68.8%	2 2.6%
30 歳～39 歳	107	11 10.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	80 74.8%	4 3.7%
40 歳～49 歳	152	13 8.6%	1 0.7%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.7%	121 79.6%	1 0.7%
50 歳～59 歳	199	47 23.6%	0 0.0%	3 1.5%	0 0.0%	5 2.5%	121 60.8%	8 4.0%
60 歳～69 歳	205	98 47.8%	2 1.0%	9 4.4%	4 2.0%	7 3.4%	33 16.1%	9 4.4%
70 歳以上	113	52 46.0%	3 2.7%	9 8.0%	2 1.8%	9 8.0%	11 9.7%	4 3.5%
無回答	34	5 14.7%	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	2 5.9%	16 47.1%	2 5.9%

問 14 (つづき)

	人権問題の学習 会や研修会で	県や市の広報紙 や冊子で	はっきり覚えて いない	「同和問題・部落差別」 の意味がわからない	無回答
総 数	36 2.3%	7 0.4%	99 6.2%	35 2.2%	61 3.8%
(性別)					
男	16 2.4%	6 0.9%	42 6.2%	20 2.9%	25 3.7%
女	18 2.0%	1 0.1%	56 6.2%	14 1.6%	35 3.9%
無 回 答	2 10.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%
(年齢別)					
15 歳～19 歳	0 0.0%	0 0.0%	3 3.6%	2 2.4%	1 1.2%
20 歳～29 歳	1 0.7%	0 0.0%	12 8.2%	7 4.8%	4 2.7%
30 歳～39 歳	2 1.0%	1 0.5%	13 6.5%	5 2.5%	5 2.5%
40 歳～49 歳	1 0.4%	0 0.0%	10 3.6%	3 1.1%	8 2.9%
50 歳～59 歳	1 0.3%	0 0.0%	14 4.4%	4 1.3%	11 3.5%
60 歳～69 歳	18 5.7%	3 0.9%	31 9.8%	5 1.6%	17 5.4%
70 歳以上	11 4.9%	3 1.3%	14 6.2%	8 3.5%	13 5.8%
無回答	2 6.5%	0 0.0%	2 6.5%	1 3.2%	2 6.5%
(性・年齢別)					
男性 15 歳～19 歳	0 0.0%	0 0.0%	2 4.3%	2 4.3%	0 0.0%
20 歳～29 歳	0 0.0%	0 0.0%	7 10.3%	2 2.9%	1 1.5%
30 歳～39 歳	0 0.0%	1 1.1%	6 6.5%	3 3.2%	5 5.4%
40 歳～49 歳	1 0.8%	0 0.0%	3 2.3%	2 1.6%	2 1.6%
50 歳～59 歳	1 0.9%	0 0.0%	5 4.3%	4 3.4%	5 4.3%
60 歳～69 歳	6 5.4%	3 2.7%	12 10.7%	1 0.9%	9 8.0%
70 歳以上	8 7.1%	2 1.8%	7 6.2%	6 5.3%	3 2.7%
女性 15 歳～19 歳	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	1 2.8%
20 歳～29 歳	1 1.3%	0 0.0%	4 5.2%	5 6.5%	3 3.9%
30 歳～39 歳	2 1.9%	0 0.0%	7 6.5%	2 1.9%	0 0.0%
40 歳～49 歳	0 0.0%	0 0.0%	7 4.6%	1 0.7%	6 3.9%
50 歳～59 歳	0 0.0%	0 0.0%	9 4.5%	0 0.0%	6 3.0%
60 歳～69 歳	12 5.9%	0 0.0%	19 9.3%	4 2.0%	8 3.9%
70 歳以上	3 2.7%	1 0.9%	7 6.2%	2 1.8%	10 8.8%
無回答	2 5.9%	0 0.0%	3 8.8%	1 2.9%	2 5.9%

問 15 あなたは、今なお同和問題にかかわる差別（部落差別）があると思いますか、思いませんか。

	合 計	まだまだあると 思う	少しは残っている と思う	なくなったと思う	わからない	無回答
総 数	1565	279	717	234	316	19
(性別)						
男 性	659	133	301	108	106	11
女 性	887	142	407	124	207	7
無 回 答	19	4	9	2	3	1
(年齢別)						
15 歳～19 歳	82	15	34	8	25	0
20 歳～29 歳	139	9	51	25	54	0
30 歳～39 歳	196	23	88	27	56	2
40 歳～49 歳	277	51	129	38	57	2
50 歳～59 歳	311	71	147	36	55	2
60 歳～69 歳	312	70	144	55	38	5
70 歳以上	218	34	111	42	24	7
無回答	30	6	13	3	7	1
(性・年齢別)						
男性 15 歳～19 歳	45	8	19	6	12	0
20 歳～29 歳	66	3	22	19	22	0
30 歳～39 歳	90	11	40	17	21	1
40 歳～49 歳	126	31	56	19	19	1
50 歳～59 歳	112	27	53	15	15	2
60 歳～69 歳	111	28	53	17	9	4
70 歳以上	107	24	57	15	8	3
女性 15 歳～19 歳	36	7	14	2	13	0
20 歳～29 歳	72	6	29	6	31	0
30 歳～39 歳	105	12	47	10	35	1
40 歳～49 歳	151	20	73	19	38	1
50 歳～59 歳	199	44	94	21	40	0
60 歳～69 歳	201	42	91	38	29	1
70 歳以上	111	10	54	27	16	4
無回答	33	6	15	3	8	1

問15-2 問15で「1」または「2」を選んだ方におたずねします。それはどんなときですか。あてはまる番号をすべてお選びください。(複数回答)

	合 計	結婚のとき	進学のと き	就職のと き	居住地を聞か れたとき	職場での付き 合いのと き	近所付き合い のとき	インターネット の閲覧のとき	その他								
総 数	1000	755	75.5%	44	4.4%	177	17.7%	372	37.2%	64	6.4%	166	16.6%	57	5.7%	64	6.4%
(性別)																	
男 性	435	315	72.4%	15	3.4%	81	18.6%	172	39.5%	33	7.6%	86	19.8%	26	6.0%	23	5.3%
女 性	552	433	78.4%	28	5.1%	96	17.4%	199	36.1%	31	5.6%	78	14.1%	30	5.4%	39	7.1%
無 回 答	13	7	53.8%	1	7.7%	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%	2	15.4%	1	7.7%	2	15.4%
(年齢別)																	
15 歳 ～ 19 歳	49	27	55.1%	9	18.4%	18	36.7%	19	38.8%	5	10.2%	9	18.4%	6	12.2%	5	10.2%
20 歳 ～ 29 歳	62	28	45.2%	4	6.5%	15	24.2%	20	32.3%	4	6.5%	13	21.0%	8	12.9%	6	9.7%
30 歳 ～ 39 歳	111	65	58.6%	2	1.8%	19	17.1%	50	45.0%	12	10.8%	27	24.3%	10	9.0%	8	7.2%
40 歳 ～ 49 歳	179	126	70.4%	6	3.4%	37	20.7%	76	42.5%	11	6.1%	31	17.3%	8	4.5%	17	9.5%
50 歳 ～ 59 歳	217	184	84.8%	11	5.1%	42	19.4%	87	40.1%	12	5.5%	32	14.7%	17	7.8%	11	5.1%
60 歳 ～ 69 歳	215	184	85.6%	8	3.7%	28	13.0%	68	31.6%	11	5.1%	26	12.1%	8	3.7%	10	4.7%
70 歳以上	148	127	85.8%	1	0.7%	15	10.1%	47	31.8%	9	6.1%	24	16.2%	0	0.0%	6	4.1%
無回答	19	14	73.7%	3	15.8%	3	15.8%	5	26.3%	0	0.0%	4	21.1%	0	0.0%	1	5.3%
(性・年齢別)																	
男性 15 歳 ～ 19 歳	27	14	51.9%	7	15.9%	8	29.6%	13	48.1%	5	18.5%	5	18.5%	3	11.1%	2	7.4%
20 歳 ～ 29 歳	26	9	34.6%	1	3.8%	5	19.2%	9	34.6%	2	7.7%	6	23.1%	5	19.2%	3	11.5%
30 歳 ～ 39 歳	51	27	52.9%	1	2.0%	10	19.6%	19	37.3%	6	11.8%	14	27.5%	6	11.8%	4	7.8%
40 歳 ～ 49 歳	86	61	70.9%	2	2.3%	20	23.3%	38	44.2%	6	7.0%	16	18.6%	4	4.7%	6	7.0%
50 歳 ～ 59 歳	79	64	81.0%	1	1.3%	10	12.7%	35	44.3%	4	5.1%	15	19.0%	6	7.6%	2	2.5%
60 歳 ～ 69 歳	82	70	85.4%	2	2.4%	16	19.5%	29	35.4%	5	6.1%	11	13.4%	2	2.4%	4	4.9%
70 歳以上	82	68	82.9%	0	0.0%	10	12.2%	27	32.9%	5	6.1%	17	20.7%	0	0.0%	2	2.4%
女性 15 歳 ～ 19 歳	21	13	61.9%	2	9.5%	10	47.6%	6	28.6%	0	0.0%	4	19.0%	3	14.3%	2	9.5%
20 歳 ～ 29 歳	36	19	52.8%	3	8.3%	10	27.8%	11	30.6%	2	5.6%	7	19.4%	3	8.3%	3	8.3%
30 歳 ～ 39 歳	59	38	64.4%	1	1.7%	9	15.3%	31	52.5%	6	10.2%	13	22.0%	3	5.1%	4	6.8%
40 歳 ～ 49 歳	93	65	69.9%	4	4.3%	17	18.3%	38	40.9%	5	5.4%	15	16.1%	4	4.3%	11	11.8%
50 歳 ～ 59 歳	138	120	87.0%	10	7.2%	32	23.2%	52	37.7%	8	5.8%	17	12.3%	11	8.0%	9	6.5%
60 歳 ～ 69 歳	133	114	85.7%	6	4.5%	12	9.0%	39	29.3%	6	4.5%	15	11.3%	6	4.5%	6	4.5%
70 歳以上	66	59	89.4%	1	1.5%	5	7.6%	20	30.3%	4	6.1%	7	10.6%	0	0.0%	4	6.1%
無回答	21	14	66.7%	3	14.3%	3	14.3%	5	23.8%	0	0.0%	4	19.0%	1	4.8%	2	9.5%

問 16 この1年間に家族との間で、同和問題をどの程度話題にしましたか。

	合 計	よく話題にした	ときどき話題にした	ほとんど話題に しなかった	まったく話題に しなかった	一人ぐらしで話題に できなかった	無回答
総 数	1565	5 0.3%	125 8.0%	437 27.9%	897 57.3%	87 5.6%	14 0.9%
(性別)							
男 性	659	1 0.2%	46 7.0%	205 31.1%	364 55.2%	34 5.2%	9 1.4%
女 性	887	4 0.5%	77 8.7%	226 25.5%	523 59.0%	53 6.0%	4 0.5%
無 回 答	19	0 0.0%	2 10.5%	6 31.6%	10 52.6%	0 0.0%	1 5.3%
(年齢別)							
15歳～19歳	82	0 0.0%	6 7.3%	25 30.5%	50 61.0%	1 1.2%	0 0.0%
20歳～29歳	139	1 0.7%	8 5.8%	15 10.8%	100 71.9%	15 10.8%	0 0.0%
30歳～39歳	196	0 0.0%	7 3.6%	50 25.5%	130 66.3%	8 4.1%	1 0.5%
40歳～49歳	277	0 0.0%	23 8.3%	58 20.9%	179 64.6%	15 5.4%	2 0.7%
50歳～59歳	311	2 0.6%	22 7.1%	89 28.6%	182 58.5%	14 4.5%	2 0.6%
60歳～69歳	312	1 0.3%	27 8.7%	116 37.2%	148 47.4%	16 5.1%	4 1.3%
70歳以上	218	1 0.5%	30 13.8%	76 34.9%	90 41.3%	17 7.8%	4 1.8%
無回答	30	0 0.0%	2 6.7%	8 26.7%	18 60.0%	1 3.3%	1 3.3%
(性・年齢別)							
男性 15歳～19歳	45	0 0.0%	2 4.4%	15 33.3%	28 62.2%	0 0.0%	0 0.0%
20歳～29歳	66	1 1.5%	2 3.0%	7 10.6%	50 75.8%	6 9.1%	0 0.0%
30歳～39歳	90	0 0.0%	2 2.2%	16 17.8%	68 75.6%	3 3.3%	1 1.1%
40歳～49歳	126	0 0.0%	11 8.7%	33 26.2%	76 60.3%	5 4.0%	1 0.8%
50歳～59歳	112	0 0.0%	7 6.3%	38 33.9%	61 54.5%	4 3.6%	2 1.8%
60歳～69歳	111	0 0.0%	6 5.4%	54 48.6%	43 38.7%	5 4.5%	3 2.7%
70歳以上	107	0 0.0%	16 15.0%	42 39.3%	36 33.6%	11 10.3%	2 1.9%
女性 15歳～19歳	36	0 0.0%	3 8.3%	10 27.8%	22 61.1%	1 2.8%	0 0.0%
20歳～29歳	72	0 0.0%	6 8.3%	8 11.1%	49 68.1%	9 12.5%	0 0.0%
30歳～39歳	105	0 0.0%	5 4.8%	34 32.4%	61 58.1%	5 4.8%	0 0.0%
40歳～49歳	151	0 0.0%	12 7.9%	25 16.6%	103 68.2%	10 6.6%	1 0.7%
50歳～59歳	199	2 1.0%	15 7.5%	51 25.6%	121 60.8%	10 5.0%	0 0.0%
60歳～69歳	201	1 0.5%	21 10.4%	62 30.8%	105 52.2%	11 5.5%	1 0.5%
70歳以上	111	1 0.9%	14 12.6%	34 30.6%	54 48.6%	6 5.4%	2 1.8%
無回答	33	0 0.0%	3 9.1%	8 24.2%	20 60.6%	1 3.0 %	1 3.0%

問 17 もし家族から同和問題について差別的な話が出たとき、あなたならどのようなにしますか。

	合 計	自分で差別のま ちがいを説明する	説明する自信がない ので、そのままにし ておく	自分には関係ないこ とだから、そのまま にしておく	家族の意見に あわせてしまう	その他	無回答
総 数	1565	755	402	192	84	105	27
(性別)							
男 性	659	326	142	91	45	40	15
女 性	887	424	257	96	37	62	11
無 回 答	19	5	3	5	2	3	1
(年齢別)							
15 歳～19 歳	82	45	19	7	8	3	0
20 歳～29 歳	139	50	45	24	12	8	0
30 歳～39 歳	196	80	60	24	13	16	3
40 歳～49 歳	277	148	59	29	18	20	3
50 歳～59 歳	311	177	77	20	10	23	4
60 歳～69 歳	312	159	80	37	9	19	8
70 歳以上	218	90	54	43	11	13	7
無回答	30	6	8	8	3	3	2
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳	45	22	11	5	6	1	0
20 歳～29 歳	66	22	19	15	7	3	0
30 歳～39 歳	90	37	25	13	5	7	3
40 歳～49 歳	126	69	19	16	12	8	2
50 歳～59 歳	112	65	22	8	4	10	3
60 歳～69 歳	111	58	25	14	4	6	4
70 歳以上	107	52	20	20	7	5	3
女性 15 歳～19 歳	36	22	8	2	2	2	0
20 歳～29 歳	72	28	25	9	5	5	0
30 歳～39 歳	105	42	35	11	8	9	0
40 歳～49 歳	151	79	40	13	6	12	1
50 歳～59 歳	199	112	55	12	6	13	1
60 歳～69 歳	201	101	55	23	5	13	4
70 歳以上	111	38	34	23	4	8	4
無回答	33	8	9	8	3	3	2

問 18 過去3年間で、人権問題の学習会や研修会などに何回くらい参加しましたか。(学校での授業も含みます)

	合 計	3年間で1回～2回	3年間で3回～5回	3年間で6回以上	まったくない	無回答
総 数	1600	204	98	37	1224	37
(性別)						
男 性	679	79	42	15	533	10
女 性	901	122	56	22	687	14
無 回 答	20	3	0	0	4	13
(年齢別)						
15歳～19歳	84	18	31	14	21	0
20歳～29歳	146	20	5	6	114	1
30歳～39歳	201	25	8	1	165	2
40歳～49歳	280	44	26	0	209	1
50歳～59歳	315	42	19	9	240	5
60歳～69歳	317	35	4	5	267	6
70歳以上	226	19	5	2	191	9
無回答	31	1	0	0	17	13
(性・年齢別)						
男性 15歳～19歳	47	8	17	8	14	0
20歳～29歳	68	6	2	3	57	0
30歳～39歳	93	6	1	0	86	0
40歳～49歳	128	19	7	0	101	1
50歳～59歳	116	20	10	1	83	2
60歳～69歳	112	10	3	2	96	1
70歳以上	113	10	2	1	94	6
女性 15歳～19歳	36	9	14	6	7	0
20歳～29歳	77	14	3	3	56	1
30歳～39歳	107	18	7	1	79	2
40歳～49歳	152	25	19	0	108	0
50歳～59歳	199	22	9	8	157	3
60歳～69歳	205	25	1	3	171	5
70歳以上	113	9	3	1	97	3
無回答	34	3	0	0	18	13

問18-2 問18で「1」「2」「3」と答えた方にお聞きます。参加したきっかけは次のうちのどれですか。主なものを2つ以内でお選びください。(複数回答)

総 (性別)	合 計	その問題に関心を もっていたから	勤務先から参加を すすめられたから	関係団体の役員に なっていたから	知人に参加するよ うに頼まれたから	参加した行事に人権 教育が組み込まれて いた	授業参観日やP T A 行事に組み込まれて いた	公共施設の利用のと きに義務づけられて いた
数	341	21	78	27	16	37	103	3
男性	136	8	45	11	6	16	20	3
女性	202	12	33	16	10	21	81	0
無 回 答	3	1	0	0	0	0	2	0
(年齢別)								
15歳～19歳	63	0	0	0	1	3	14	0
20歳～29歳	32	1	5	2	0	2	5	0
30歳～39歳	34	3	12	0	0	2	18	0
40歳～49歳	70	4	23	3	0	5	37	0
50歳～59歳	70	5	24	6	4	11	20	0
60歳～69歳	45	3	11	7	5	11	7	1
70歳以上	26	5	3	9	6	3	1	2
無回答	1	0	0	0	0	0	1	0
(性・年齢別)								
男性 15歳～19歳	33	0	0	0	1	1	7	0
20歳～29歳	11	0	4	1	0	0	3	0
30歳～39歳	7	2	5	0	0	1	0	0
40歳～49歳	26	2	16	0	0	1	6	0
50歳～59歳	31	0	14	2	2	7	4	0
60歳～69歳	15	2	5	3	1	4	0	1
70歳以上	13	2	1	5	2	2	0	2
女性 15歳～19歳	29	0	0	0	0	2	6	0
20歳～29歳	21	1	1	1	0	2	2	0
30歳～39歳	26	0	7	0	0	1	18	0
40歳～49歳	44	2	7	3	0	4	31	0
50歳～59歳	39	5	10	4	2	4	16	0
60歳～69歳	30	1	6	4	4	7	7	0
70歳以上	13	3	2	4	4	1	1	0
無回答	3	1	0	0	0	0	2	0

問 18－2（つづき）

	数	学校の授業に人権教育があったから		その他		無回答	
		76	22.3%	19	5.6%	20	5.9%
(性別)							
男	性	32	23.5%	10	7.4%	7	5.1%
女	性	44	21.8%	9	4.5%	13	6.4%
無	回	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
答							
(年齢別)							
15 歳～19 歳		51	81.0%	1	1.6%	4	6.3%
20 歳～29 歳		20	62.5%	1	3.1%	1	3.1%
30 歳～39 歳		2	5.9%	0	0.0%	2	5.9%
40 歳～49 歳		2	2.9%	6	8.6%	4	5.7%
50 歳～59 歳		0	0.0%	7	10.0%	5	7.1%
60 歳～69 歳		1	2.2%	3	6.7%	2	4.4%
70 歳以上		0	0.0%	1	3.8%	2	7.7%
無回答		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
(性・年齢別)							
男性 15 歳～19 歳		26	78.8%	1	3.0%	3	9.1%
20 歳～29 歳		5	45.5%	0	0.0%	0	0.0%
30 歳～39 歳		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40 歳～49 歳		1	3.8%	3	11.5%	2	7.7%
50 歳～59 歳		0	0.0%	3	9.7%	2	6.5%
60 歳～69 歳		0	0.0%	2	13.3%	0	0.0%
70 歳以上		0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%
女性 15 歳～19 歳		25	86.2%	0	0.0%	1	3.4%
20 歳～29 歳		15	71.4%	1	4.8%	1	4.8%
30 歳～39 歳		2	7.7%	0	0.0%	2	7.7%
40 歳～49 歳		1	2.3%	3	6.8%	2	4.5%
50 歳～59 歳		0	0.0%	4	10.3%	3	7.7%
60 歳～69 歳		1	3.3%	1	3.3%	2	6.7%
70 歳以上		0	0.0%	0	0.0%	2	15.4%
無回答		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

問18-3 問18で「1」「2」「3」と答えた方にお聞きします。参加して、その内容を総合評価すると、次のうちのどれにあてはまりますか。

	合 計	人権問題の理解に おおいに役立った	人権問題について 少しは役立った	内容がむずかし ぎて、よくわから なかった	いつも同じような 内容の話であった	話の内容に反 発をおぼえた	その他	よく覚えてい ない	無回答
総 数	341	84 24.6%	140 41.1%	6 1.8%	65 19.1%	2 0.6%	2 0.6%	11 3.2%	31 9.1%
(性別)									
男 性	136	32 23.5%	55 40.4%	3 2.2%	30 22.1%	1 0.7%	0 0.0%	4 2.9%	11 8.1%
女 性	202	52 25.7%	83 41.1%	3 1.5%	34 16.8%	1 0.5%	2 1.0%	7 3.5%	20 9.9%
無 回 答	3	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
(年齢別)									
15歳～19歳	63	18 28.6%	28 44.4%	1 1.6%	9 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.2%	5 7.9%
20歳～29歳	32	7 21.9%	16 50.0%	1 3.1%	2 6.3%	0 0.0%	1 3.1%	3 9.4%	2 6.3%
30歳～39歳	34	7 20.6%	16 47.1%	2 5.9%	5 14.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 11.8%
40歳～49歳	70	19 27.1%	28 40.0%	2 2.9%	15 21.4%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	4 5.7%
50歳～59歳	70	25 35.7%	22 31.4%	0 0.0%	15 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.3%	5 7.1%
60歳～69歳	45	5 11.1%	13 28.9%	0 0.0%	14 31.1%	1 2.2%	0 0.0%	2 4.4%	10 22.2%
70歳以上	26	3 11.5%	16 61.5%	0 0.0%	5 19.2%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%
無回答	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
(性・年齢別)									
男性 15歳～19歳	33	9 27.3%	15 45.5%	1 3.0%	5 15.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	2 6.1%
20歳～29歳	11	3 27.3%	6 54.5%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%
30歳～39歳	7	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
40歳～49歳	26	7 26.9%	12 46.2%	0 0.0%	7 26.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50歳～59歳	31	9 29.0%	7 22.6%	0 0.0%	10 32.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.5%	3 9.7%
60歳～69歳	15	2 13.3%	4 26.7%	0 0.0%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	4 26.7%
70歳以上	13	0 0.0%	8 61.5%	0 0.0%	4 30.8%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
女性 15歳～19歳	29	9 31.0%	12 41.4%	0 0.0%	4 13.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	3 10.3%
20歳～29歳	21	4 19.0%	10 47.6%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	1 4.8%	3 14.3%	1 4.8%
30歳～39歳	26	5 19.2%	13 50.0%	1 3.8%	4 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.5%
40歳～49歳	44	12 27.3%	16 36.4%	2 4.5%	8 18.2%	0 0.0%	1 2.3%	1 2.3%	4 9.1%
50歳～59歳	39	16 41.0%	15 38.5%	0 0.0%	5 12.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%	2 5.1%
60歳～69歳	30	3 10.0%	9 30.0%	0 0.0%	10 33.3%	1 3.3%	0 0.0%	1 3.3%	6 20.0%
70歳以上	13	3 23.1%	8 61.5%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%
無回答	3	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問18-4 問18で「4 まったくない」と答えた方にお聞きします。学習会や研修会に参加しなかった理由を、次の中から1つだけお選びください。

	合 計	行われていることを 知らなかったから	人権問題のことはすで によく知っていたから	参加したかったが、 時間的余裕がなかっ たから	人権問題に関心が ない	その他	おぼえていない	無回答							
総 数	1228	631	51.4%	111	9.0%	85	6.9%	204	16.6%	90	7.3%	93	7.6%	14	1.1%
(性別)															
男 性	535	254	47.5%	62	11.6%	38	7.1%	107	20.0%	34	6.4%	36	6.7%	4	0.7%
女 性	689	376	54.6%	49	7.1%	47	6.8%	97	14.1%	55	8.0%	56	8.1%	9	1.3%
無 回 答	4	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	1	25.0%
(年齢別)															
15 歳 ～ 19 歳	21	12	57.1%	0	0.0%	2	9.5%	3	14.3%	1	4.8%	3	14.3%	0	0.0%
20 歳 ～ 29 歳	114	80	70.2%	4	3.5%	4	3.5%	16	14.0%	1	0.9%	9	7.9%	0	0.0%
30 歳 ～ 39 歳	165	81	49.1%	9	5.5%	15	9.1%	32	19.4%	12	7.3%	13	7.9%	3	1.8%
40 歳 ～ 49 歳	210	116	55.2%	9	4.3%	13	6.2%	39	18.6%	12	5.7%	19	9.0%	2	1.0%
50 歳 ～ 59 歳	241	131	54.4%	17	7.1%	15	6.2%	39	16.2%	21	8.7%	16	6.6%	2	0.8%
60 歳 ～ 69 歳	267	128	47.9%	32	12.0%	22	8.2%	39	14.6%	26	9.7%	16	6.0%	4	1.5%
70 歳 以上	193	76	39.4%	39	20.2%	13	6.7%	34	17.6%	15	7.8%	14	7.3%	2	1.0%
無回答	17	7	41.2%	1	5.9%	1	5.9%	2	11.8%	2	11.8%	3	17.6%	1	5.9%
(性・年齢別)															
男性 15 歳 ～ 19 歳	14	8	57.1%	0	0.0%	1	7.1%	2	14.3%	1	7.1%	2	14.3%	0	0.0%
20 歳 ～ 29 歳	57	34	59.6%	4	7.0%	4	7.0%	10	17.5%	1	1.8%	4	7.0%	0	0.0%
30 歳 ～ 39 歳	86	39	45.3%	5	5.8%	7	8.1%	22	25.6%	8	9.3%	5	5.8%	0	0.0%
40 歳 ～ 49 歳	102	54	52.9%	4	3.9%	7	6.9%	24	23.5%	4	3.9%	8	7.8%	1	1.0%
50 歳 ～ 59 歳	84	43	51.2%	8	9.5%	7	8.3%	15	17.9%	6	7.1%	5	6.0%	0	0.0%
60 歳 ～ 69 歳	96	43	44.8%	15	15.6%	9	9.4%	14	14.6%	6	6.3%	7	7.3%	2	2.1%
70 歳 以上	94	32	34.0%	26	27.7%	3	3.2%	20	21.3%	7	7.4%	5	5.3%	1	1.1%
女性 15 歳 ～ 19 歳	7	4	57.1%	0	0.0%	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%
20 歳 ～ 29 歳	56	46	82.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	10.7%	0	0.0%	4	7.1%	0	0.0%
30 歳 ～ 39 歳	79	42	53.2%	4	5.1%	8	10.1%	10	12.7%	4	5.1%	8	10.1%	3	3.8%
40 歳 ～ 49 歳	108	62	57.4%	5	4.6%	6	5.6%	15	13.9%	8	7.4%	11	10.2%	1	0.9%
50 歳 ～ 59 歳	157	88	56.1%	9	5.7%	8	5.1%	24	15.3%	15	9.6%	11	7.0%	2	1.3%
60 歳 ～ 69 歳	171	85	49.7%	17	9.9%	13	7.6%	25	14.6%	20	11.7%	9	5.3%	2	1.2%
70 歳 以上	99	44	44.4%	13	13.1%	10	10.1%	14	14.1%	8	8.1%	9	9.1%	1	1.0%
無回答	18	7	38.9%	1	5.6%	1	5.6%	2	11.1%	2	11.1%	4	22.2%	1	5.6%

問 19 平成 28 年 12 月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律のことを知っていますか。知りませんか。

	合 計	法律の内容を知っ ている	施行されたことは 知っている	知らない	無回答
総 数	1600	29 1.8%	182 11.4%	1370 85.6%	19 1.2%
(性別)					
男 性	679	13 1.9%	98 14.4%	568 83.7%	0 0.0%
女 性	901	16 1.8%	84 9.3%	797 88.5%	4 0.4%
無 回 答	20	0 0.0%	0 0.0%	5 25.0%	15 75.0%
(年齢別)					
15 歳～19 歳	84	2 2.4%	15 17.9%	67 79.8%	0 0.0%
20 歳～29 歳	146	2 1.4%	14 9.6%	130 89.0%	0 0.0%
30 歳～39 歳	201	3 1.5%	10 5.0%	187 93.0%	1 0.5%
40 歳～49 歳	280	4 1.4%	17 6.1%	259 92.5%	0 0.0%
50 歳～59 歳	315	8 2.5%	28 8.9%	278 88.3%	1 0.3%
60 歳～69 歳	317	6 1.9%	50 15.8%	260 82.0%	1 0.3%
70 歳以上	226	4 1.8%	48 21.2%	173 76.5%	1 0.4%
無回答	31	0 0.0%	0 0.0%	16 51.6%	15 48.4%
(性・年齢別)					
男性 15 歳～19 歳	47	1 2.1%	9 19.1%	37 78.7%	0 0.0%
20 歳～29 歳	68	1 1.5%	10 14.7%	57 83.8%	0 0.0%
30 歳～39 歳	93	2 2.2%	4 4.3%	87 93.5%	0 0.0%
40 歳～49 歳	128	2 1.6%	8 6.3%	118 92.2%	0 0.0%
50 歳～59 歳	116	2 1.7%	15 12.9%	99 85.3%	0 0.0%
60 歳～69 歳	112	3 2.7%	22 19.6%	87 77.7%	0 0.0%
70 歳以上	113	2 1.8%	30 26.5%	81 71.7%	0 0.0%
女性 15 歳～19 歳	36	1 2.8%	6 16.7%	29 80.6%	0 0.0%
20 歳～29 歳	77	1 1.3%	4 5.2%	72 93.5%	0 0.0%
30 歳～39 歳	107	1 0.9%	6 5.6%	99 92.5%	1 0.9%
40 歳～49 歳	152	2 1.3%	9 5.9%	141 92.8%	0 0.0%
50 歳～59 歳	199	6 3.0%	13 6.5%	179 89.9%	1 0.5%
60 歳～69 歳	205	3 1.5%	28 13.7%	173 84.4%	1 0.5%
70 歳以上	113	2 1.8%	18 15.9%	92 81.4%	1 0.9%
無回答	34	0 0.0%	0 0.0%	19 55.9%	15 44.1%

あとがき

今回の「人権問題に関する市民意識調査」は、1982 年に行った「同和問題に関する調査」から数えて 8 回目の調査になります。今回の調査内容は、前回までの調査内容を基本的には継承しつつ、いくつかの点で変更を加えました。

近年の多様な人権問題に対する社会の関心の高まりを受けて、新しい質問項目を設けました。新たに加えられた質問に関しては、本文中に「新規」と表記して、それとわかるように示してあります。また、松山市民がどのような人権問題に関心をもっているのかを問う質問は、前回の複数回答式から人権問題 1 つ 1 つに対してどの程度関心があるのか、単項回答式で問う形式に改めました。

以上のような変更がなされたため、前回よりもさらに実質的な回答項目が増え、回答者の負担が重くなっています。にもかかわらず、半数を超える市民の方々からの回答を得ることができました。今回の調査にご協力いただいた皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。「人権問題に関する市民意識調査」の分析に関わって感じることは、調査票の末尾の自由記述欄へ時間を割いて記入している方の数が、通常の意識調査よりもはるかに多いことです。人権問題については、市民の多くがそれぞれの思いを抱いて生活しているのだということを改めて感じさせられます。市民の皆様の貴重なご意見である自由記述に関しては、ごく一部にすぎませんが、委員が選んだものを報告書内に掲載しています。

今回の報告書は前回同様、委員が長時間かけてデータを読み解き、回答結果の解釈にまで踏み込んで作成されています。このような形でまとめられた本調査および本報告書が、松山市民の皆様や人権啓発の現場において有効に活用されることがあれば幸いです。

松山大学 人文学部教授

社会調査室 代表 市川 正彦

人権問題に関する市民意識調査委員会

委員長 田 所 和 人

副委員長 須之内 靖彦

委 員 小 椋 由紀子

委 員 忽 那 義 博

” 深 井 泰

” 橋 本 眞 年

” 小 野 紳一郎

” 大 島 進

” 石 川 達 也

” 門 田 恒 夫

事務局 松山大学 人文学部教授 社会調査室 代表 市川 正彦